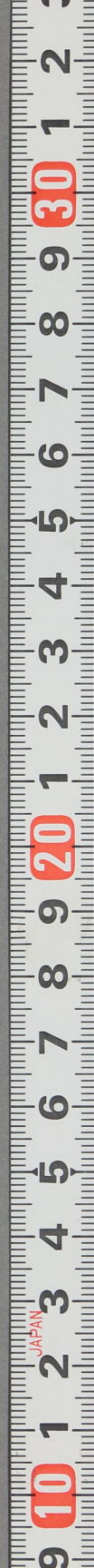


唐土訓蒙圖彙

人事
不



唐土訓蒙圖彙卷之七

器用 之一

器用

此部は上古の器用
器舟車 筆硯文房の
のとして残れまとなし
て農具共

古器

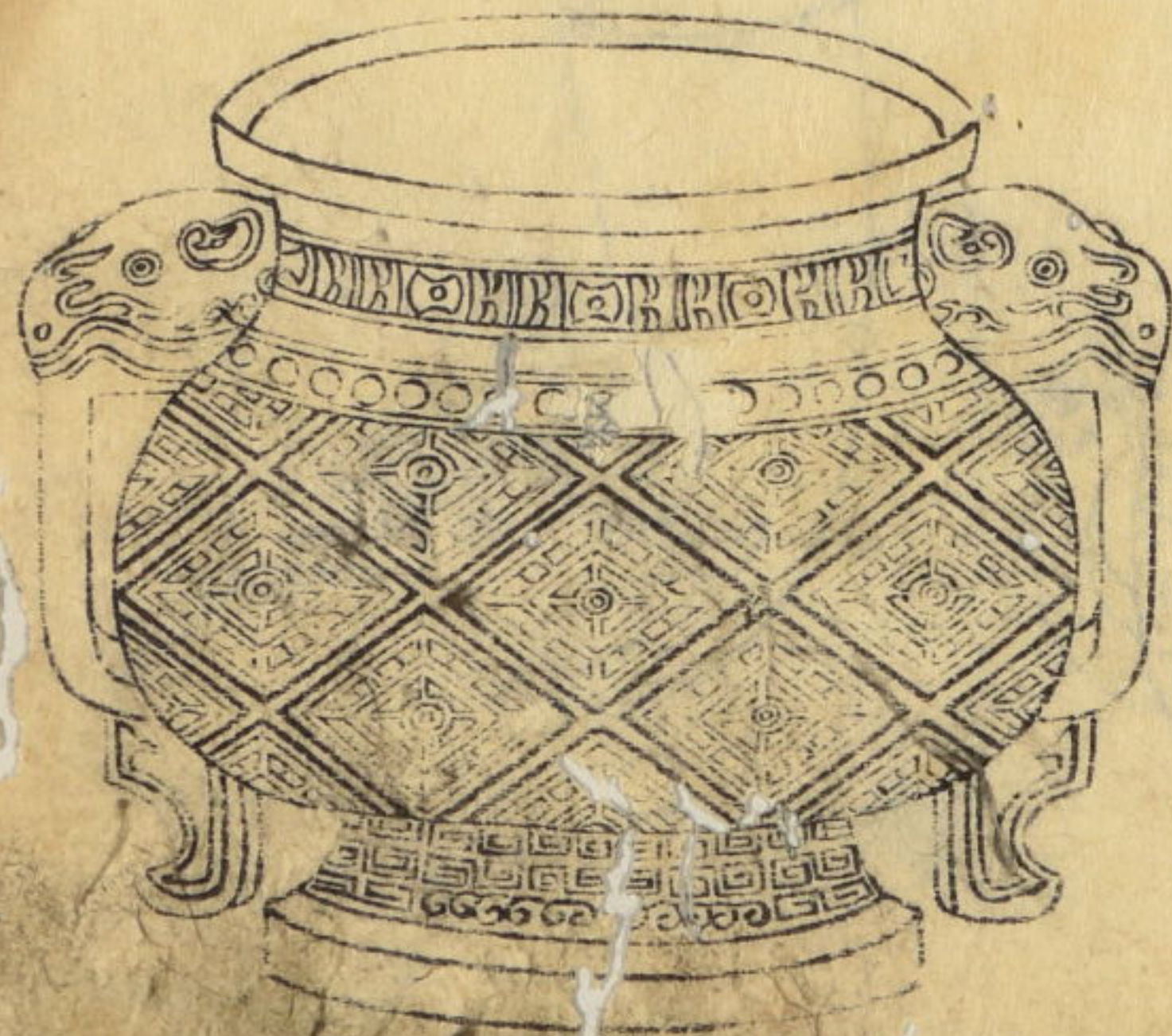
上

古器 上 古器 上 酒とすひ

雌



神とまつり
酒と盛
もの也

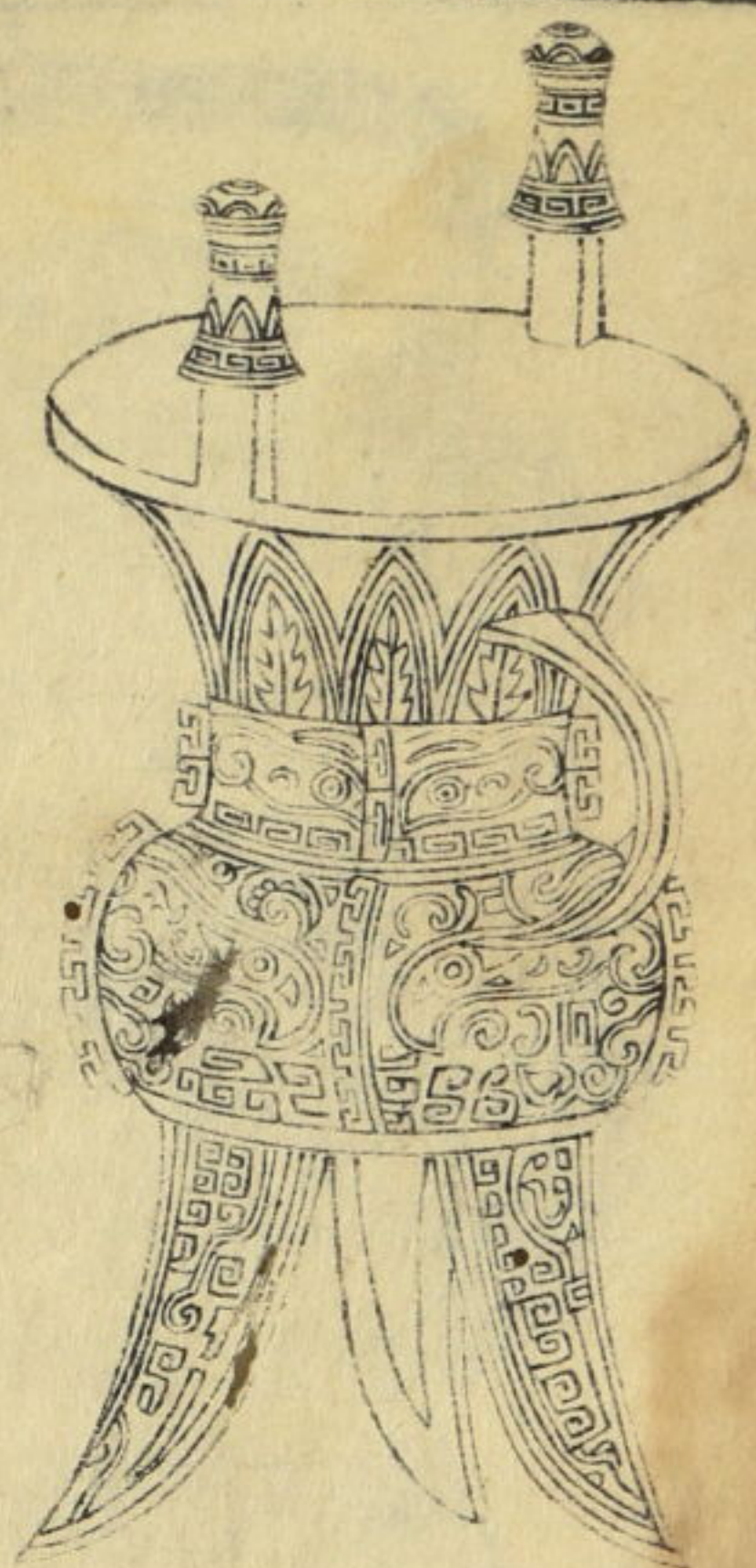


唐土訓蒙圖彙卷之七

一六

罍

酒とりのりあつたハリのノノノ王の
罍



角

これいふは地にて張る
とら長を用いこらなり



樽

酒三合

とりのり

二寸七

分六

二寸六

分六

二寸二

分

敦

黍稷

と

い

う

もの

尾

天

みあるに用るや

中に五寸を受

口の径一尺脰

の高さ二寸

畢肉とわら

ものなり

林示 長四

尺廣さ二尺四寸

足の高さ五寸際

と以て中と赤く

ぬら大夫土の用

やう一取のもの

鑪

器に似てい

うつハもの也

滯へふものと

もつうハハたわ

撰 齋のせり

かきこら組あり

枳椇の木のか

あつこらこら

撰 長

二尺四寸紫乃

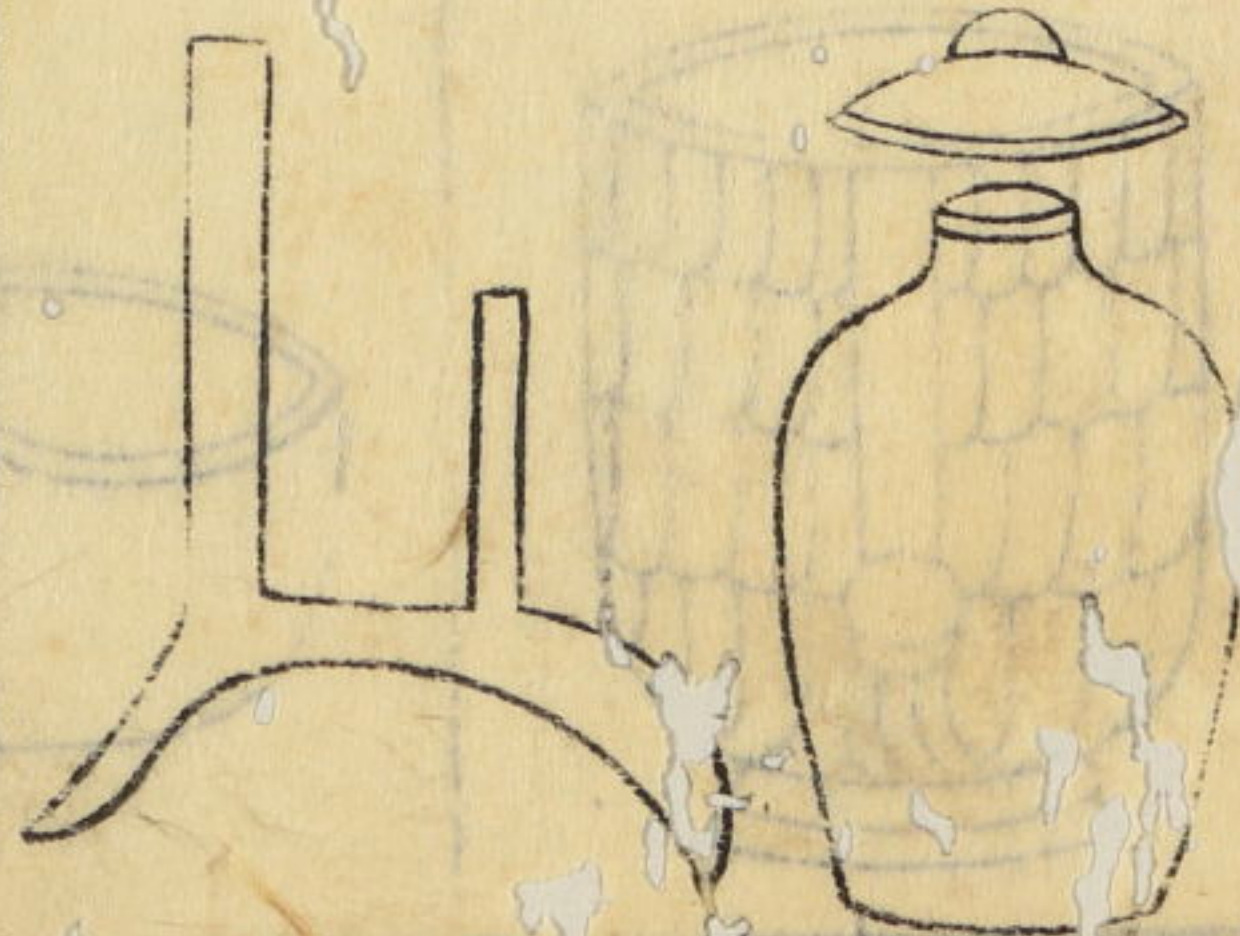
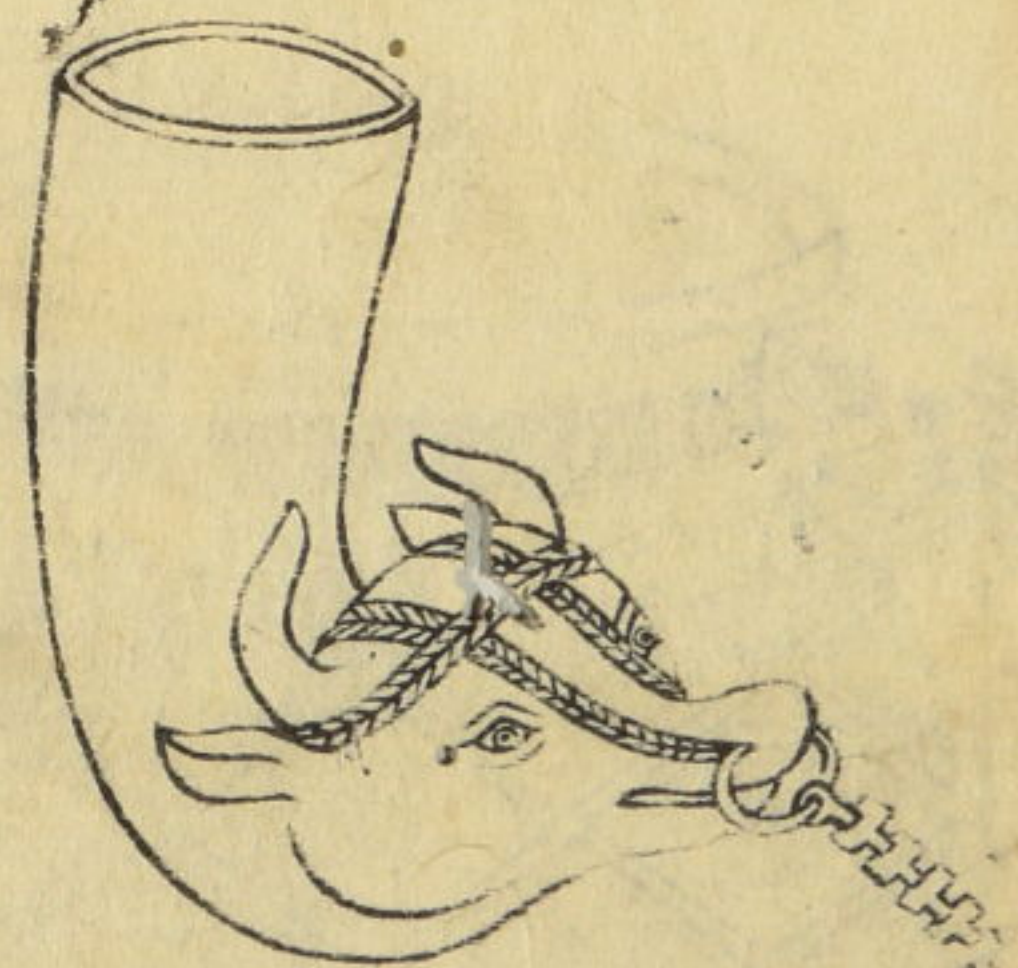
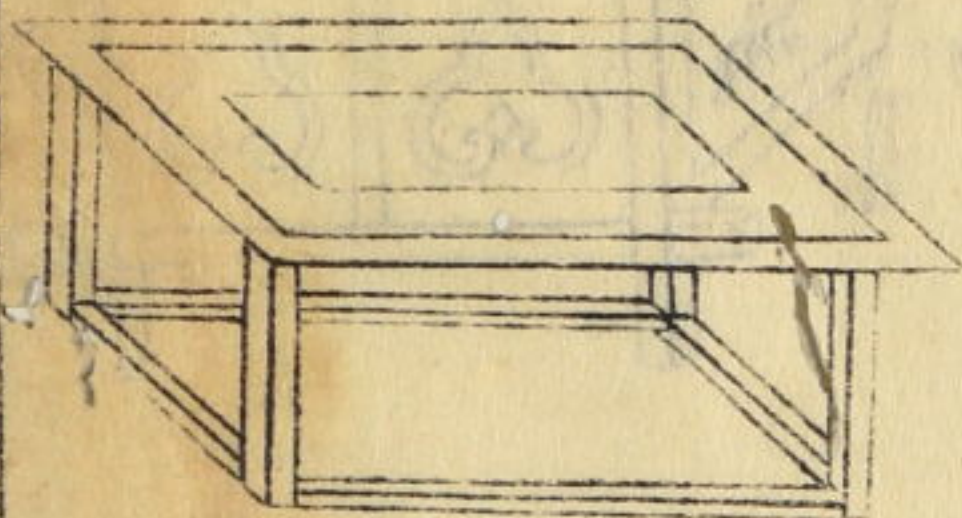
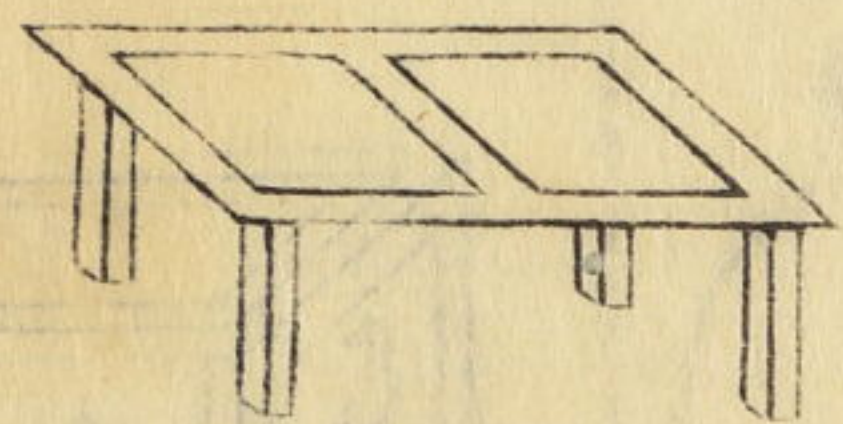
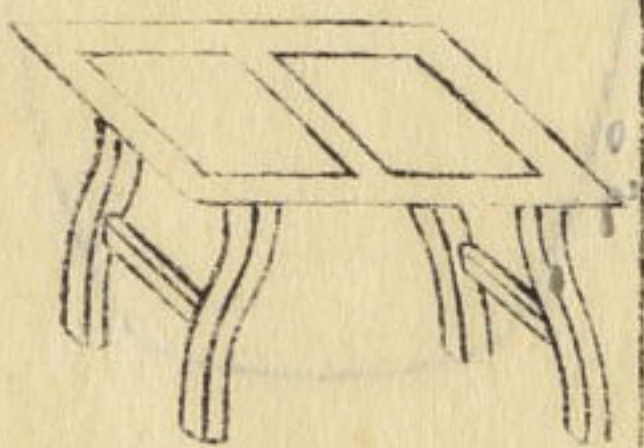
よと

撰 撰

二似て横木あり

ものなりまつ

こら



唐土制正家國書

椀 長四

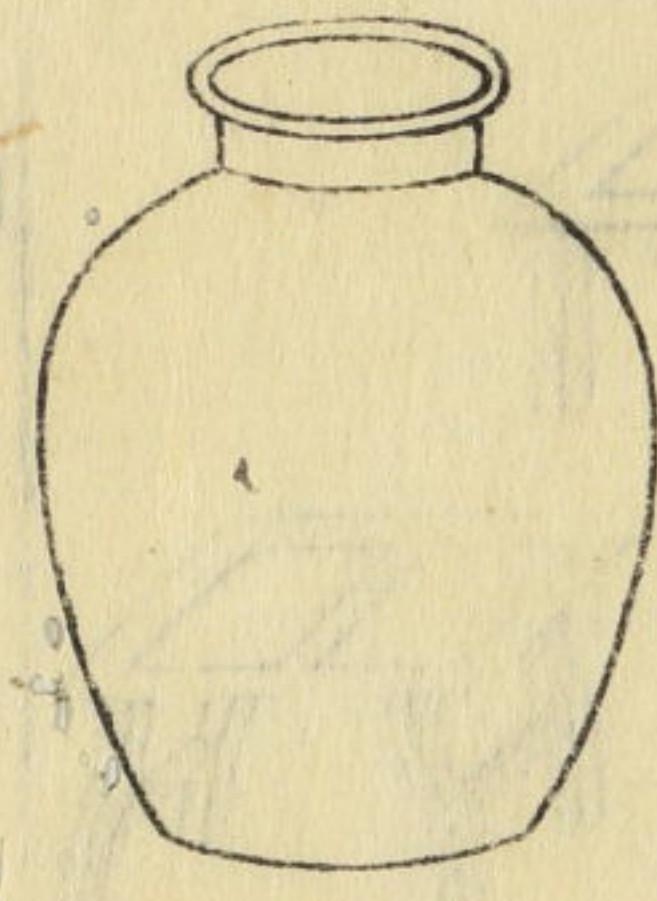
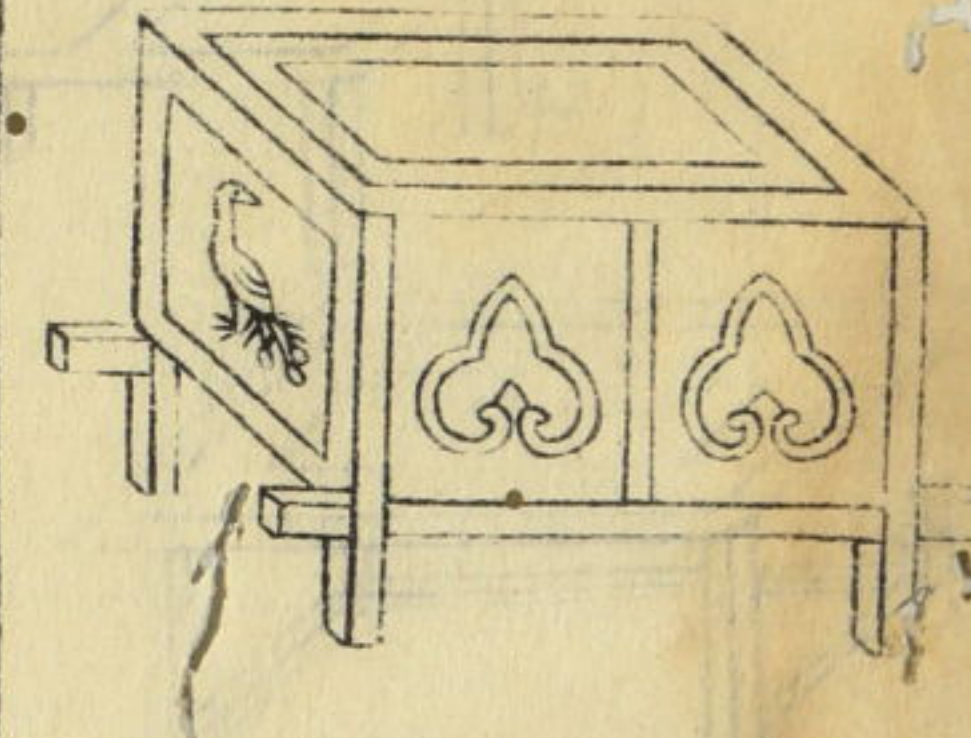
凡廣二尺四寸
深五寸 饌を
陳つものなり
その式ハ案の
みしるなり

甕 醞醞

と實のもの也高
三尺三寸と受
いゆくものなり

銅 羹

一斗と盛つもの
三尺三寸と
兩耳あり



大瓦

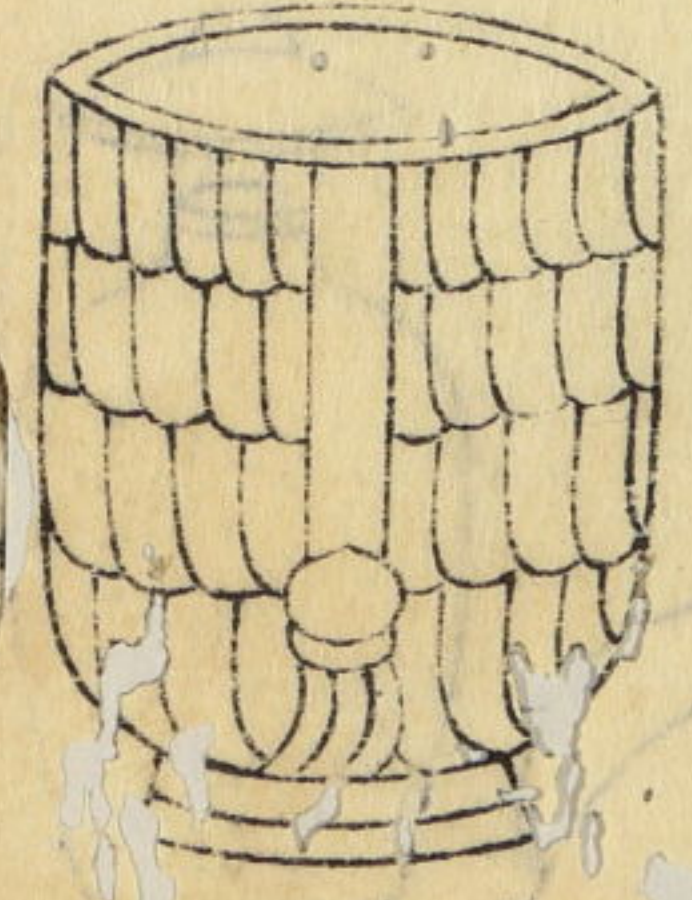
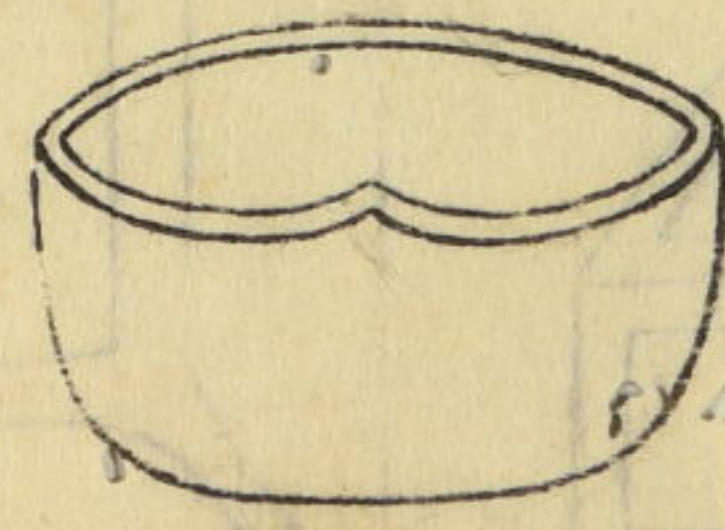
もつとくらひ
尊し社土の神
と生り用
これ去と氣と尚
やへなり

瓢齋 門と

まつにこれを
用の瓢齋を
尊として門の
害と除なり

辰虫 山川

四方とまつに
らり



散 尊

の餅をさゆ
とりのこ

庚 二鼓

と實のこし
量る器 甄土と
以て

鳥瘻 鳳

鳳と畫く祭祀
は 鷲也
堆とをささ雞と
をた虎とをささ
黄瘻瘻と



觥 兕

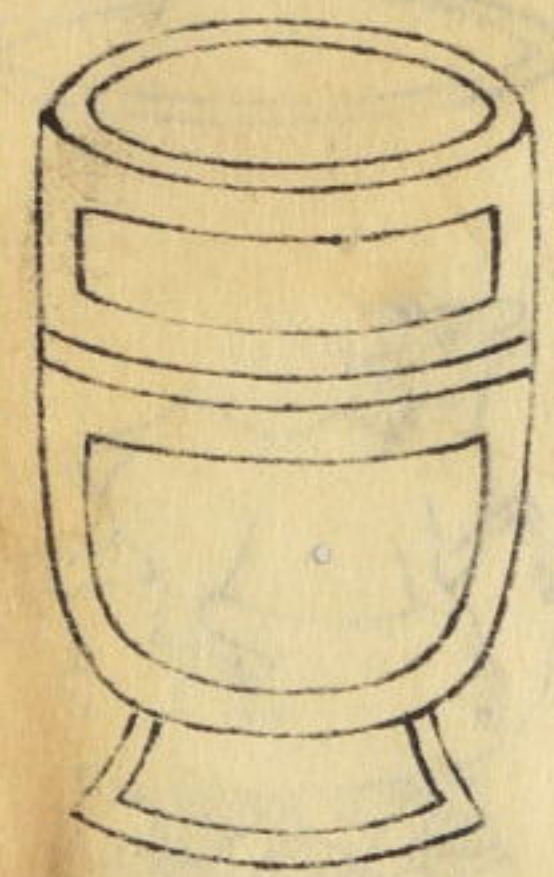
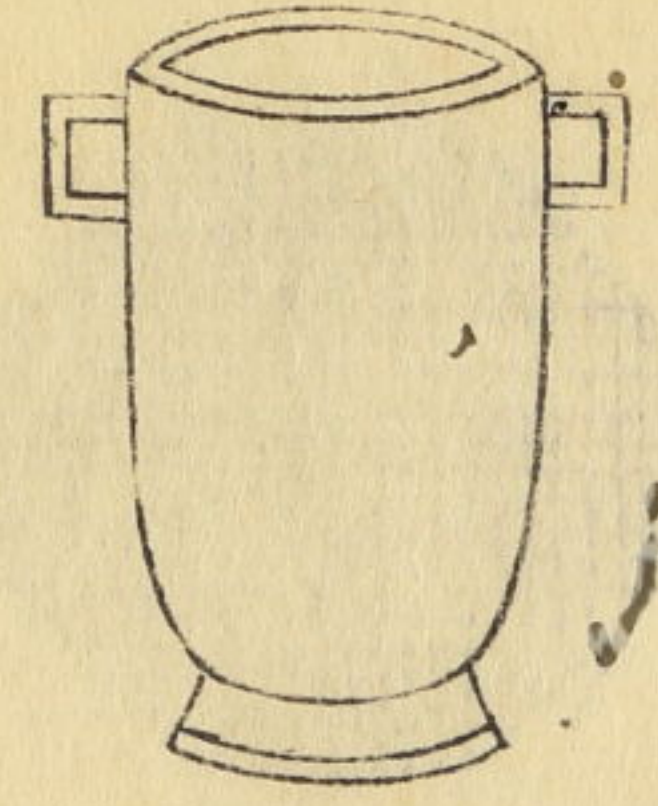
觥と同野牛
の角と以て作る
さうつさすれら
四討 鬲 角あり
兕ハ野牛一角アリ
青色重サ千斤

甗 四升

と豆とよ四豆
と區とよ四區
と甗とよ量の
異名し 六斗四升
量

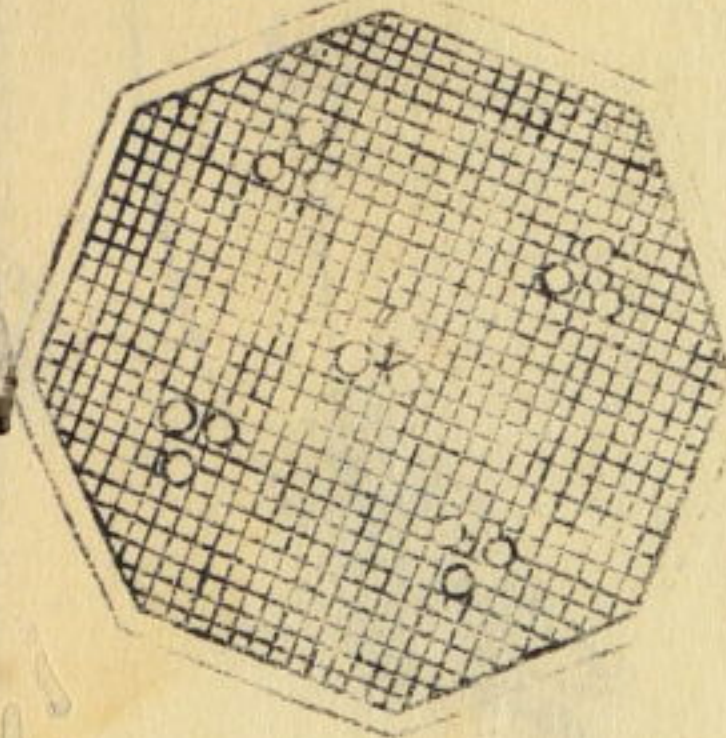
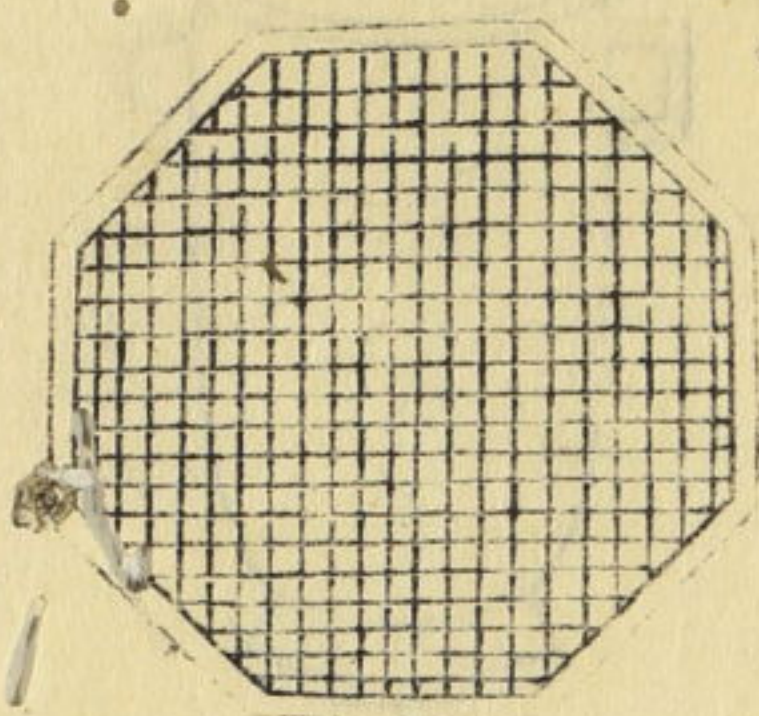
概 黒

漆の尊に朱の
帯と腹とつと
絡へつと



犧尊

の中人一、
牛と飾り、
赤漆を
用の象尊山
尊壹尊大
尊著尊を
同敷から
疏布巾尊
の幕こご二尺
二寸天地とま
つにこれと用
畫布巾五色
の雲氣と畫
六彗の幕也
二尺二寸の幅
巾圓なり

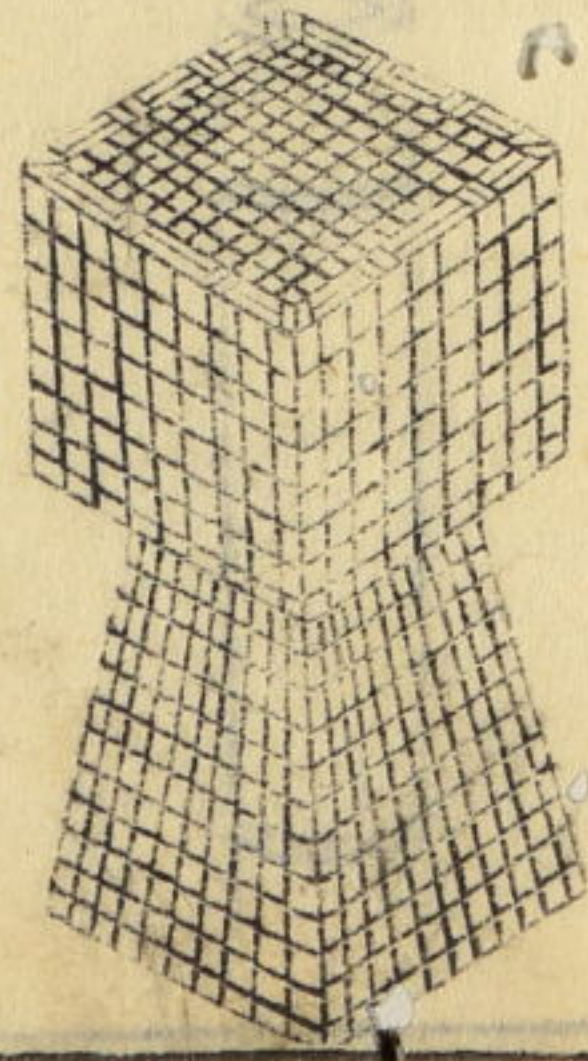
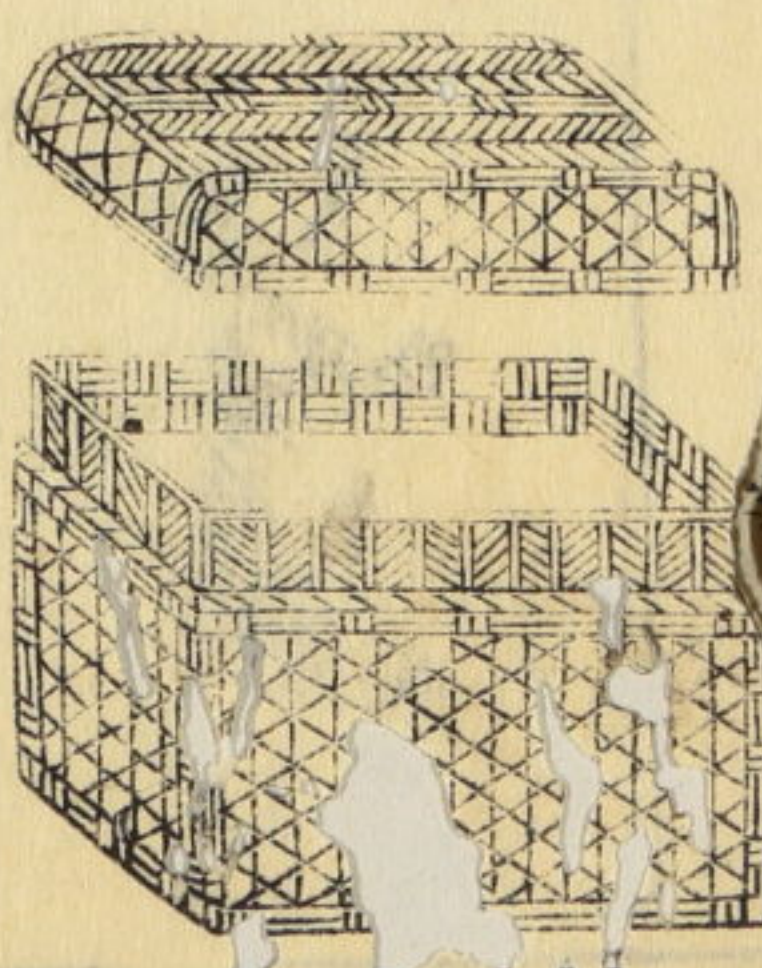
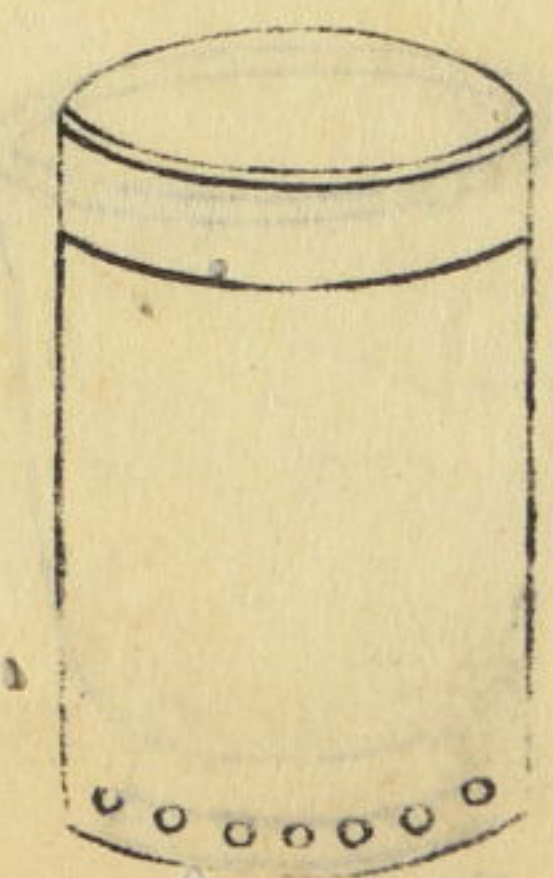


録山金
と同一用と
なげなり
まかさると金
とりし
登々大
儀とすいびる
も乃し徑一
尺八寸高さ
二尺四寸し

鑊
肉
と煮およひ魚
脂とよりの器
なり

竹

とありけり
十斗と斛といふ
竹は斛と数
とよ
甄
以てこれとつ々
厚さ五寸唇
一寸七穴と穿
桐
木と
以てこれと儀と
和すり器長二尺
樽三寸し
和云枚子ノ
類ナリ

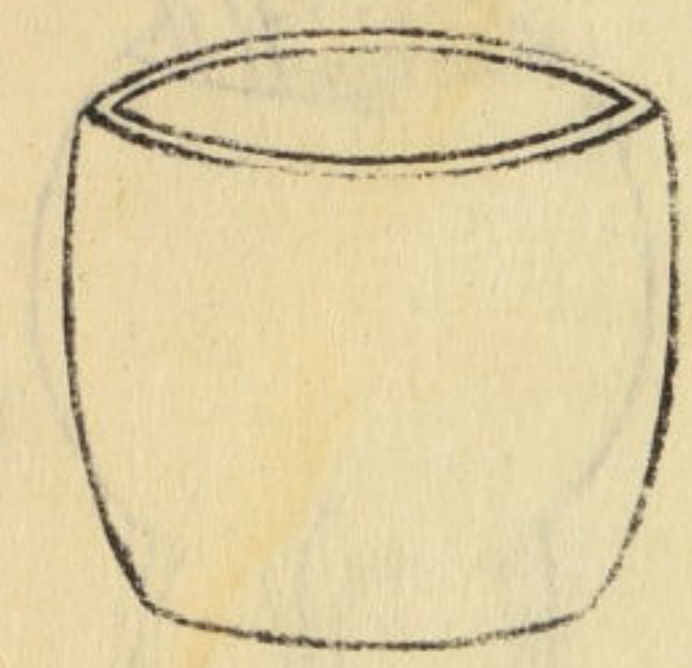


籩
とありけり
とつ々長三
尺廣一尺深
六寸足の高
二寸
竹
とありけり
つ々祭祀の
うつもの也

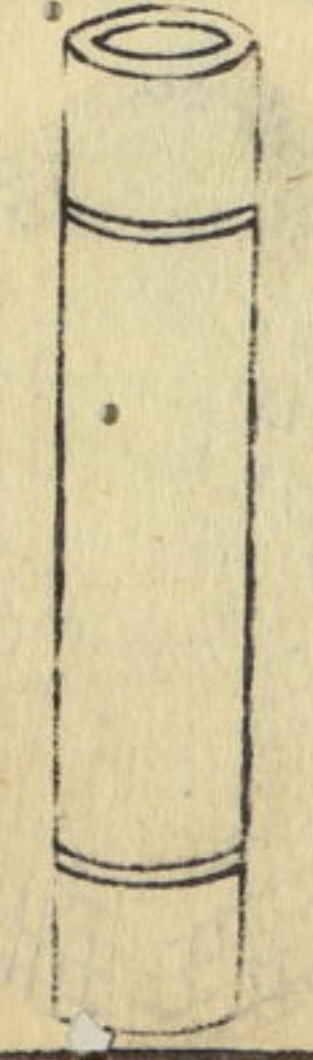
篋
籩同製
形圓
長一五升と
受

笏 形

豆に似て早く
爵と致し又
撃と兼る器
和の五器
の類



人形 金と
以て其の
の圖と漆て土
固としてこれ
と用の



サ者 高

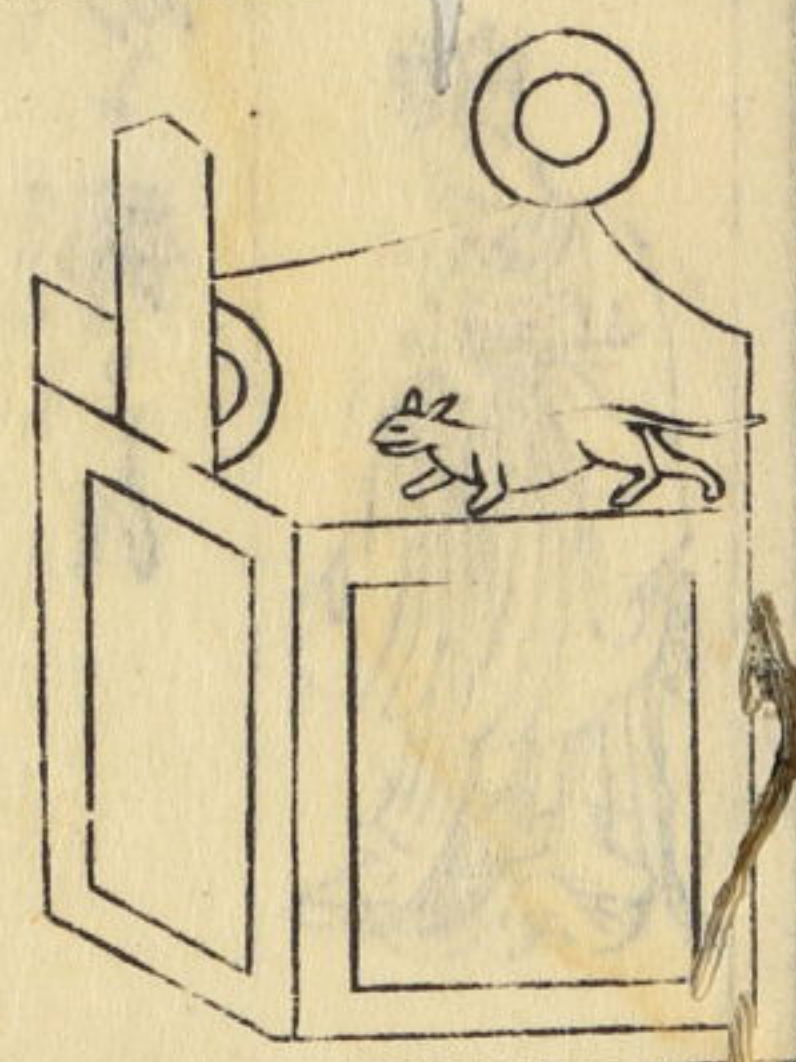
三尺口の徑一
尺五寸この徑
二人盥とうき
て洗ふ水す
つる器なり

方明 木

四六器を
上は奠つもの
なり

備 白

と同一廟
用の中尊



圭璧 員
なりと璧の
鏡と圭と
天地の
位よりて

虎の形と漆て
山形と
これと用の



瑋部射 米

圭と接し
斜に射て
と部射と

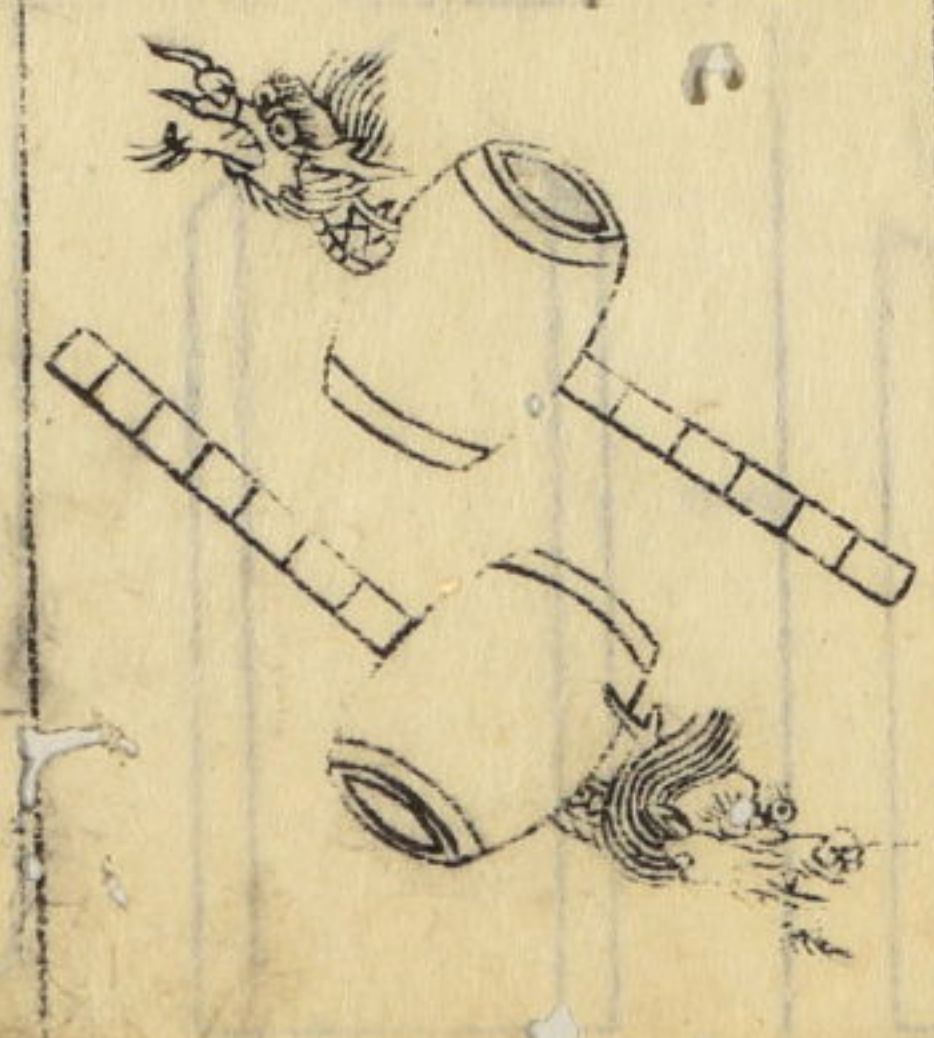
邊璋 横

中璋

山川の象に
圭瓊大璋瓊
も同類

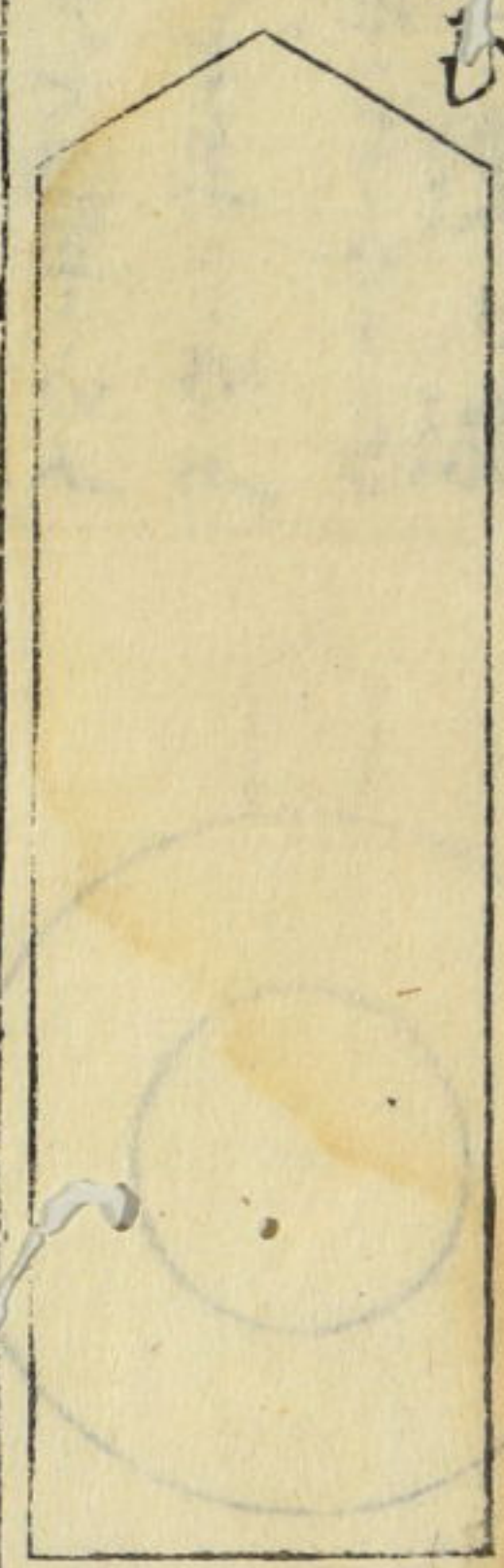
牙璋 中璋

牙璋の軍旅
に用の中璋の
小軍旅に用の



第一回 宗廟圖景 卷上

青圭 長九寸上各半寸と



信圭 諸侯 信圭ととも長七寸
人形と琢る 信と飾とん



躬圭 伯 躬圭ととも長七寸
人形と琢る 躬と飾とん

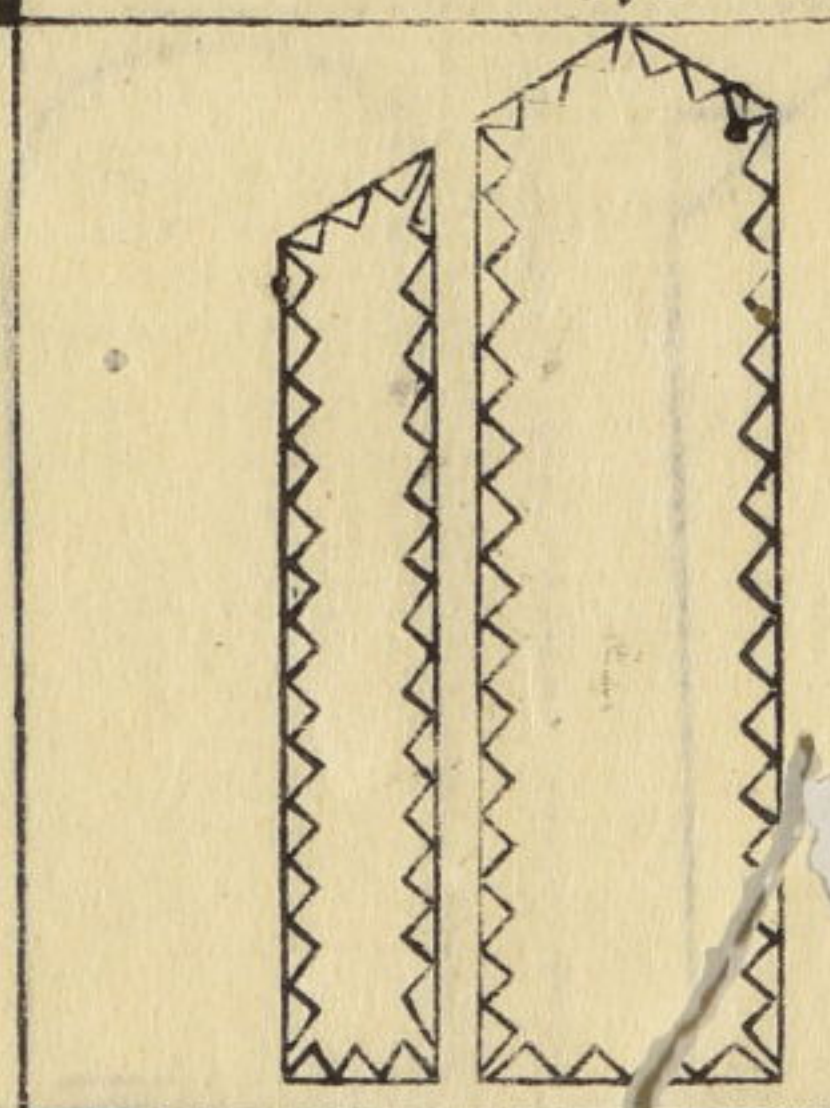


璧 義長



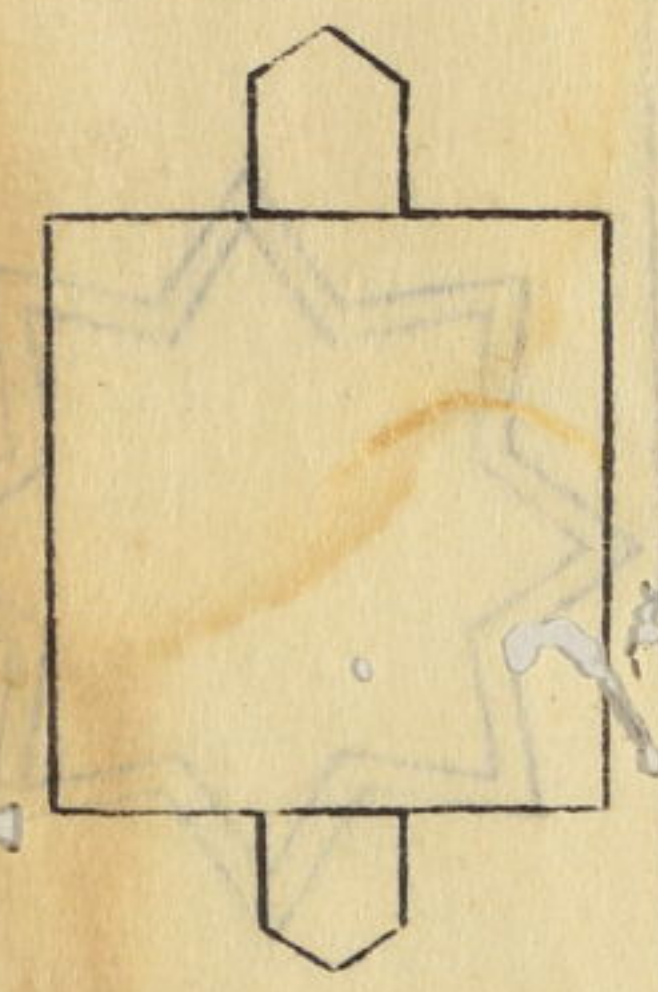
環 圭 環 長八寸 環 聘

とく大夫より衆
来て観へる所
かしく用ふ
かあり



兩圭有邸

長二寸半はく
外方にうらぬ
とろなり



琮圭 王 長一尺二寸四

の鎮山と以て
琢る 飾とん

桓圭 公 長九寸 雙 桓

と琢る 飾とん

大圭 長 三尺八寸 天子これ

と服とん

骨圭 長 四寸 天子以て

諸侯と朝

玄璜 北 方乃半璧と

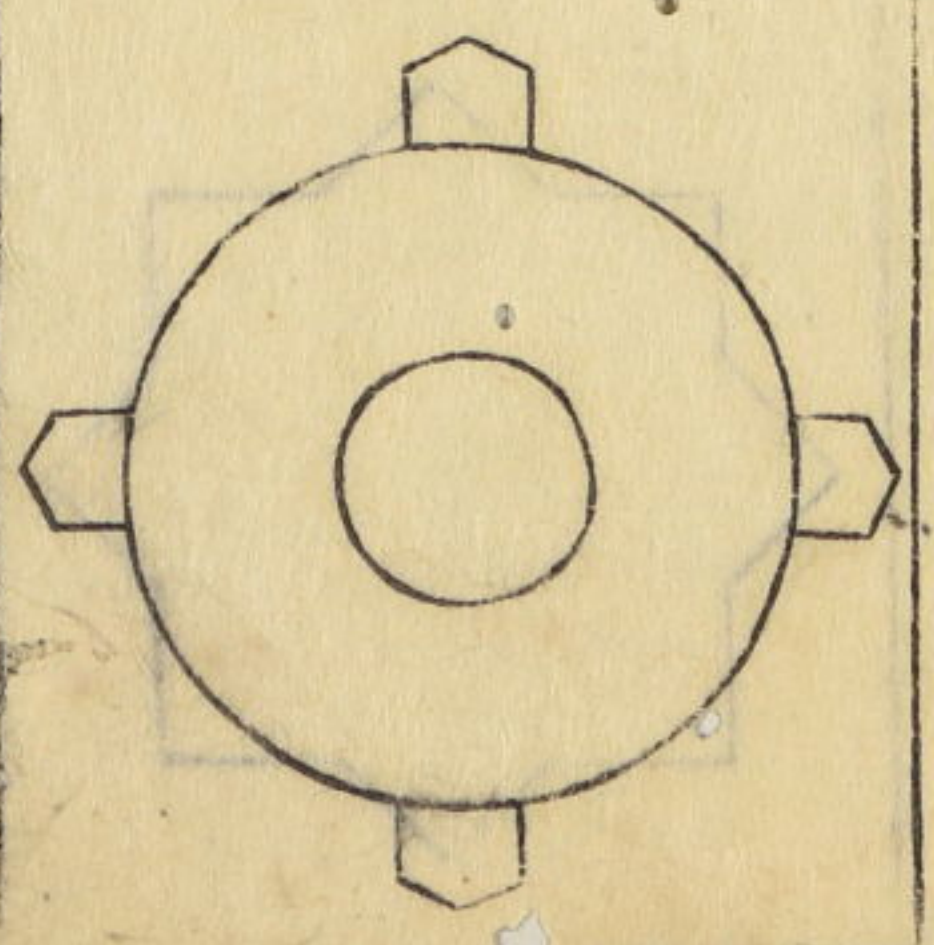
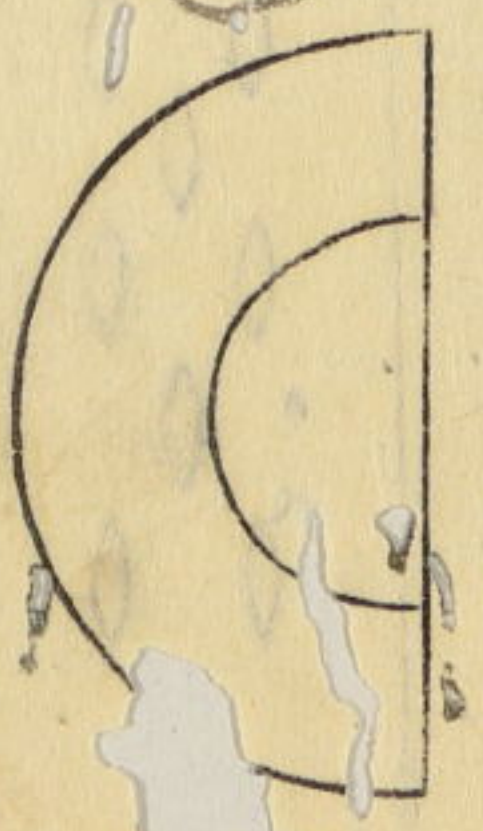
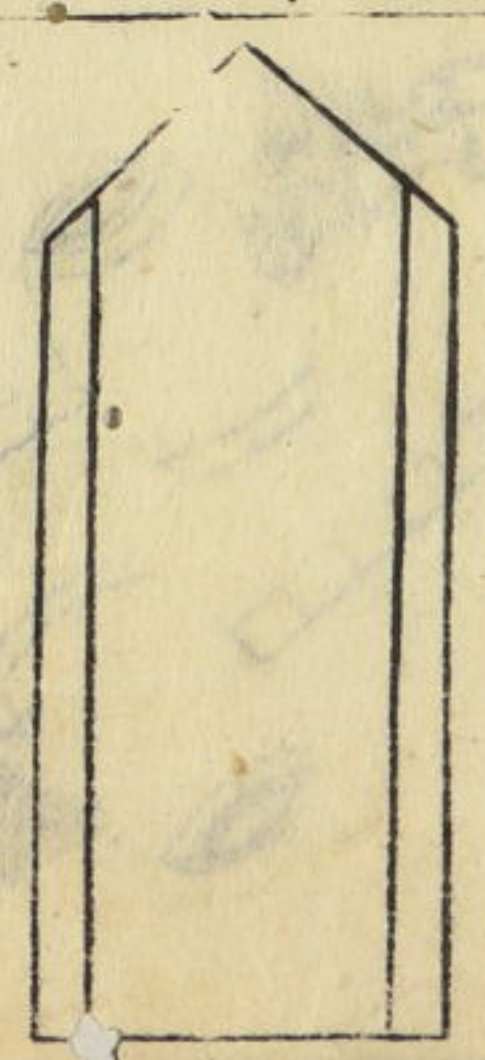
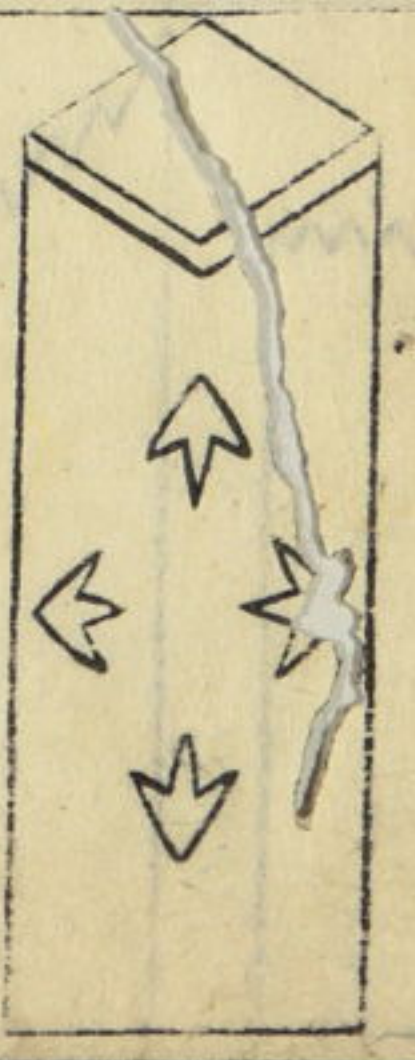
横とりよし

四圭有邸

玉璧ハ六寸中
に并に四面各
圭と琢るに
長一尺二寸

蒼璧 天と

禮するに用ひ
圓くして一
九寸わつと二
寸



黄瑒 地と

礼堂に用ゆ
毎角一寸六
分に刻る長
八寸厚一寸

琬圭 長

九寸徳と治り
好と備ハ琬ハ
圜とりの義

琬圭 長

九寸上に鋒
芒わり

大璋 長

七寸諸侯と
聘すに用の

赤璋 南方

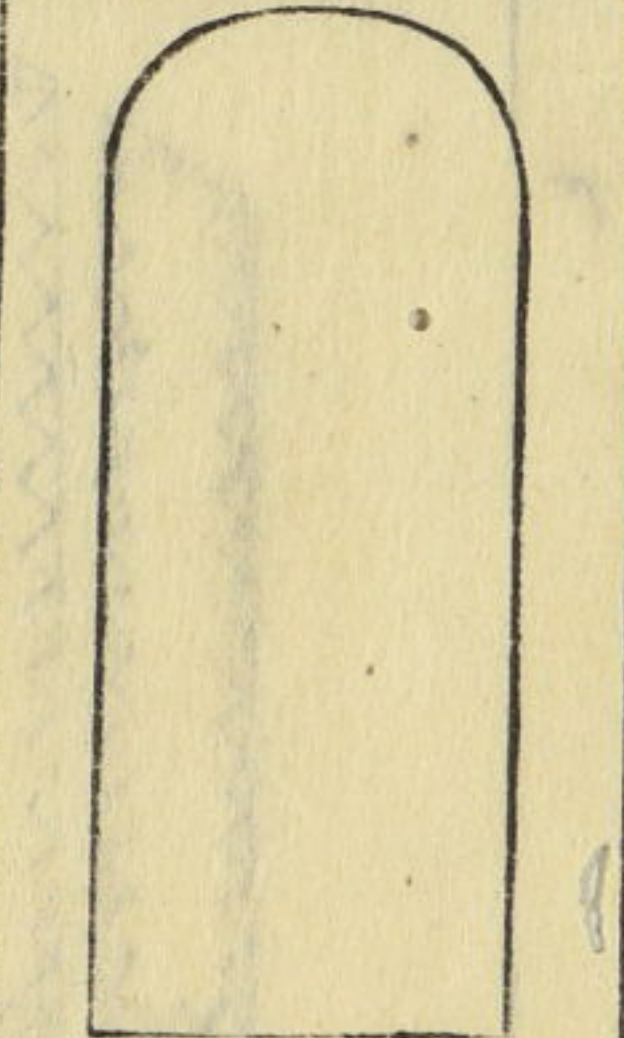
火の色に
とら半圭と厚
とみ

白虎 西方

全の色に象
長九寸廣さ
五寸伏虎を
刻む高三寸

蒲璧 諸

侯の封圭これ
と執て執貫し
以て瑞と玉に
合するなり



組と

りて琬を
繫ぐ天子七
寸宗后ハ五
寸以て權と

大琮 一尺

二寸内鎮と
宗后これと

穀圭 長

七寸難と和
し女と聘に
信なり

穀璧 朝

覲の時諸侯
王に會同す
に各執る此の
圭わり是ハ男
の執るし男
の執る

纁藉 天子

の纁藉五采
の文の纁以
王と薦木と
中幹と章衣
と以て畫なり

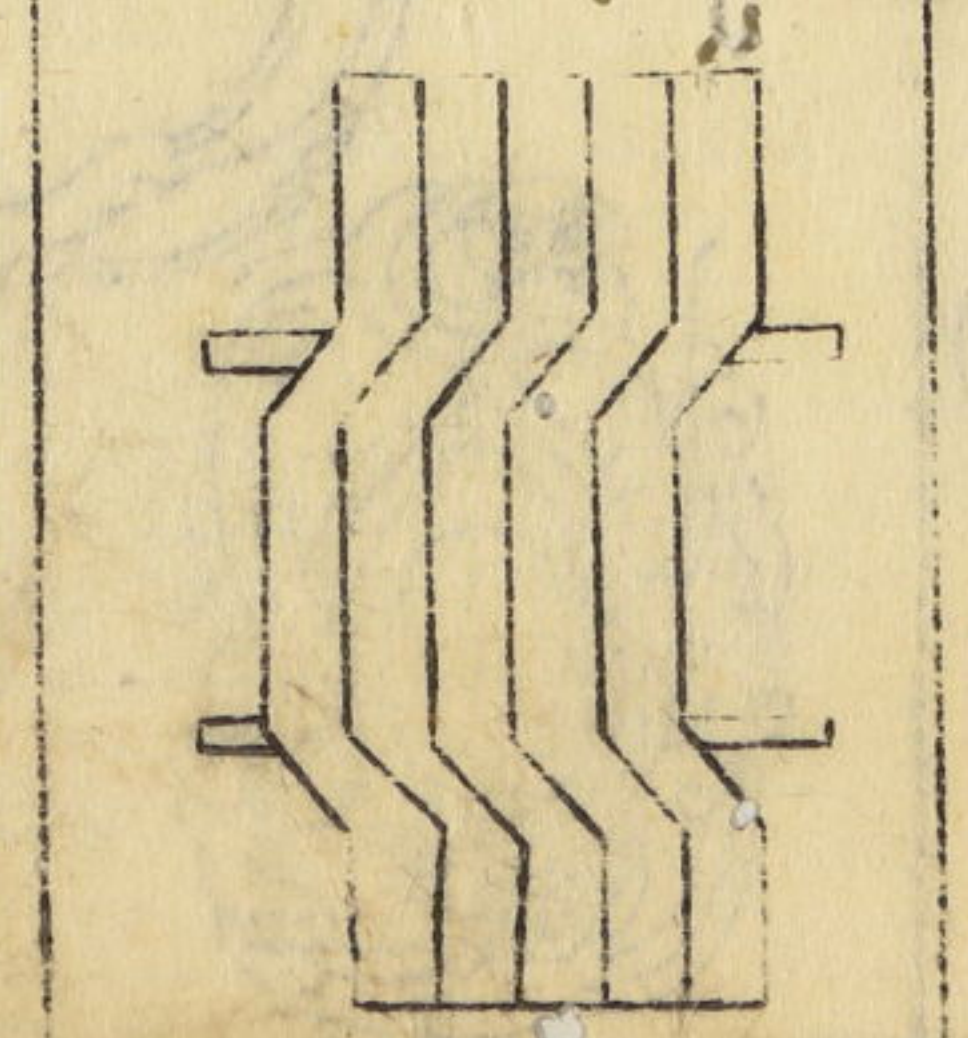
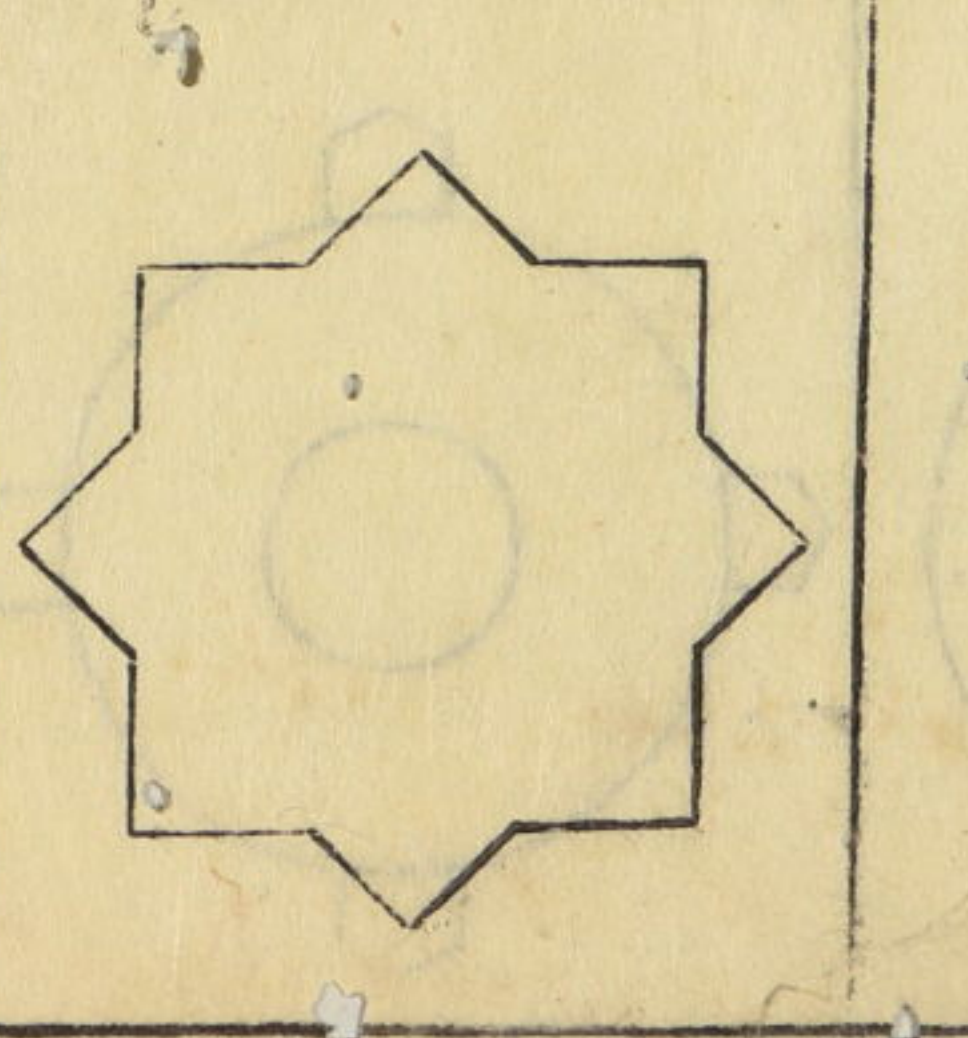
纁藉 諸侯

の纁藉三采の
文乃纁と木
と中幹と
章衣と以て文

纁藉 諸侯

の纁藉三采の
文乃纁と木
と中幹と
章衣と以て文

纁藉 諸侯



蒲穀縹藉 子爵

の位ハ二米之
制上ト目

瑞玉璫 玉の

赤色と瑞と
ハ一璫ハ双ハ
鼻トナリ

拱壁玉 徑一

入蒼文ト結
牆中に雲氣
とつらつらナリ

連環印 此印

紐ハ壽亭侯ハ
印及ハ関帝ハ
司馬皆此ハの紐
ナリ 蓋紐ハ印
のおしよナリ

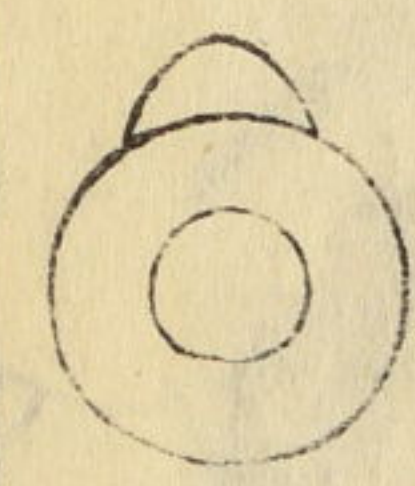
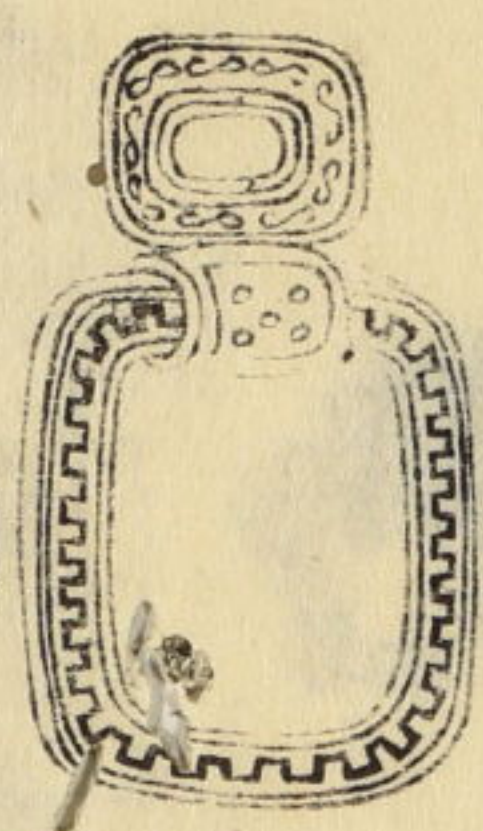
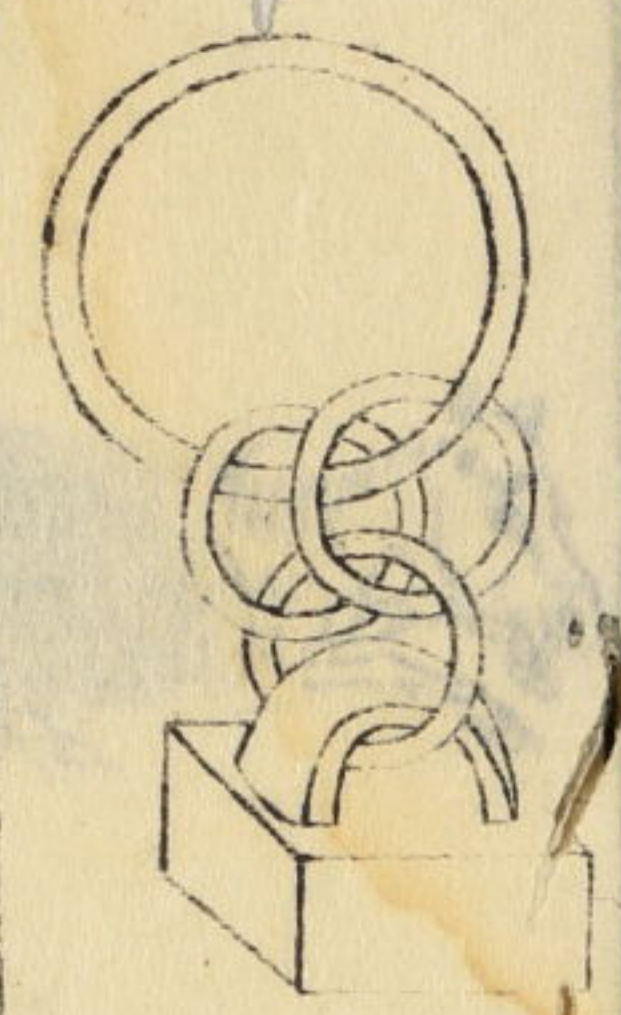
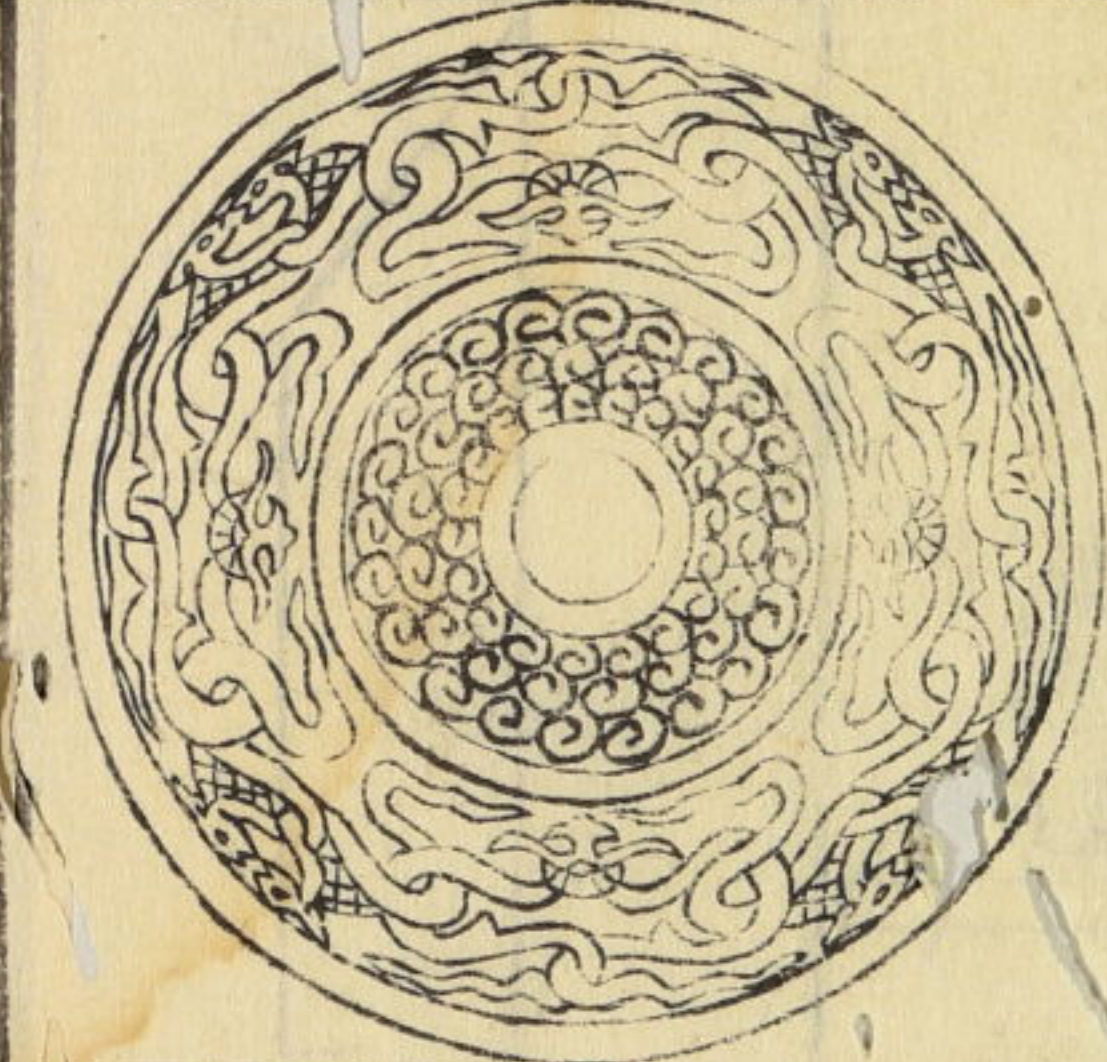
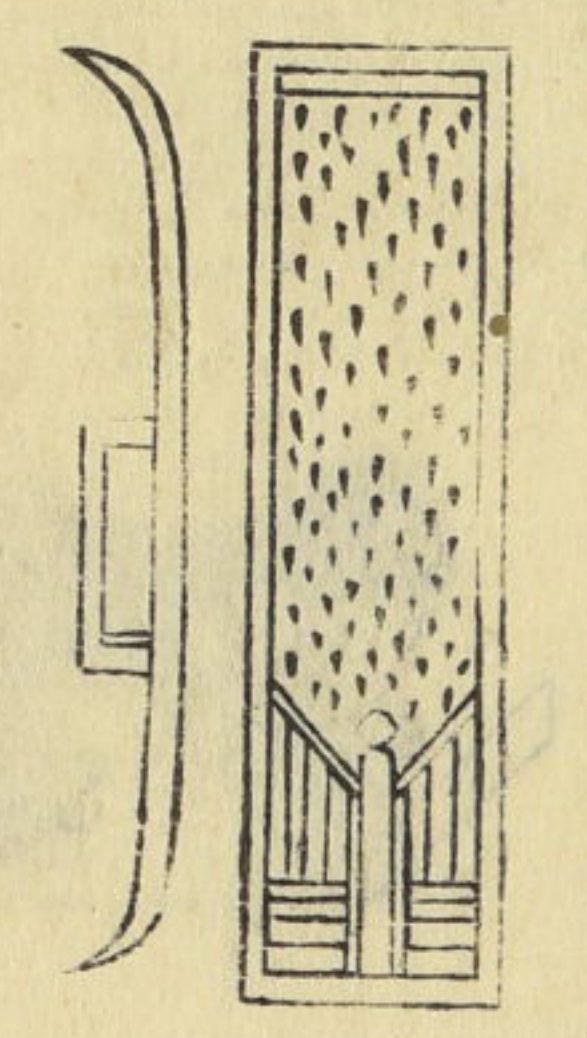
鹿盧 佩

玉環玦 玉の

周ハ玉ト決
ハ玉ト決
玉ハ玉ト決

玉辟邪 書鎮

ハ乃僕ナリ



瑠璃 玉 璫

水蒼珮 此
大夫の佩ニ取
の玉ハ山玄
多蒼文ハ玉ハ
文ナリ

瑠璃 傳

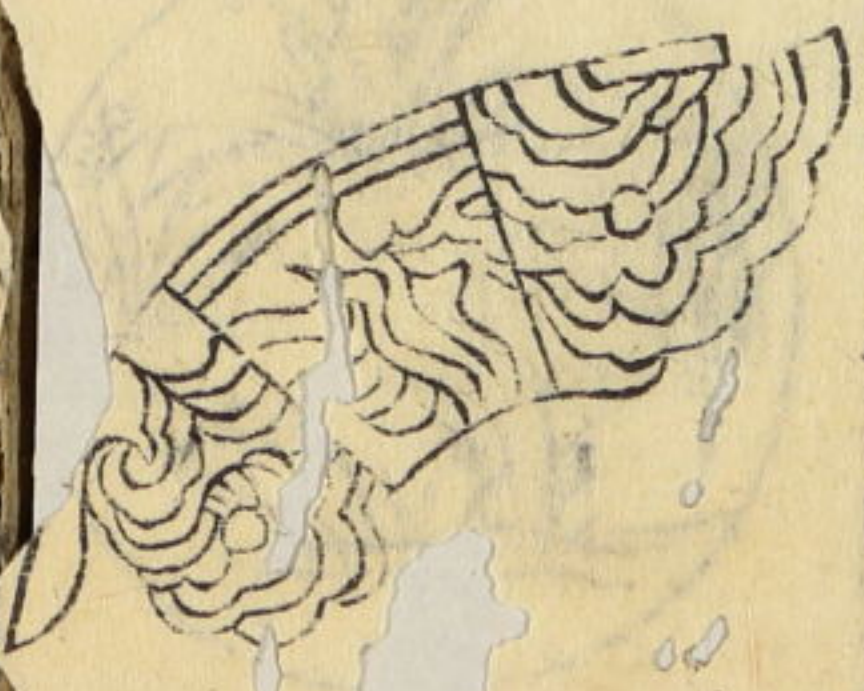
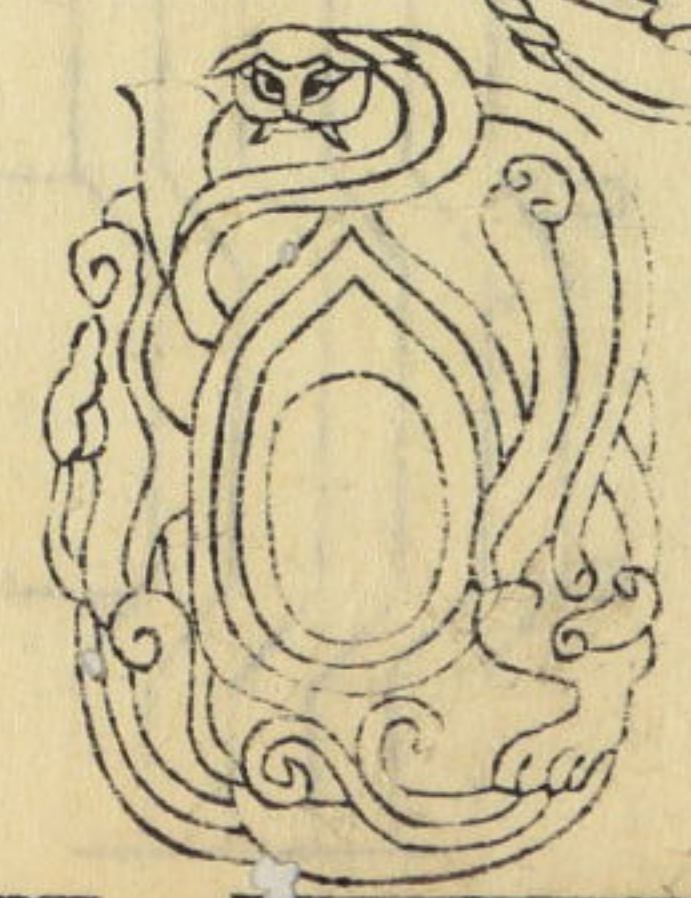
二寸六分長八分
三分天地四方に
クハ天子ハ神
と御ハ海侯ハ
天子と享に

瑠璃 玉の

玉三代前の物
お侍ハ高辛墓
中の物ト瑠璃
珠ハ小圖の如

瑠璃 玉の

圓徑二寸五分
厚五分色赤
内白ク徹ナリ
五割ハの飛ト



蒼玉玲瓏 上
 瑤玉克耳 右
 黃玉即 左



瑞玉馬黃玉八

馬首高四寸八
 分身同四寸一
 分長五寸四分玉
 色微青月紅粉
 均コレ玉ニ作
 タル人馬



玄玉驄 唐の

馬式し玄玉と
 と孫て去る心
 衆の間に直り



環の
 属之虎の文足
 とわらると環と
 するもい意こ



佩刀柄 礼

記に左刀礪
 と佩さしわり
 是かたの
 フラナリ



漢雙螭鈎

長六寸二分調
 九分玉色サ倉白黒
 古銅斑
 母の螭廻顧状
 くれハひよに佩て
 扱こくものこ



銅虎符制

虎符壹と五五五
 後長二寸四分高
 八分調八分刻て
 二と二片相合
 後の何これと用



海馬後視鑑
 帝氏合と
 液、神物と
 作、陽日月
 の、則
 齋懸の属と
 おそれ



博山香爐

天與子孫富貴宜
 天與子孫富貴宜



漢朝故事諸王出閣則賜博山香
 爐晋東宮舊事曰太子服用則有
 博山香爐一云爐象海中博山下
 有槃貯湯使潤氣蒸香以象海之
 回還此器世多有之形制大小不

漢刀筆形刀

此の如柄の所に
 鐙とを結て佩
 器古人筒牒と
 用るに書と削



杖頭 此制

費長房の壺公
に從て遊入時其
歸に及て杖と投
る龍と化し
るに法あり
漢龍提梁 高さ
二寸三分長六寸
三分 闊八分重
八兩七錢
袞服の飾 漢
代天子の物なり



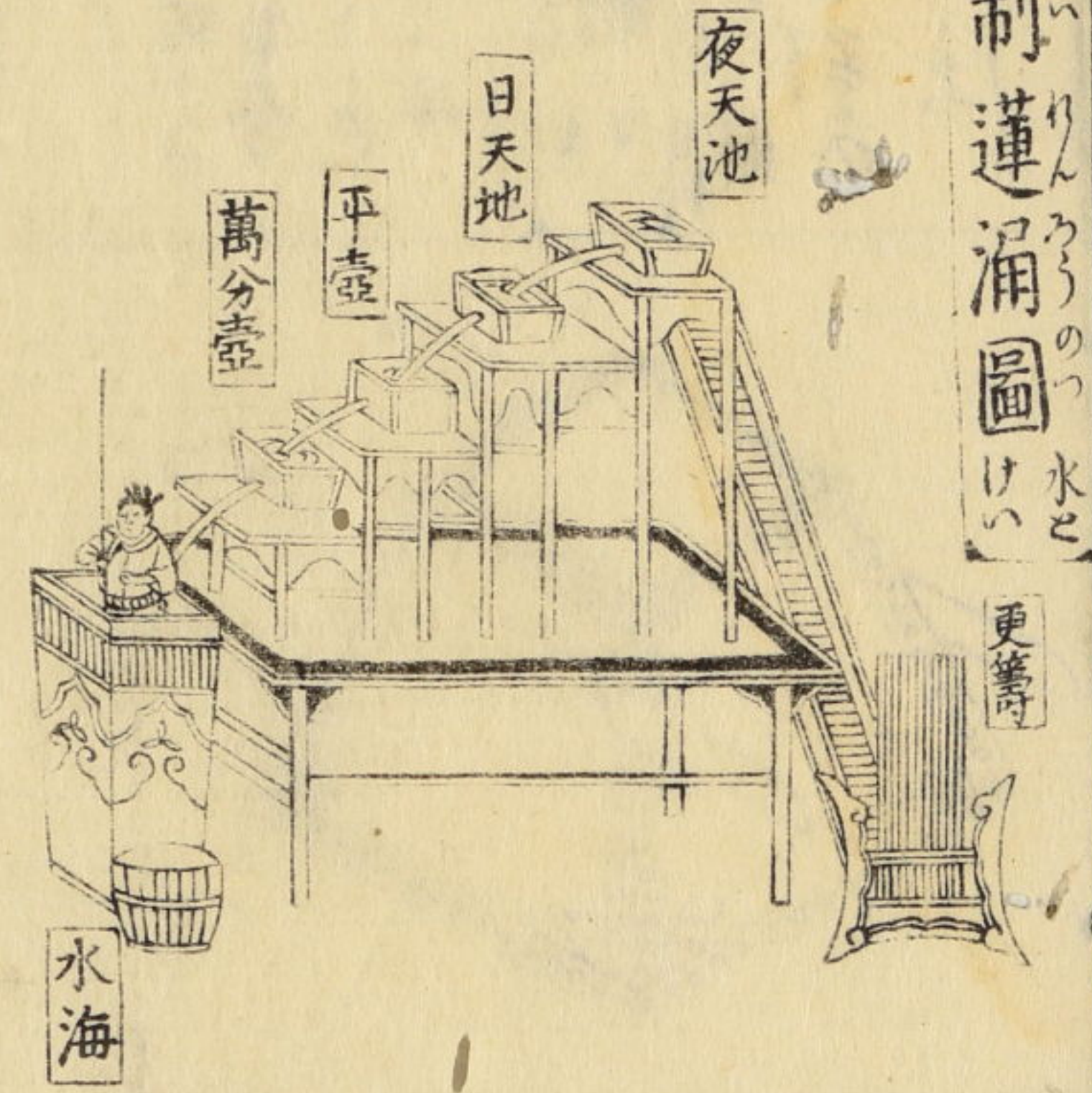
唐土諸國圖彙卷七

一人重さ三兩
樽一すわりの

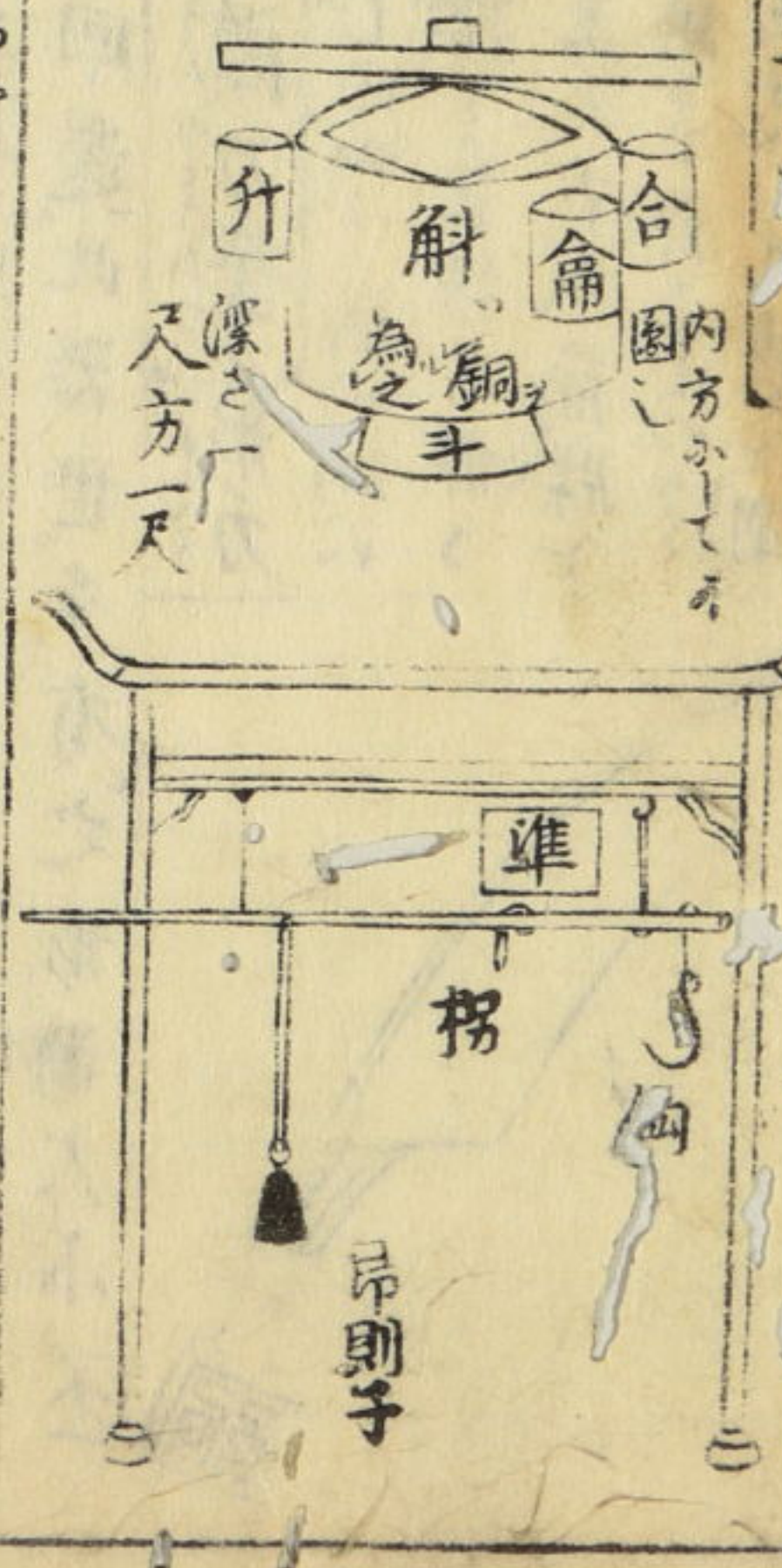
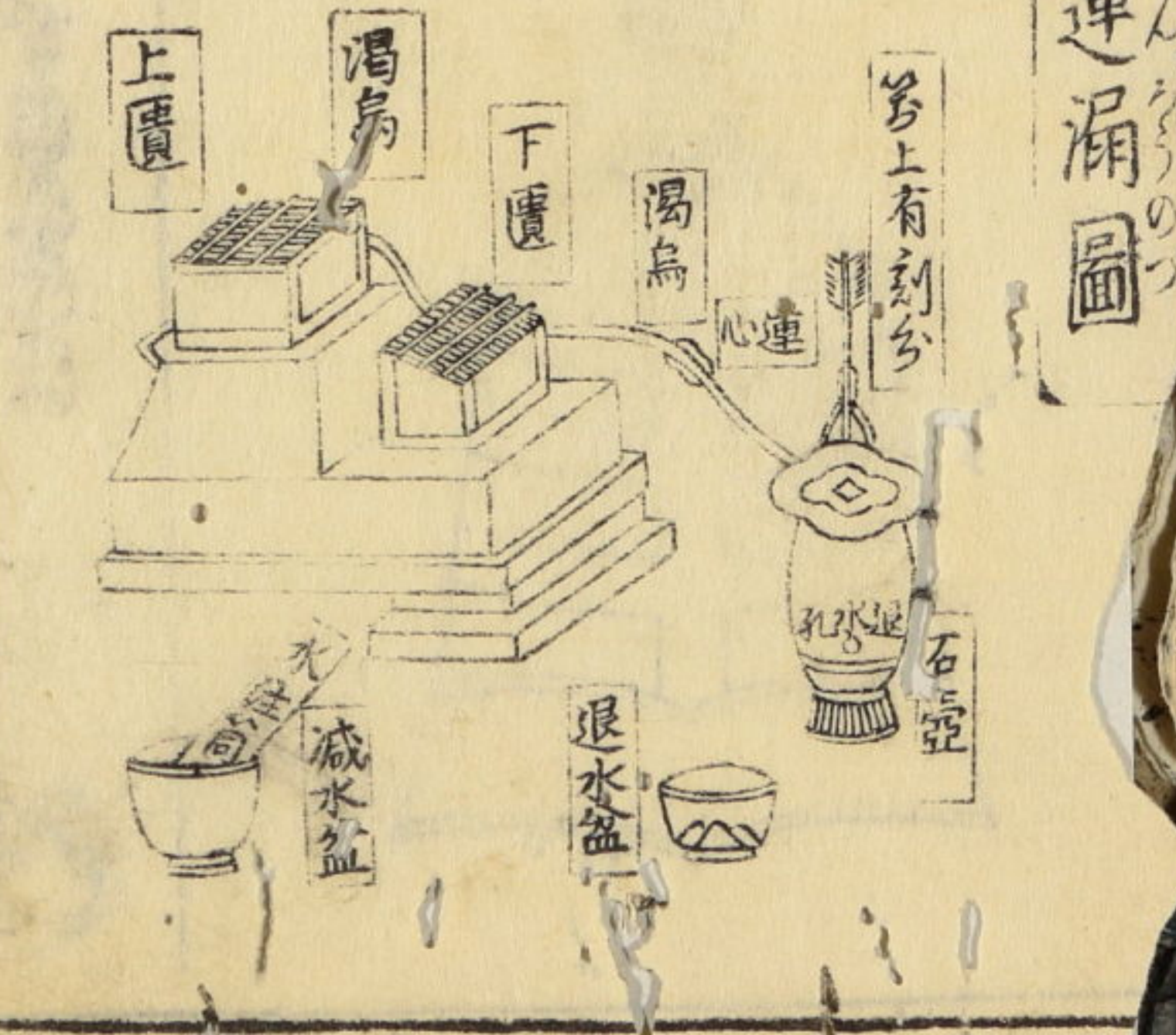
刀 長

七寸三分長六寸三分
闊八分重八兩七錢
袞服の飾 漢代天子の物なり

古制蓮漏圖



今制蓮漏圖



重ハ黃帝の命よりその秤と
千二百と容て命の中に實し井水
とりの準ら十命と合し十合と升
と合し十升と斗と斗と十斗と斛と
衡も一命の重十二銖二十四銖と積
丞相府漏壺 高さ
九寸半 深七寸
半 徑五寸八分
五升と容る 銘
井一字なり 漢
乃制たり

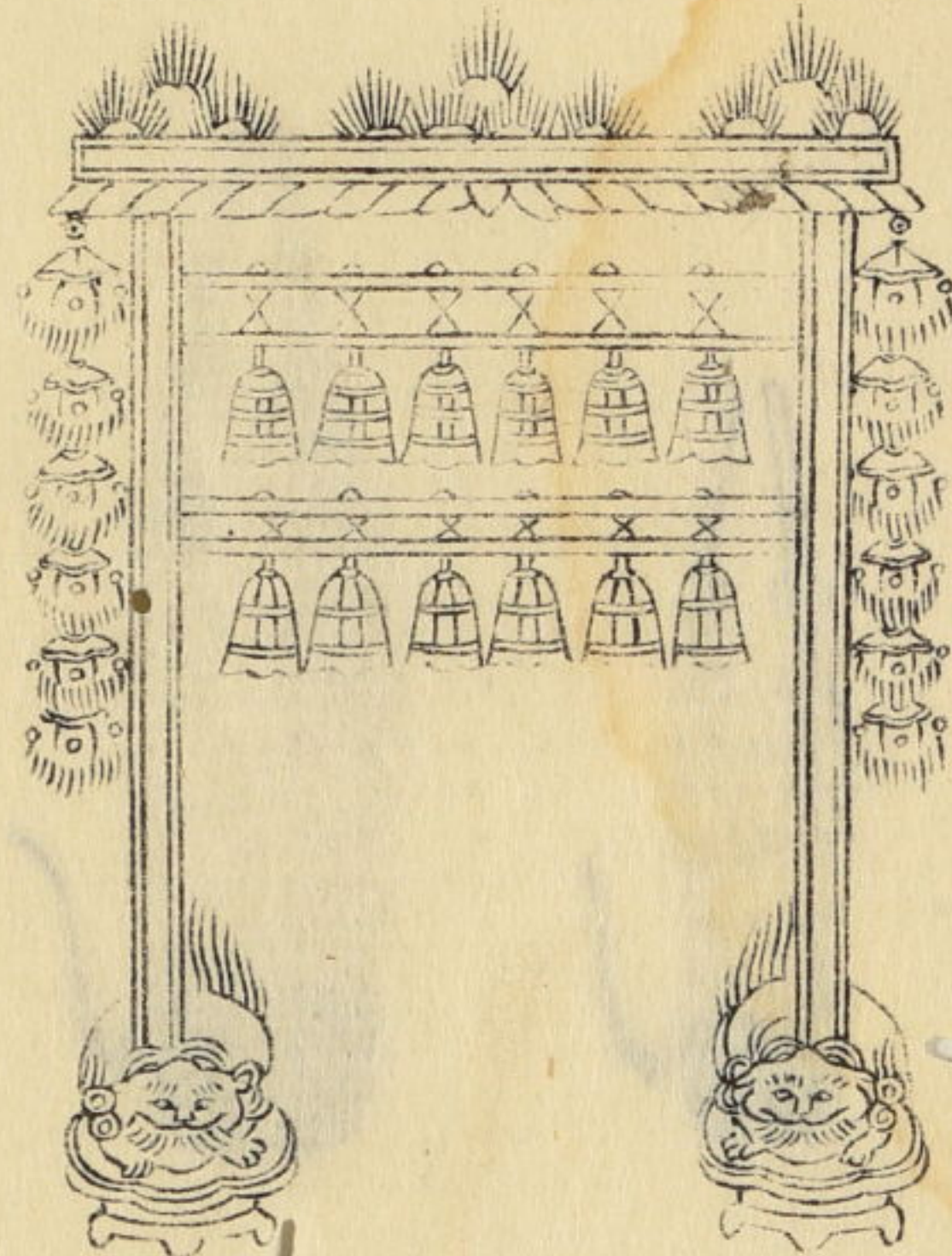
漏刻ハ黃帝よりして制りて壺表と之の周の掣壺氏壺表と百刻に
之の壺表ハ晝四十刻夜二十刻夏ハ晝六十刻夜四十刻秋二分
晝夜各五十刻漢哀帝の時改て百二十刻後漢武帝大同十年又
改て百八十刻と唐の時よりして壺表百刻として古制の蓮漏
圖の如く宋朝もこれを用いて唐の如く法晝夜を百刻と
十二時に之の壺表毎時八刻二十分毎刻六十分水とくると二升八百分の
四十八二の一氣に當り一歲流て二百十六万分水とくると二升八百分の
烏水と別して蓮心を置くおとすて上の上

唐土諸國圖彙卷七

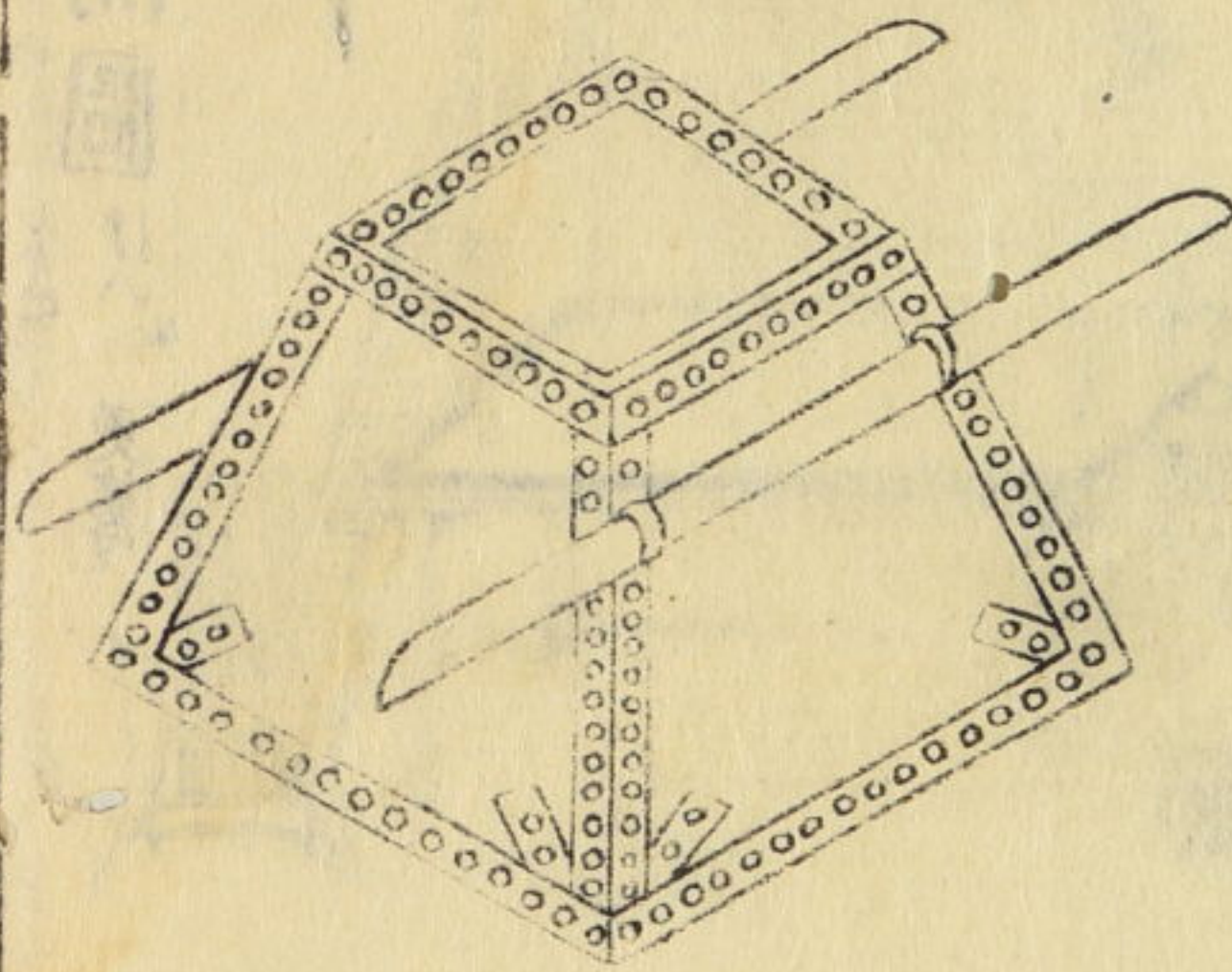
金鐘千の圖



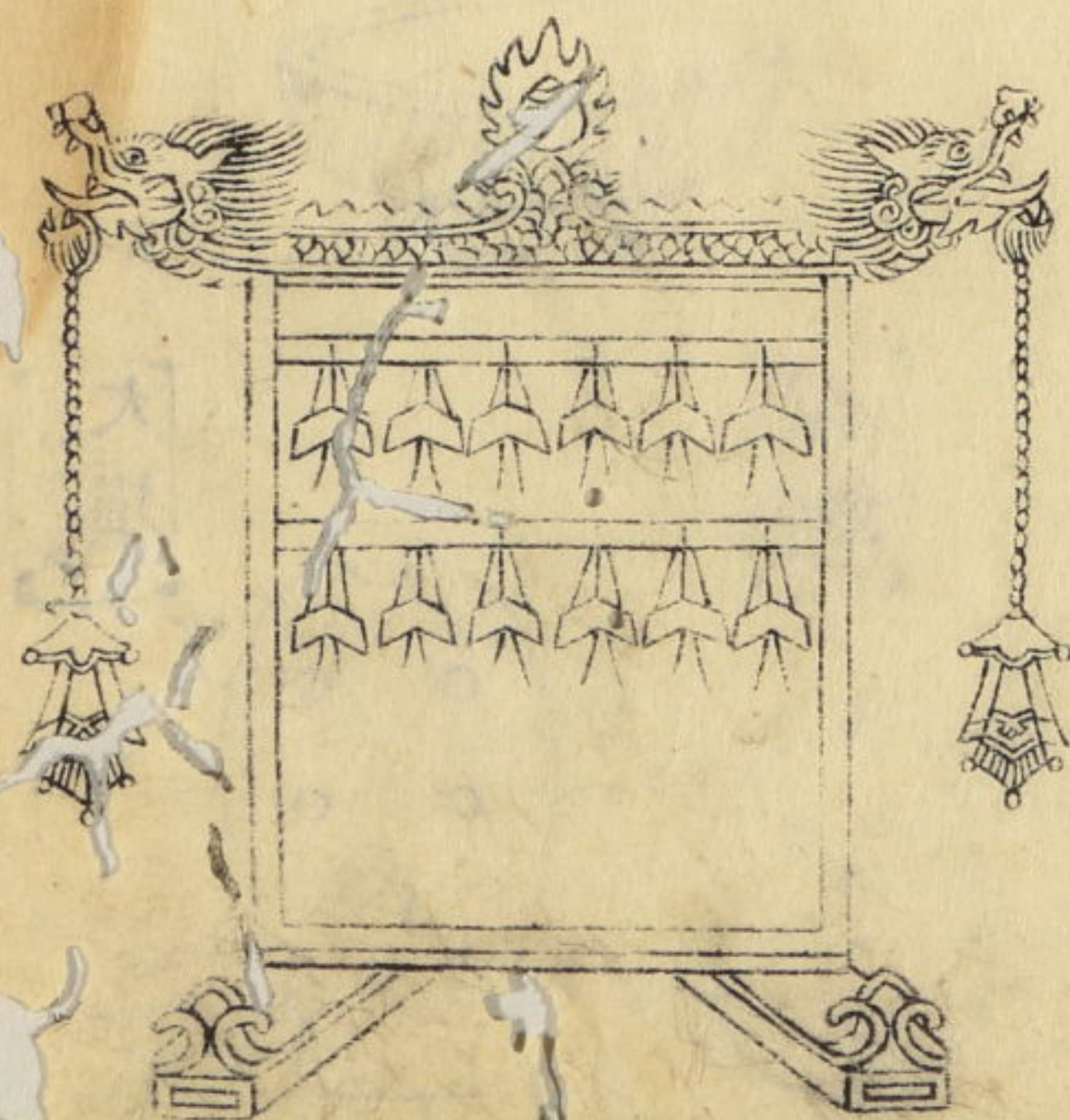
編鐘歌鐘



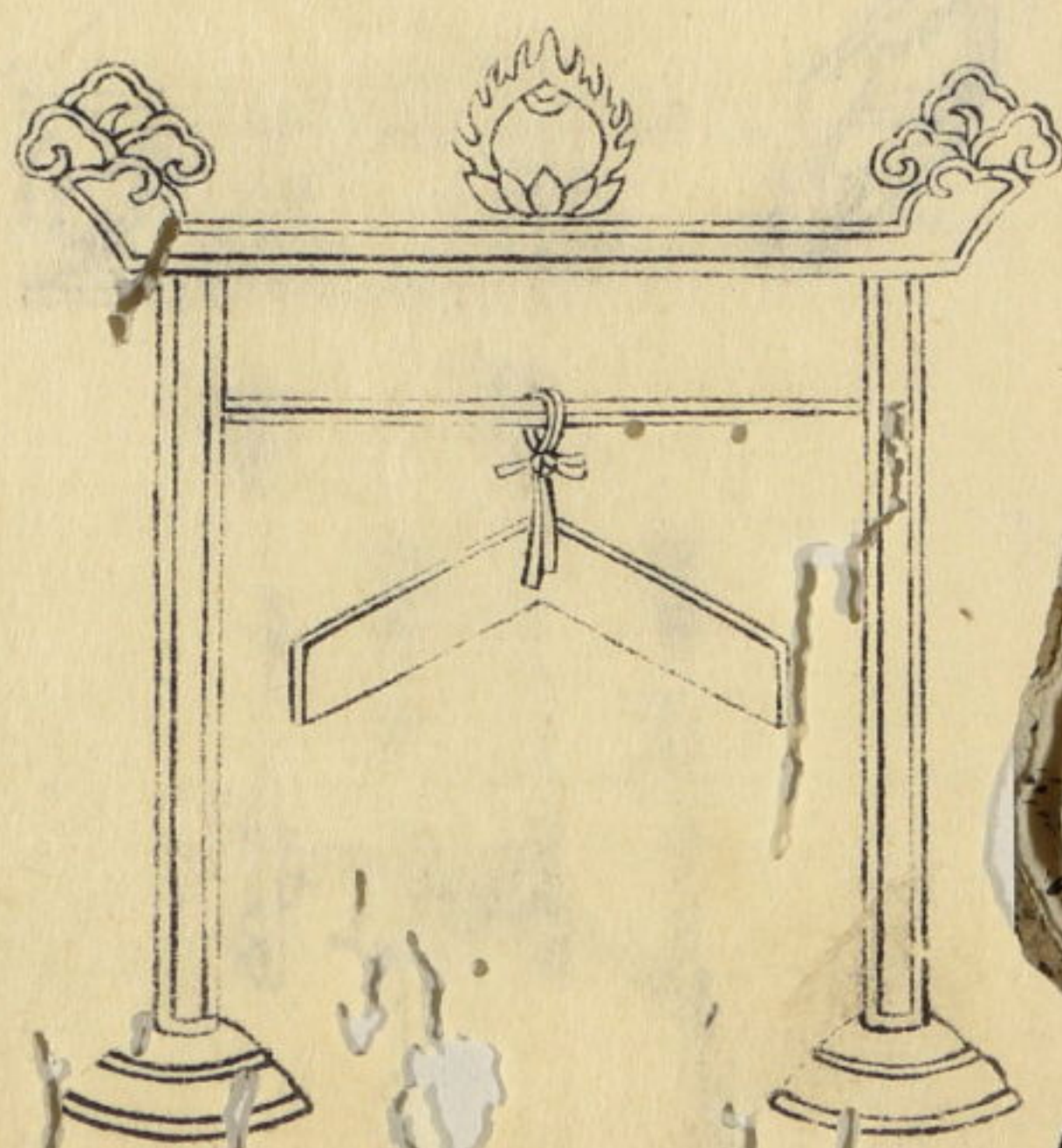
古斛
升量し斛
八十斗量し
角の多
おのりた
に平た
とめてし
またの
らに古今
あま
くら八回
今斛
升斗
粟の
厚く



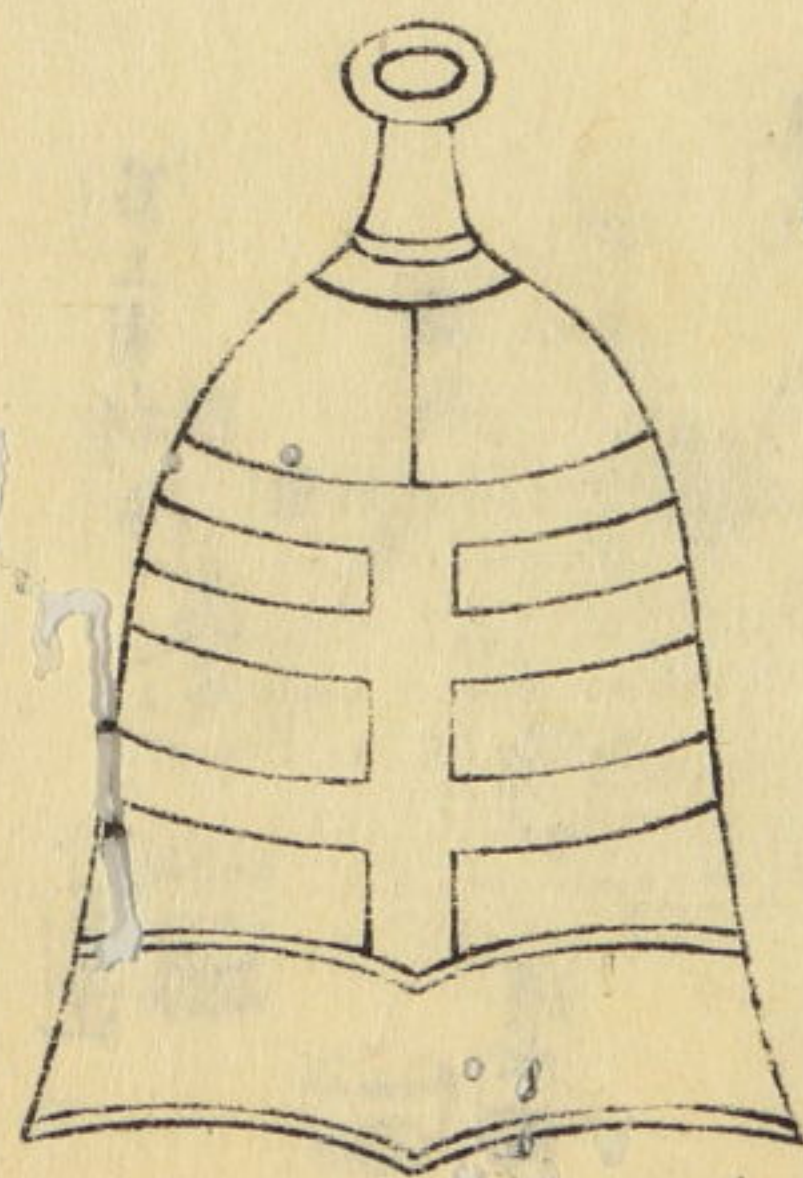
磬編



天球

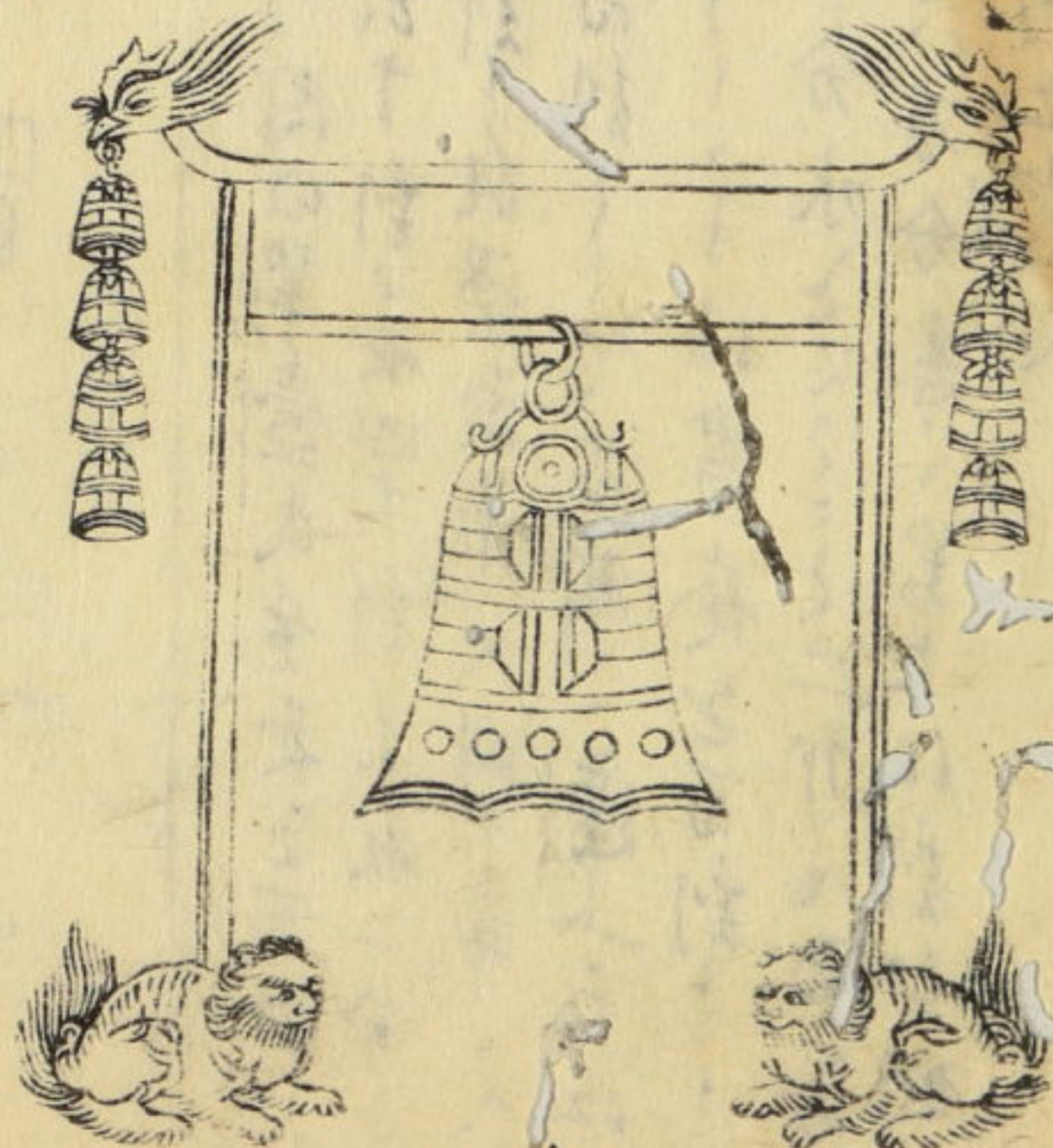


鑄鐘八の金



鑪の虞夏
大鐘
とよ

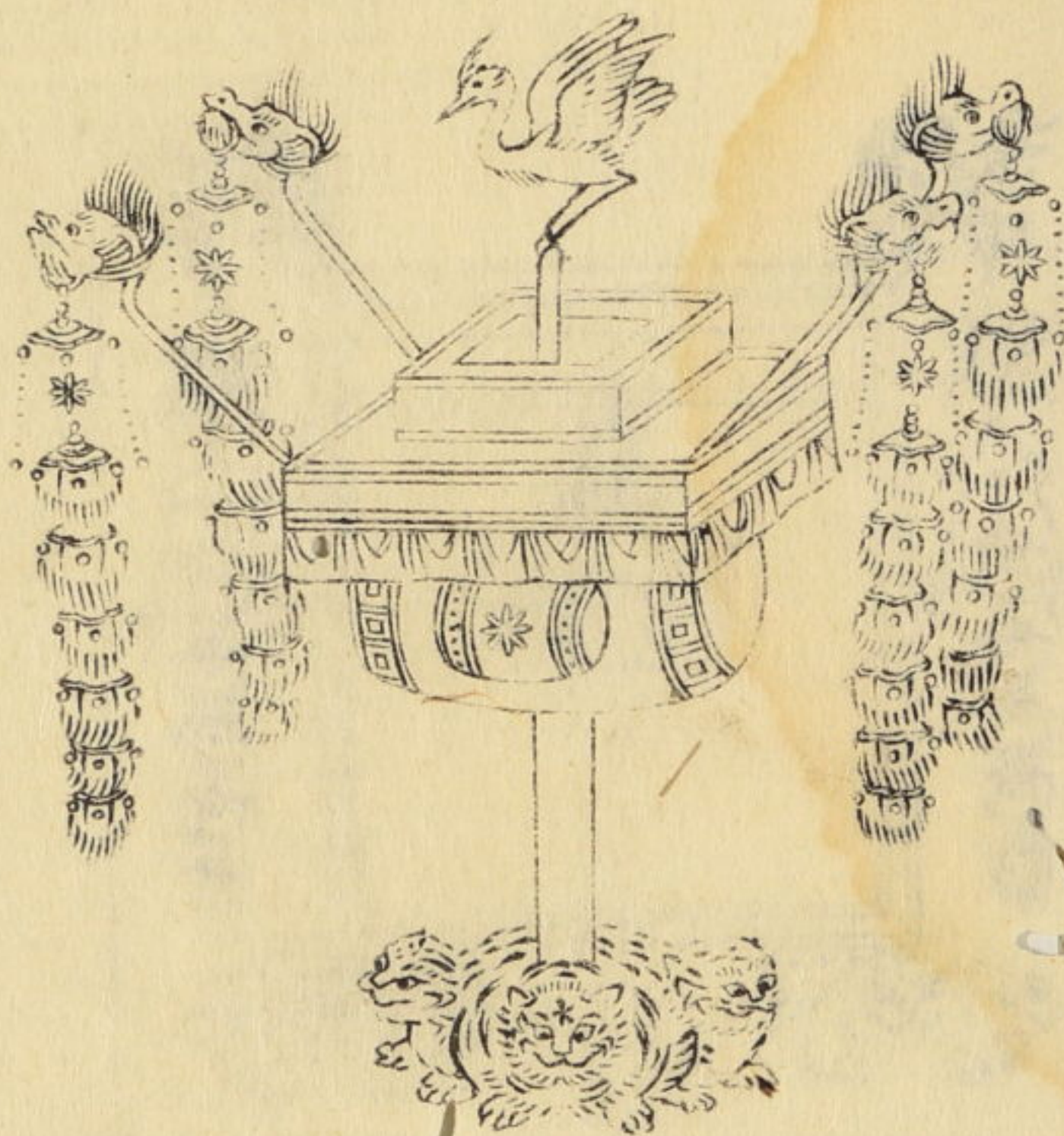
樂器



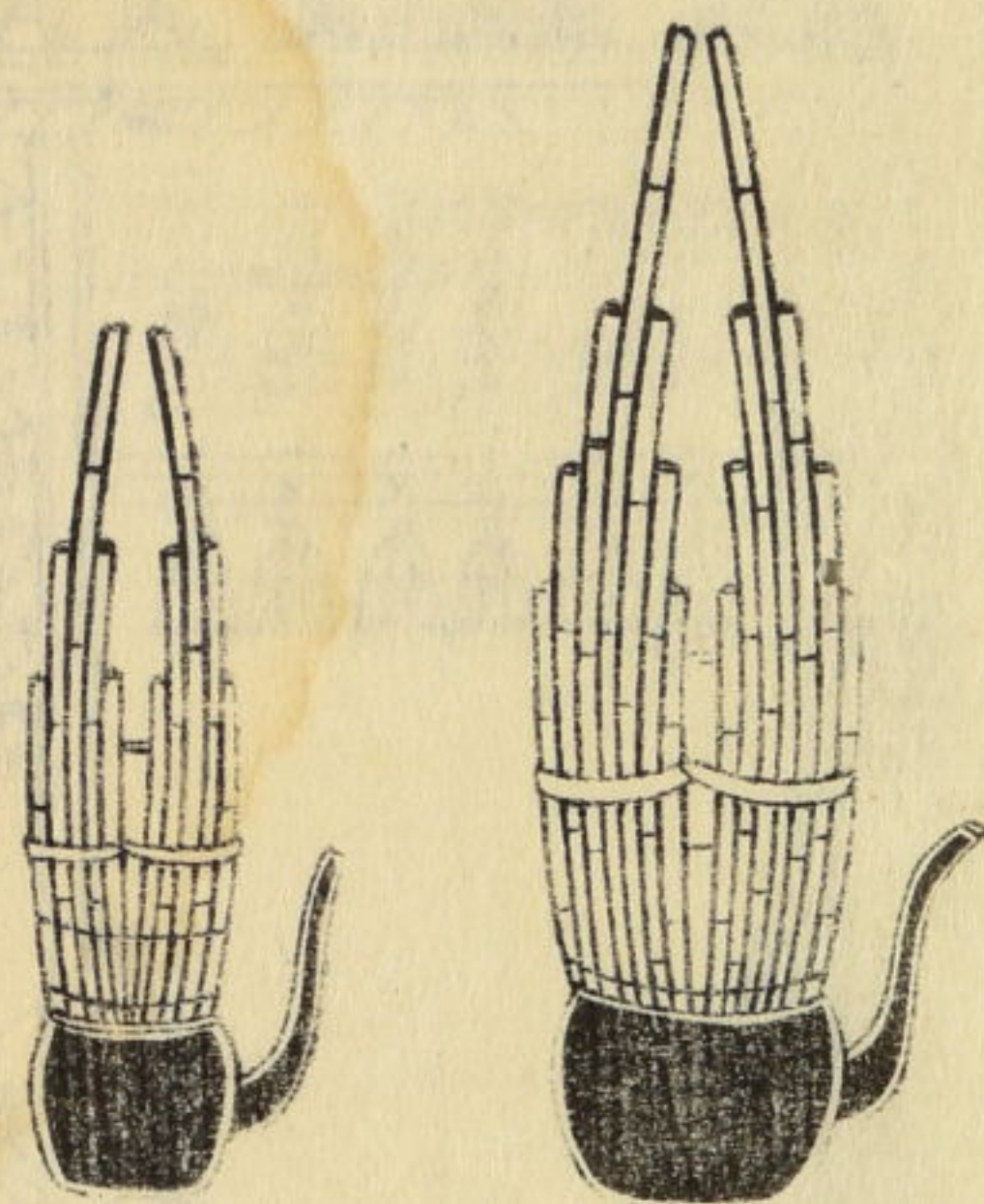
鼓 = 雷



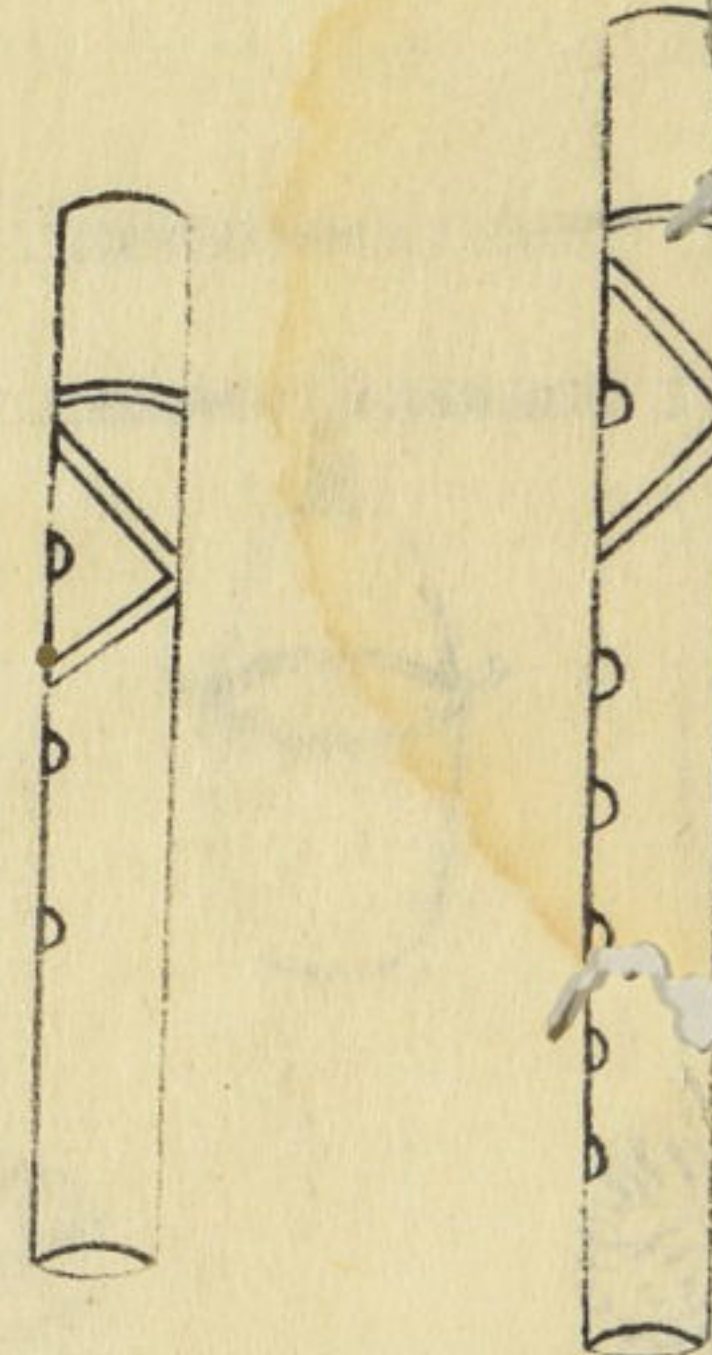
鼓 = 建



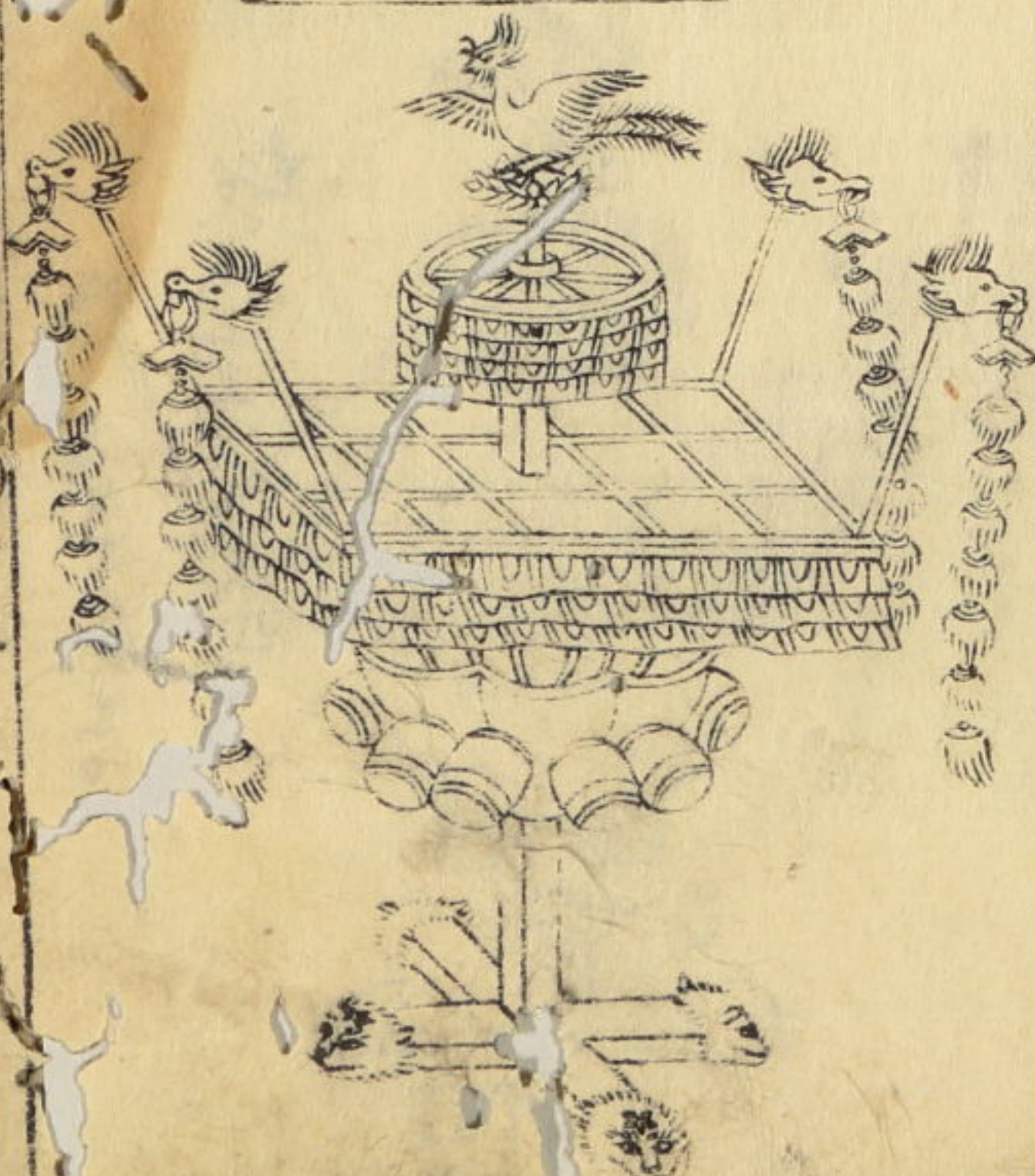
竿 小 大



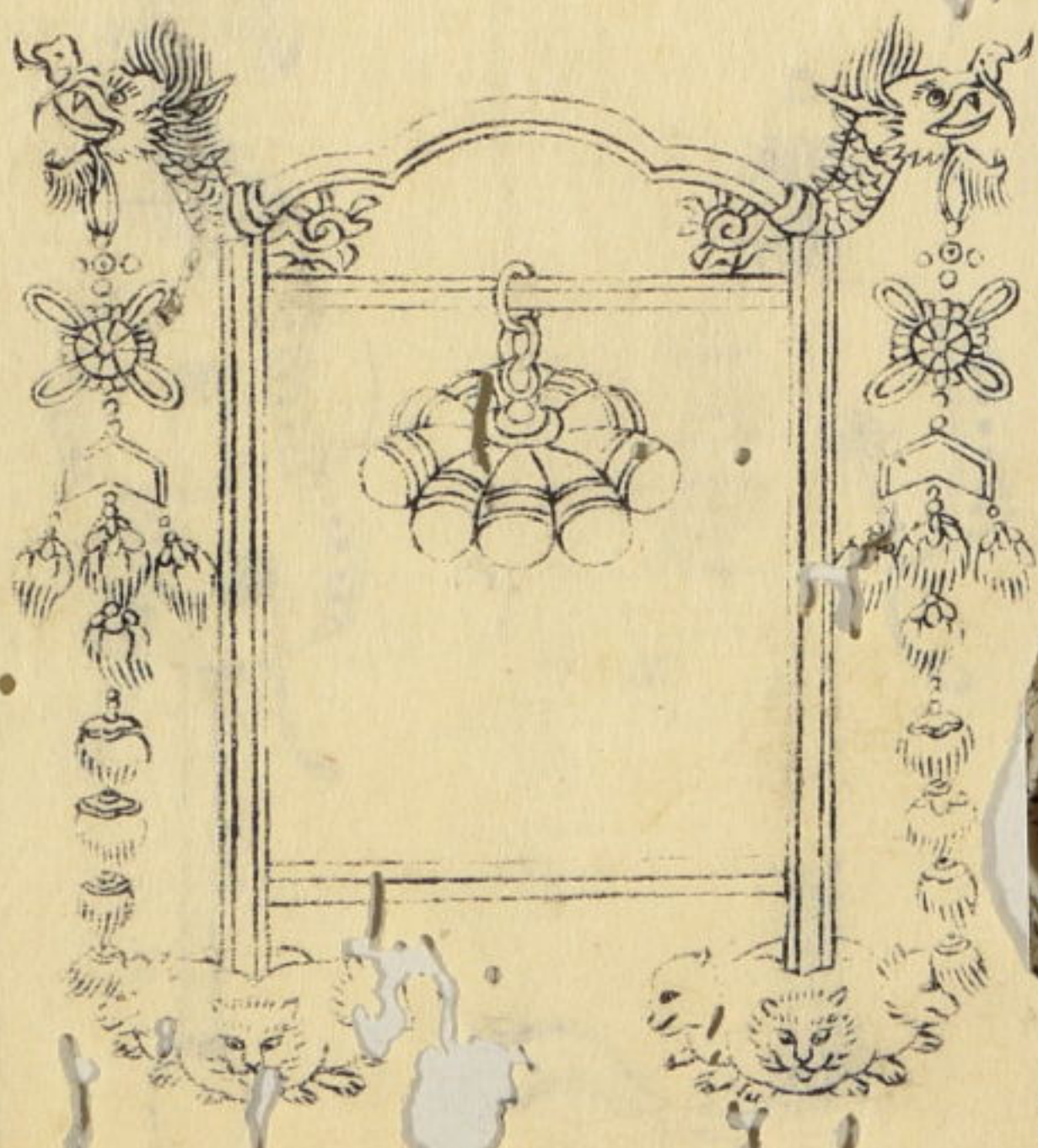
篪 小 大



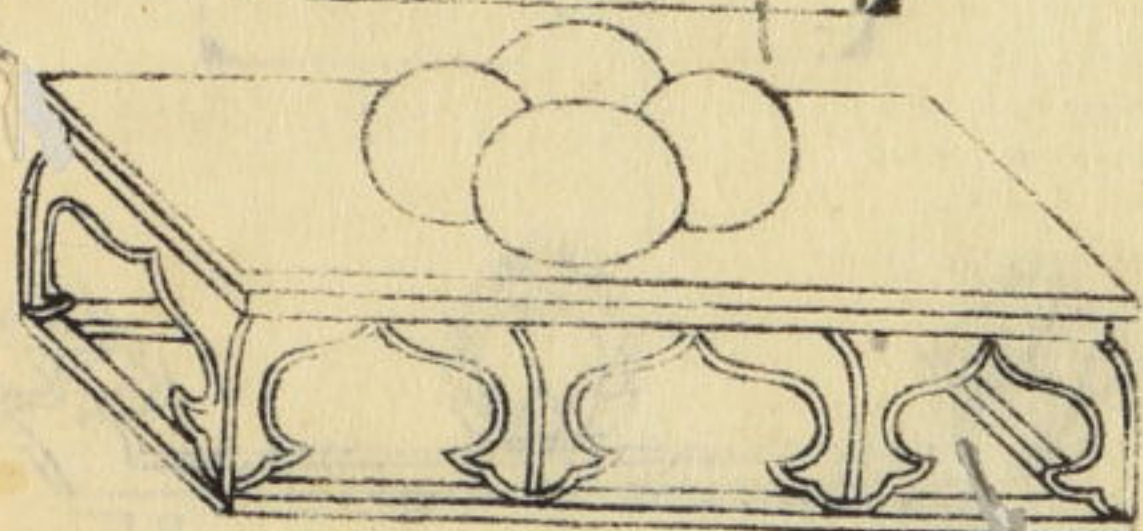
鼓 = 靈



鼓 = 靈



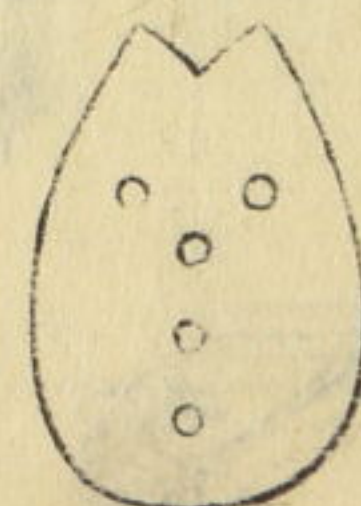
鼓 = 拊



缶 古



小 塤



大 塤

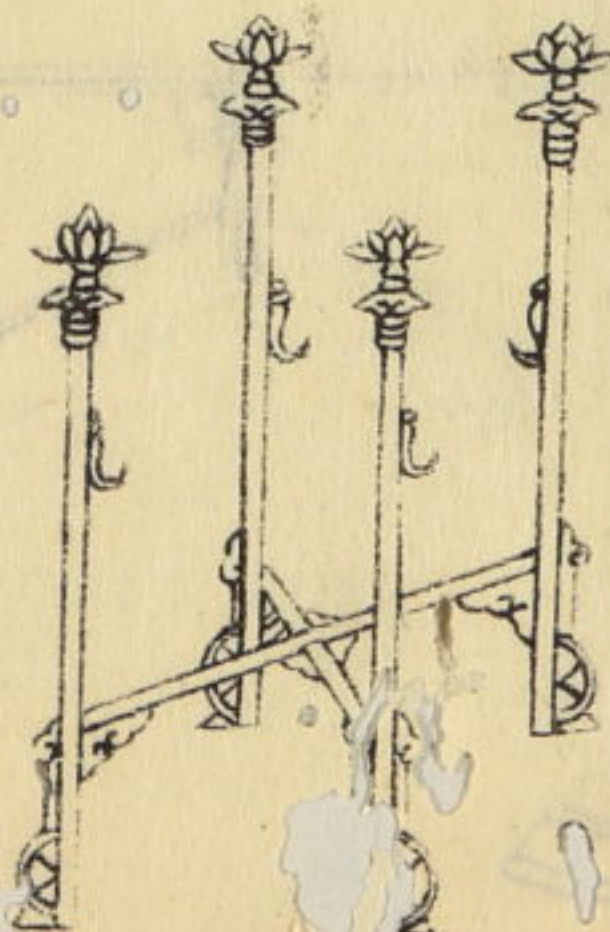
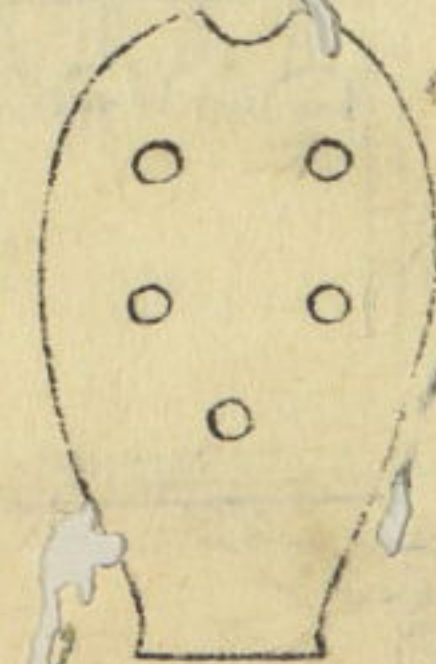


圖 鼓 應

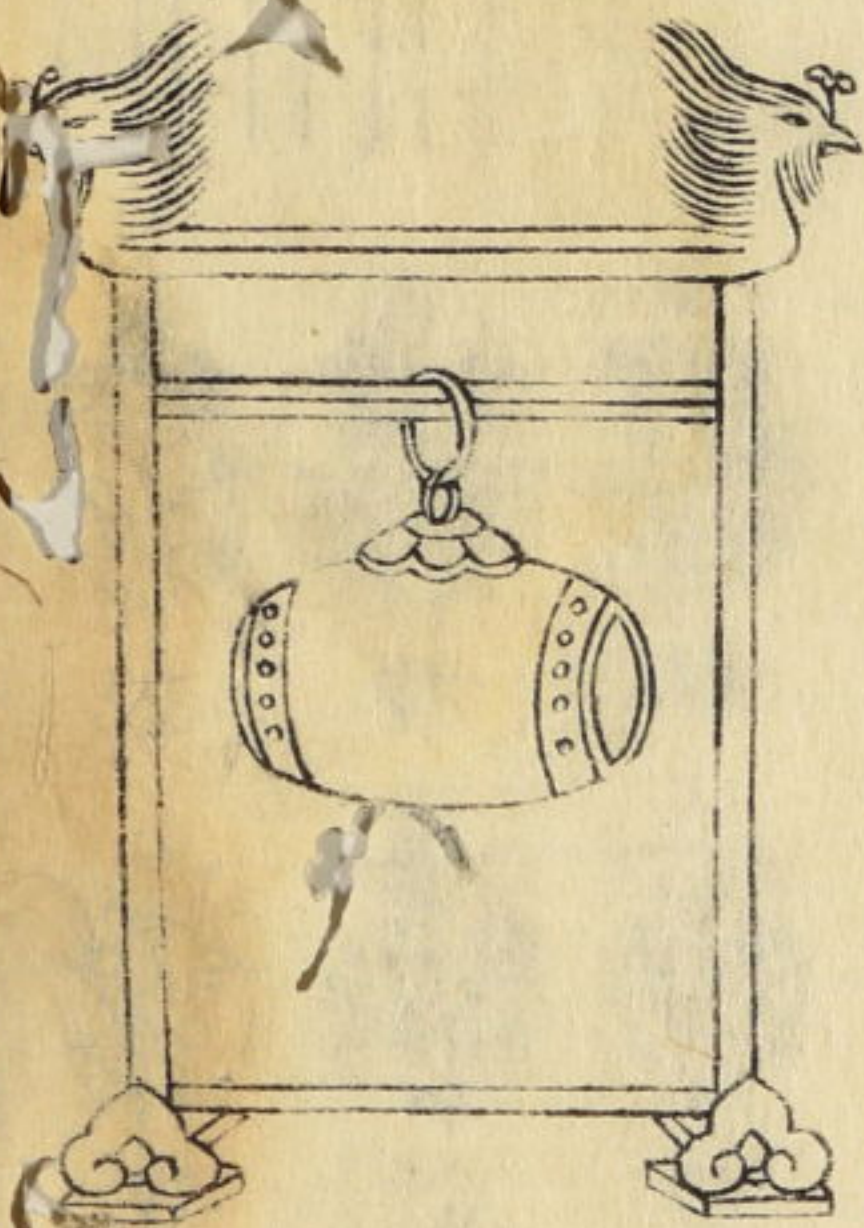


圖 鼓 晉

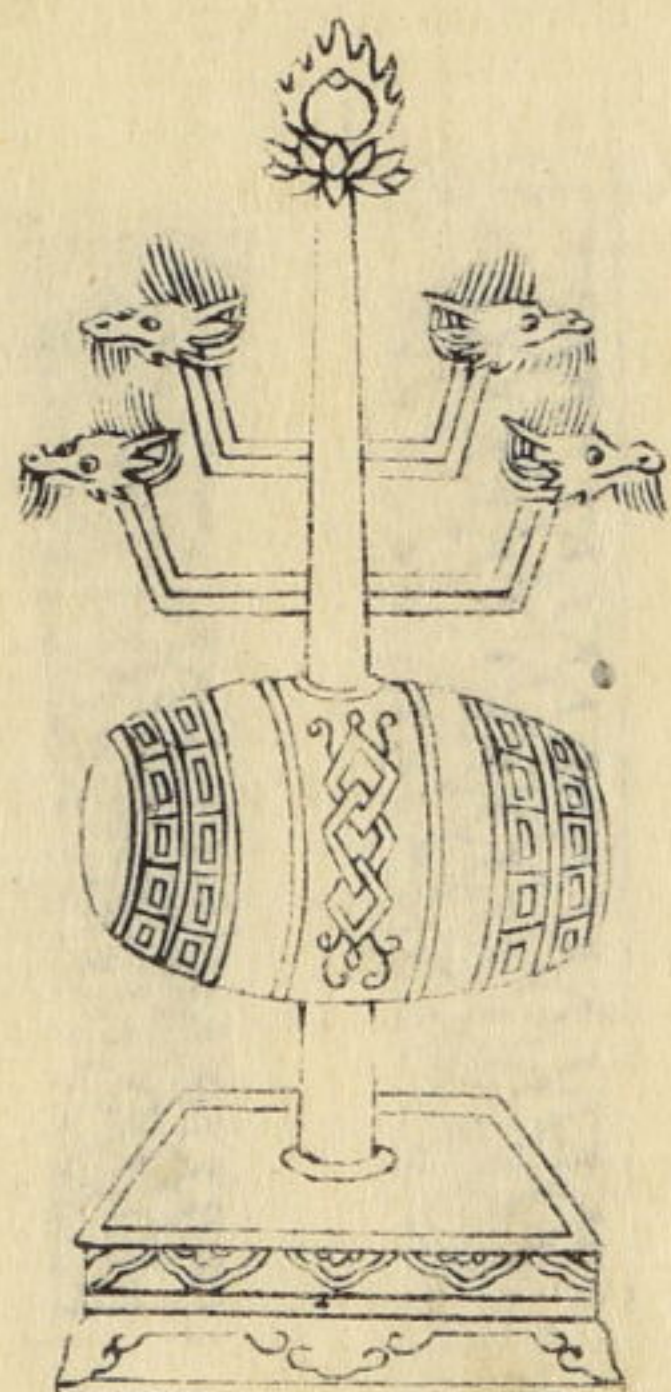
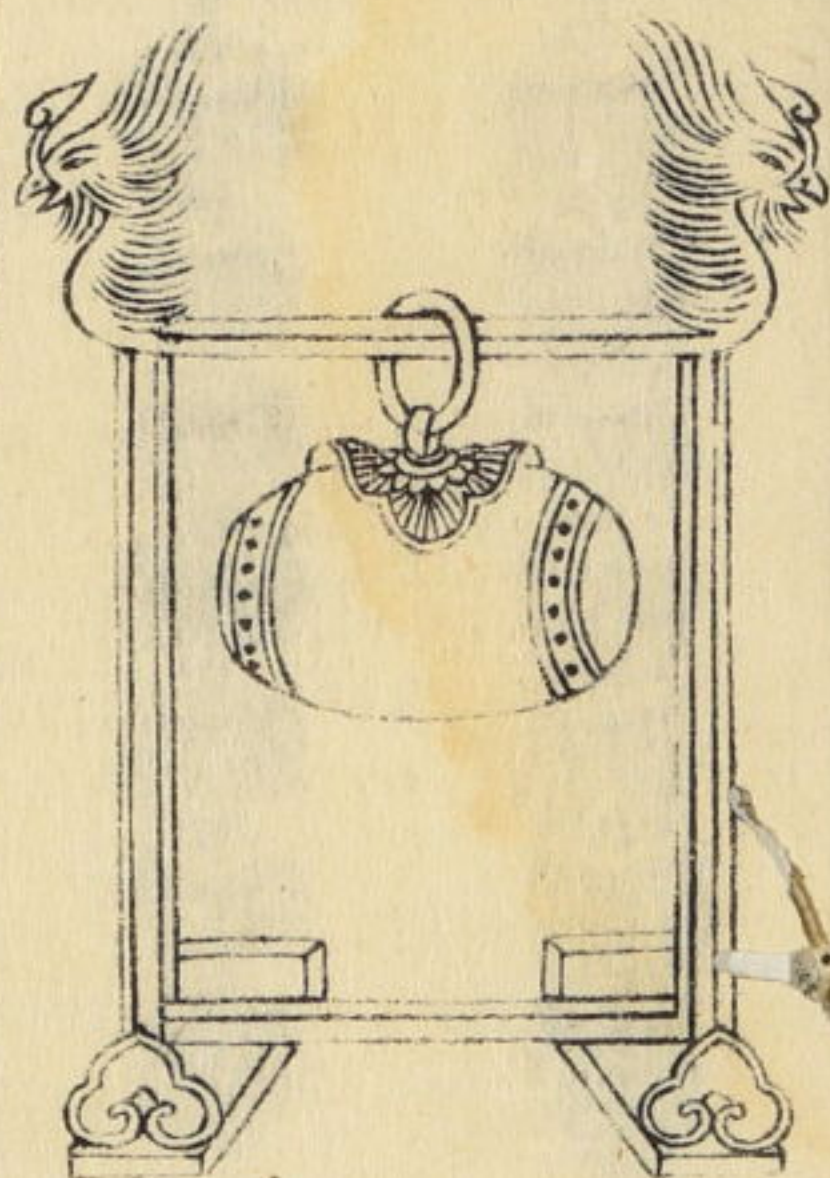
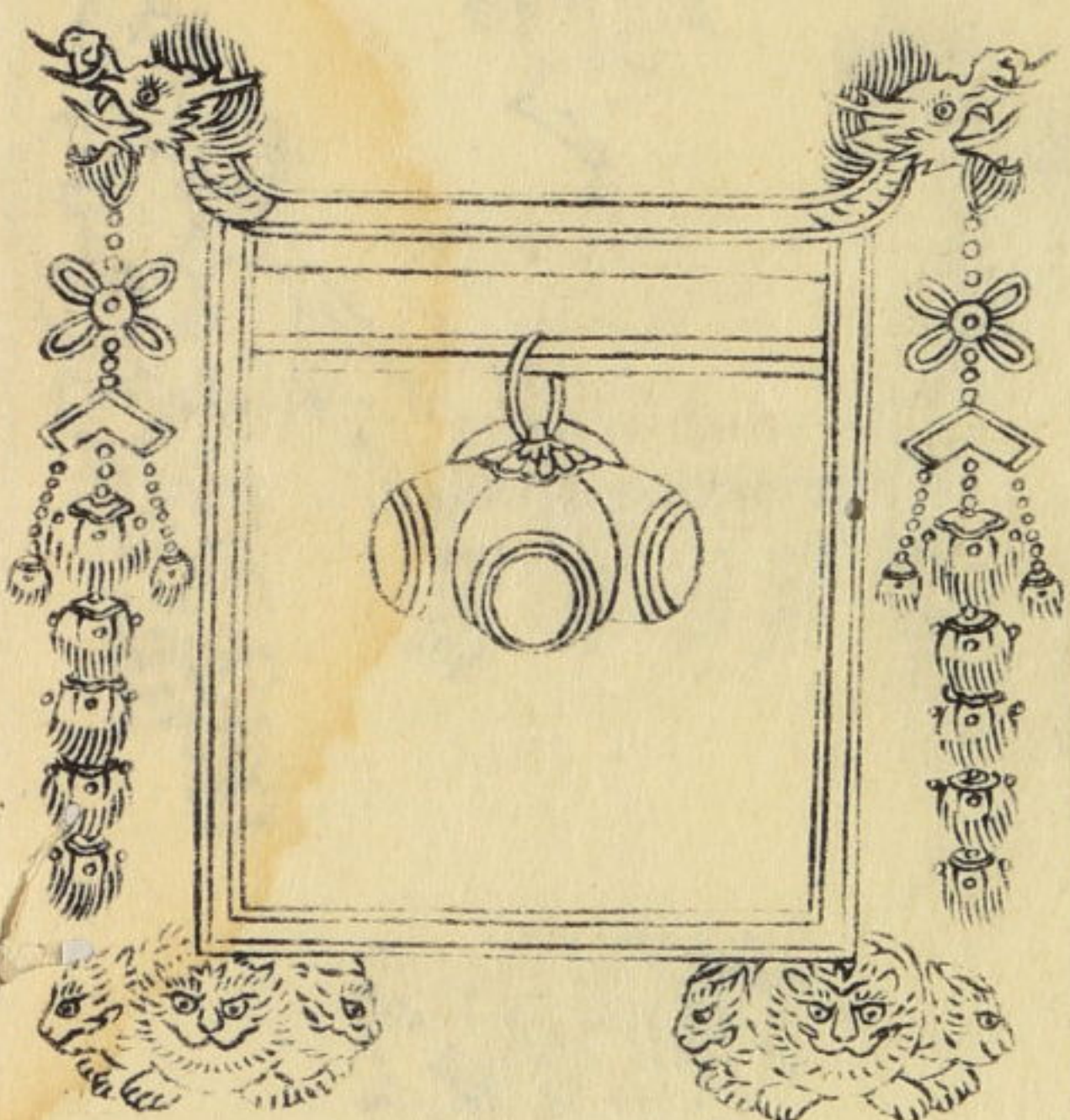


圖 鼓 鼗



鼓 路



鼓 靈

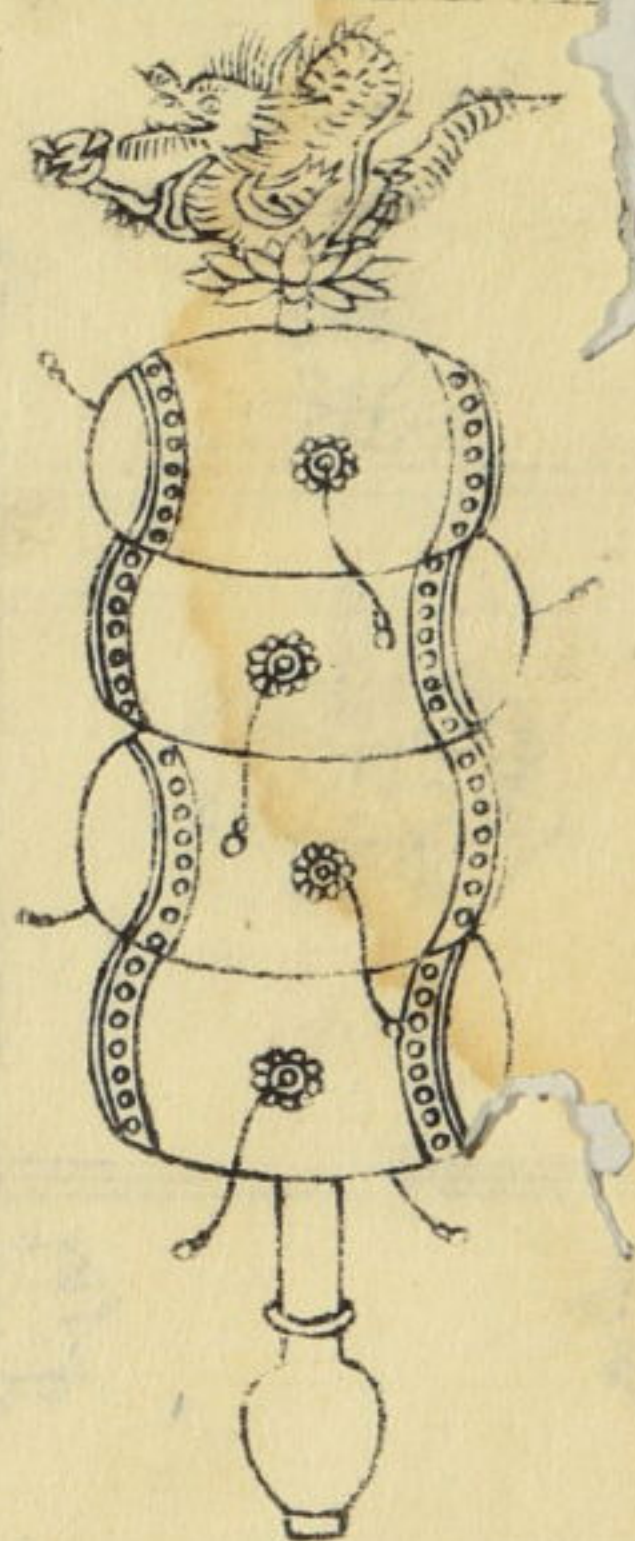
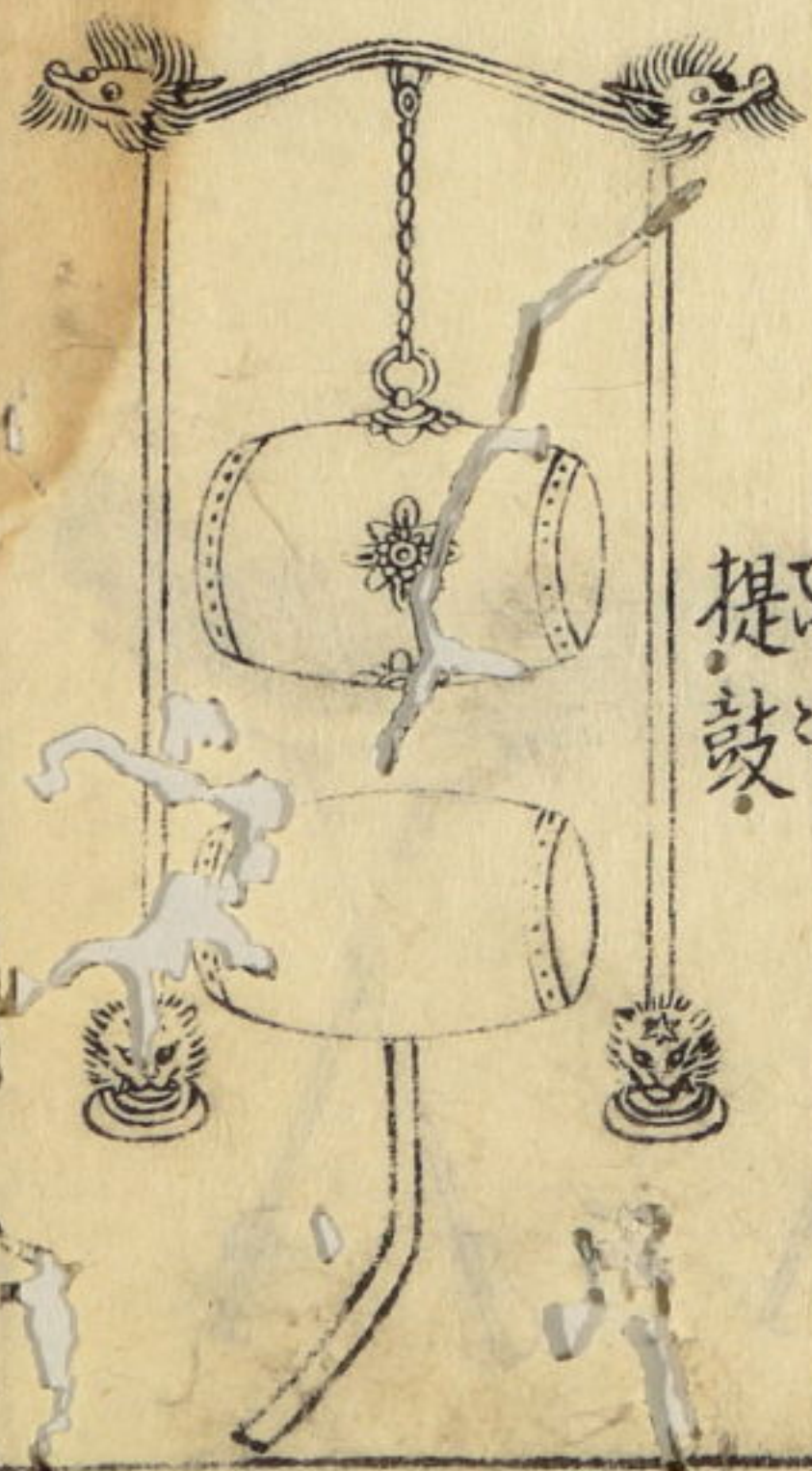
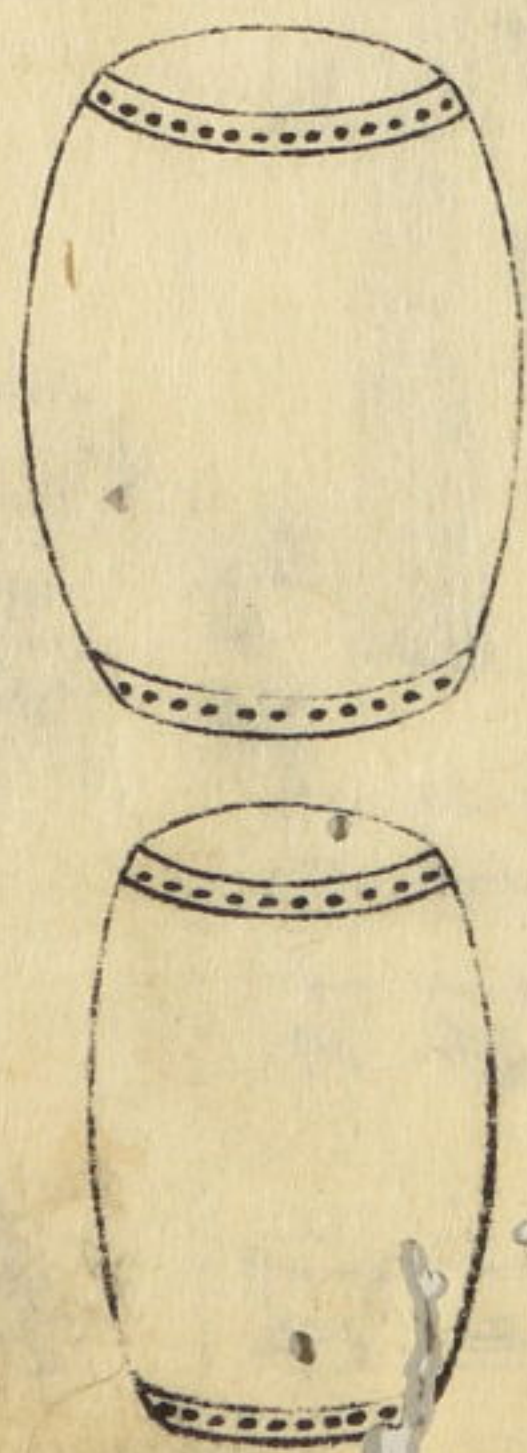


圖 鼓 鼗



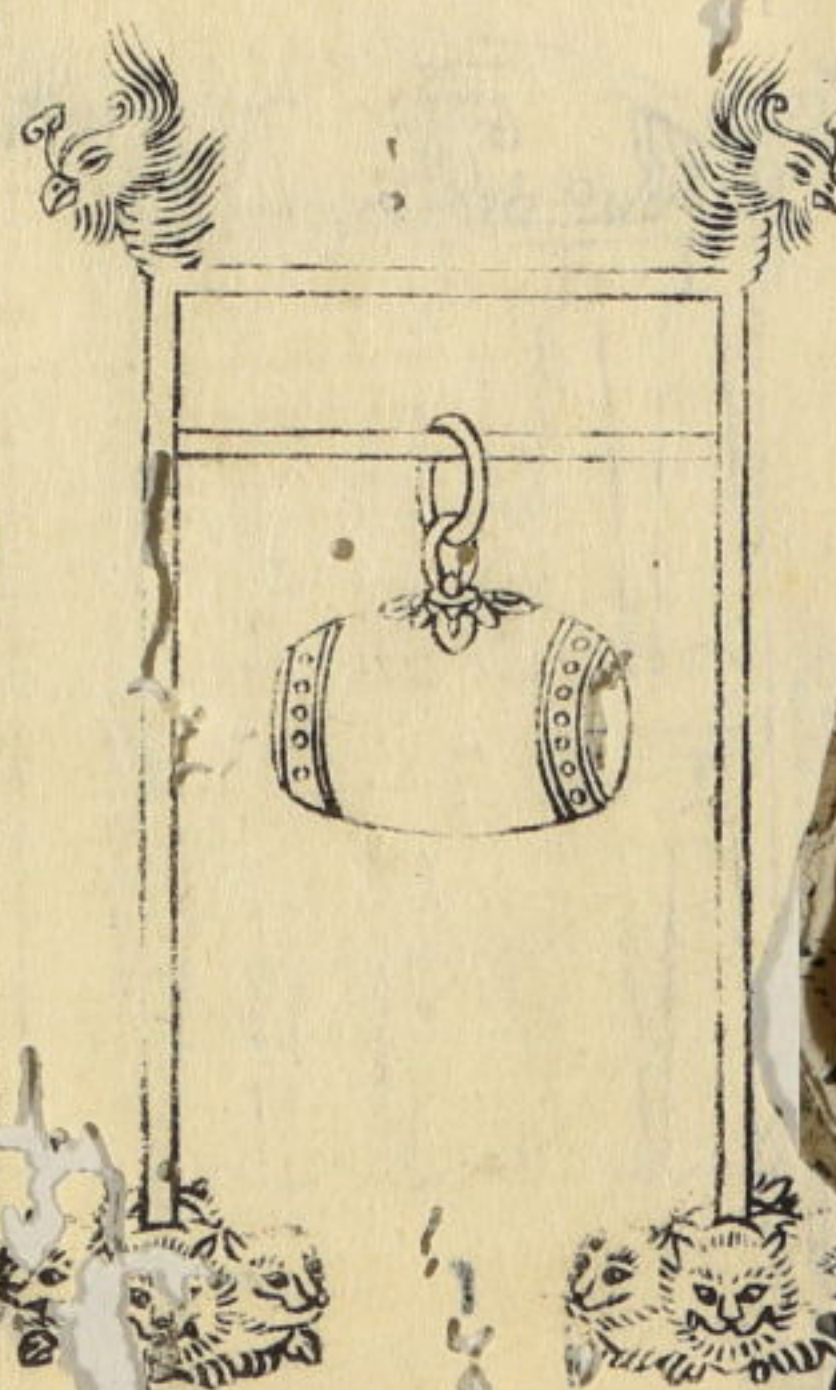
鼗鼓

圖 鼓 鼗

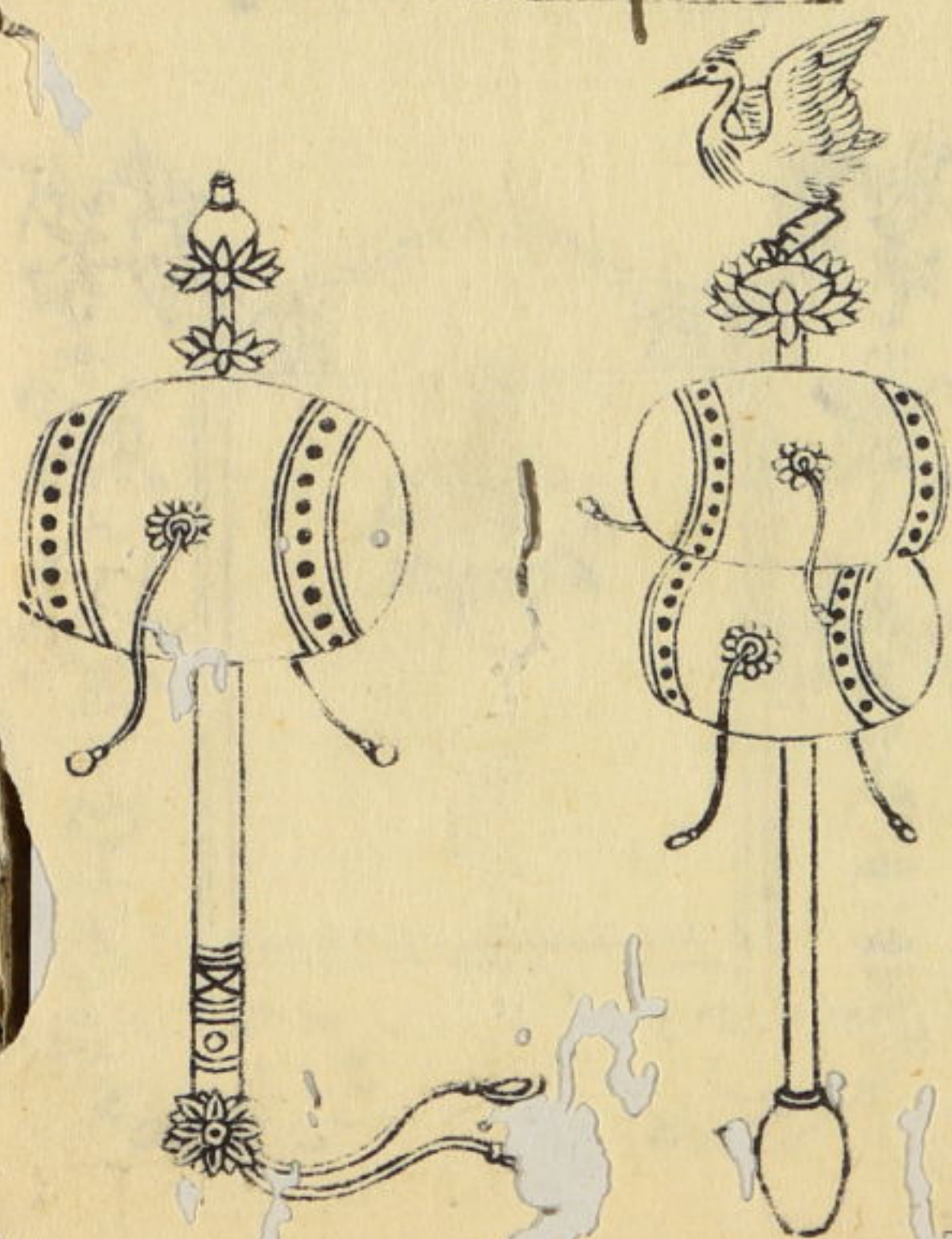


鼗鼓

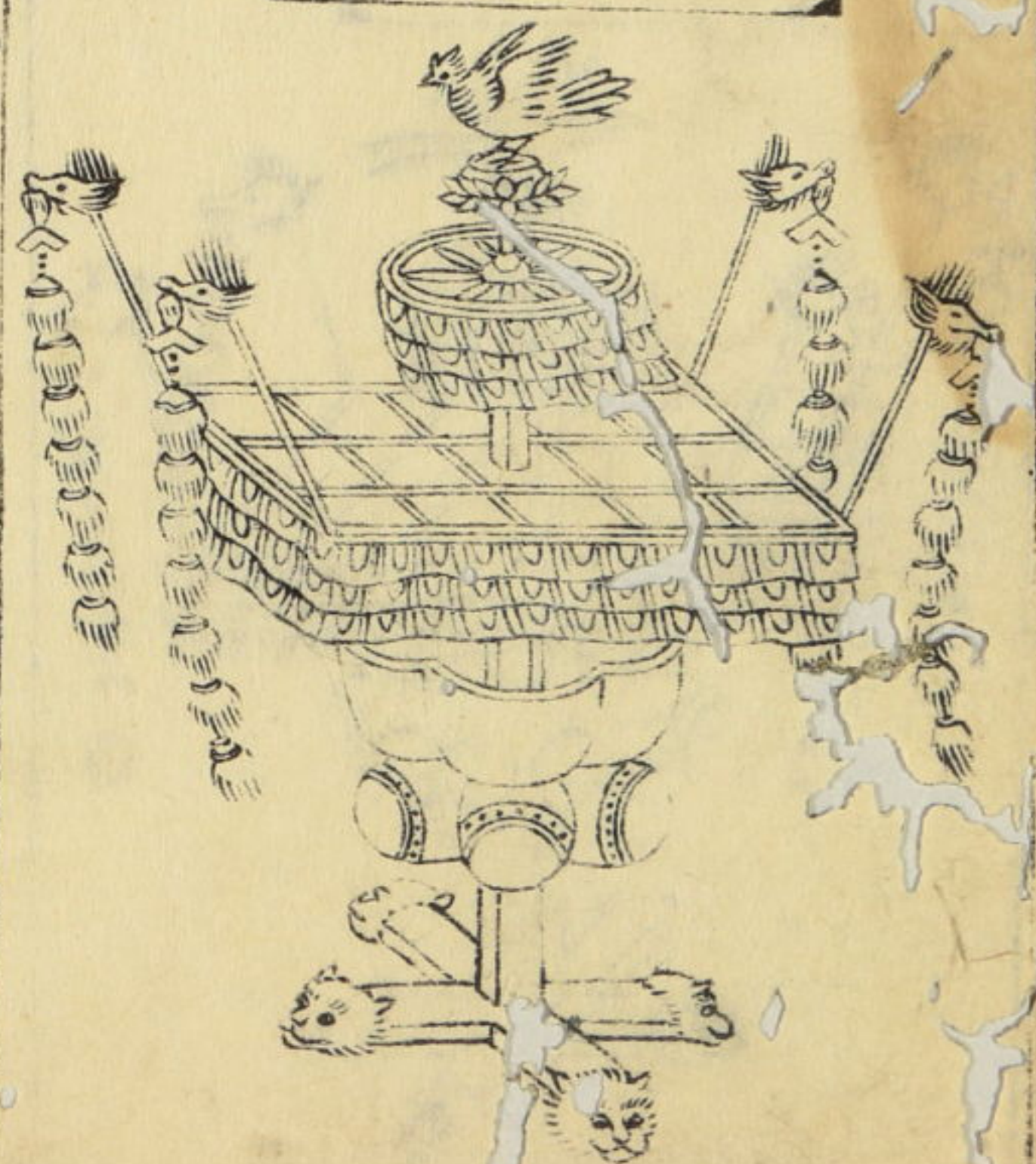
圖 鼓 鼗



鼓 鼗 路

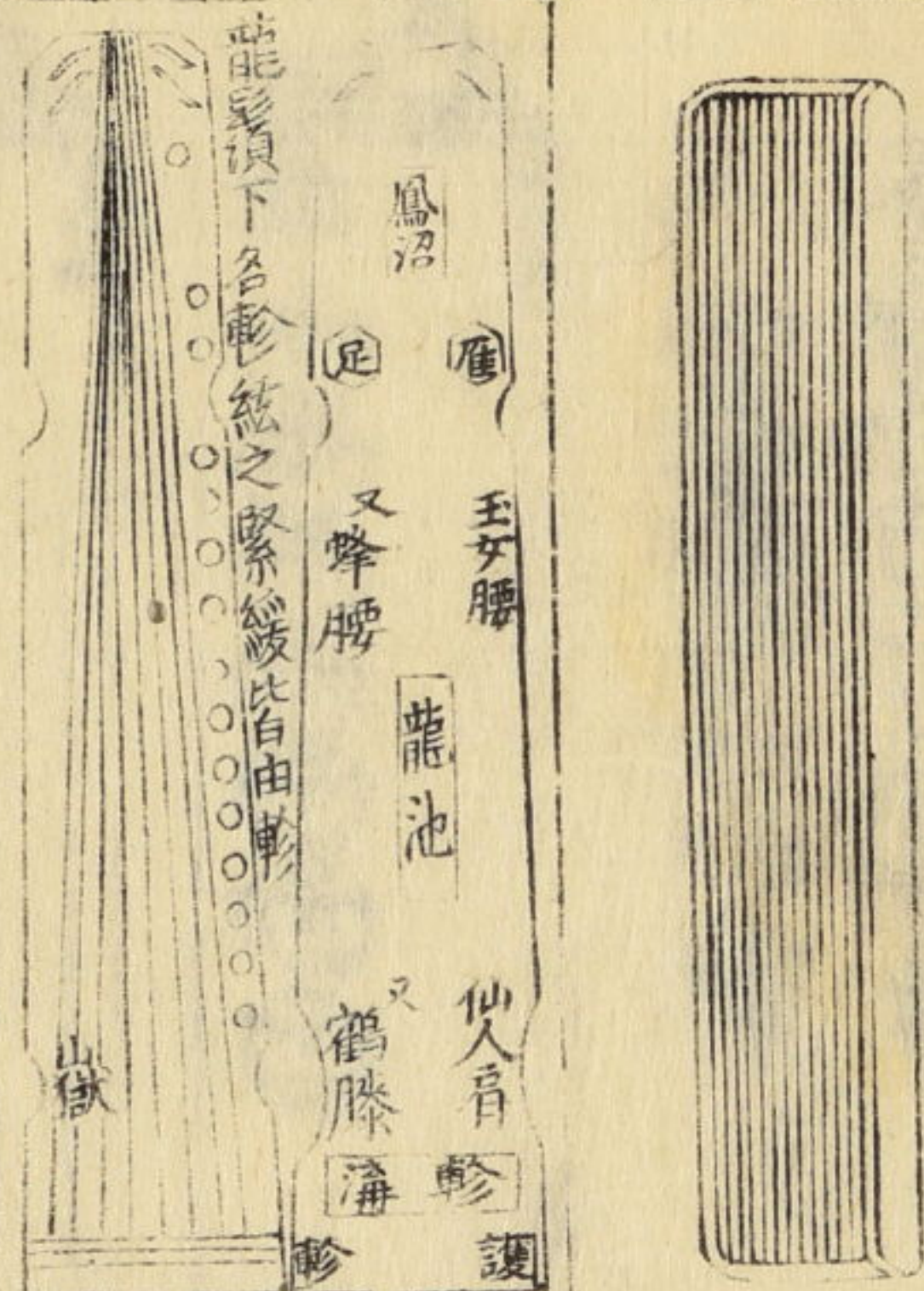
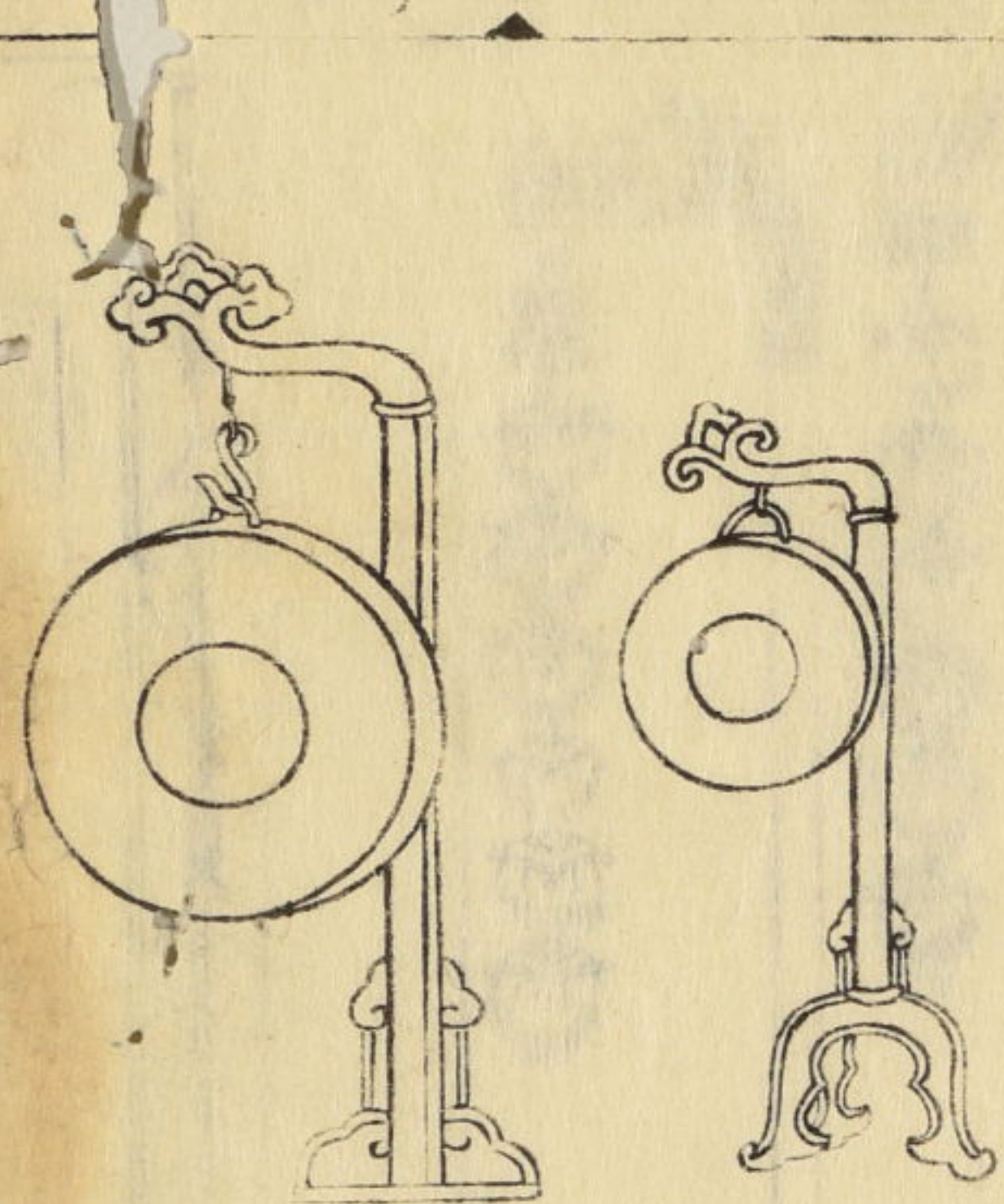


鼓 路

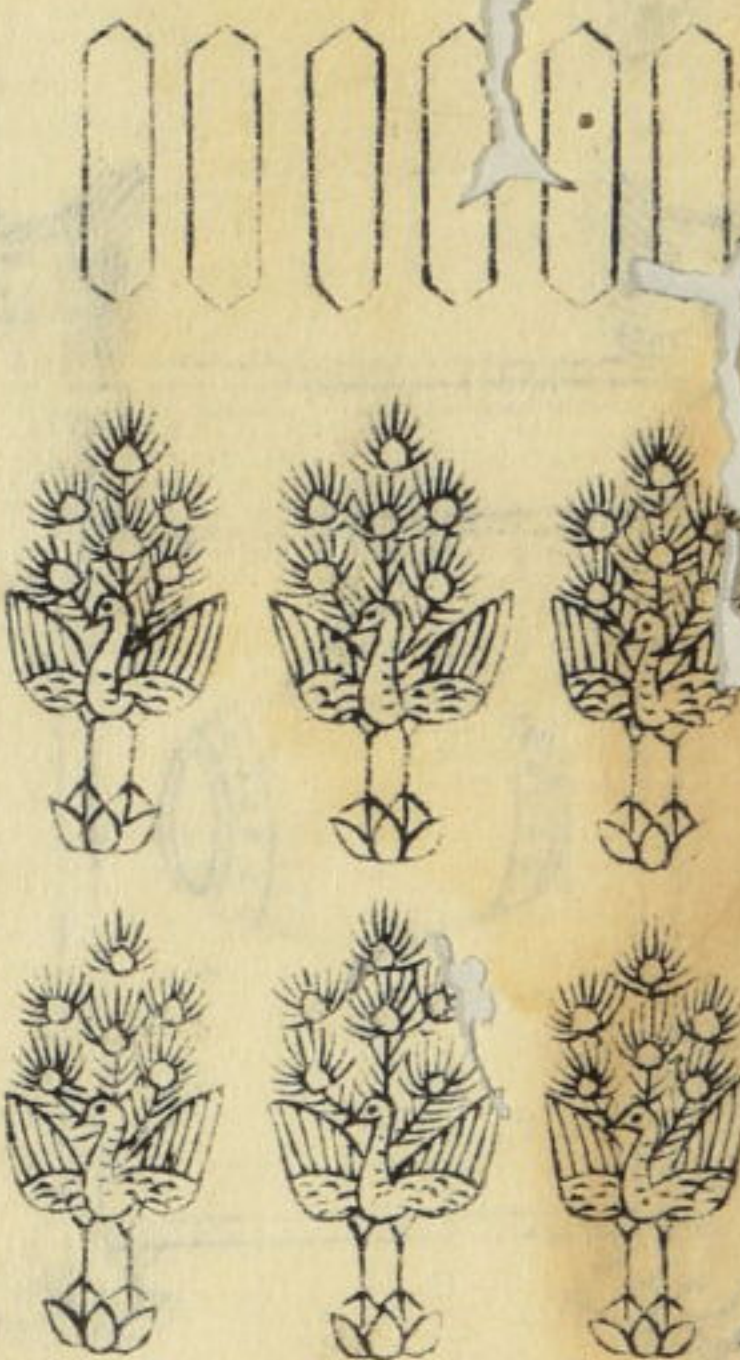
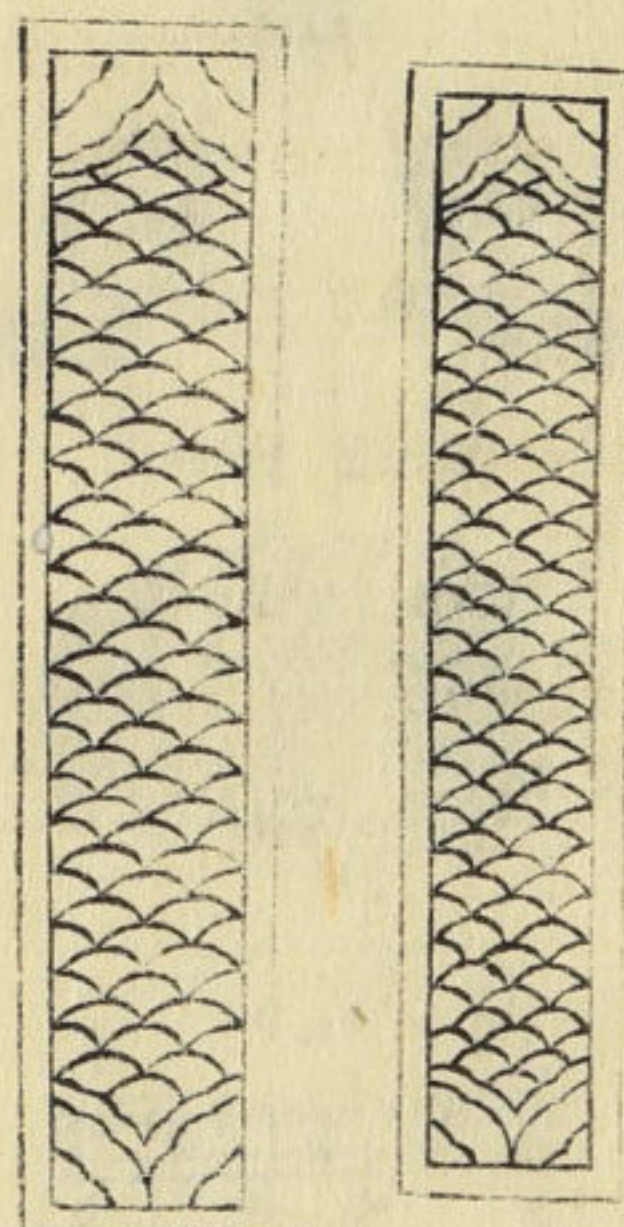
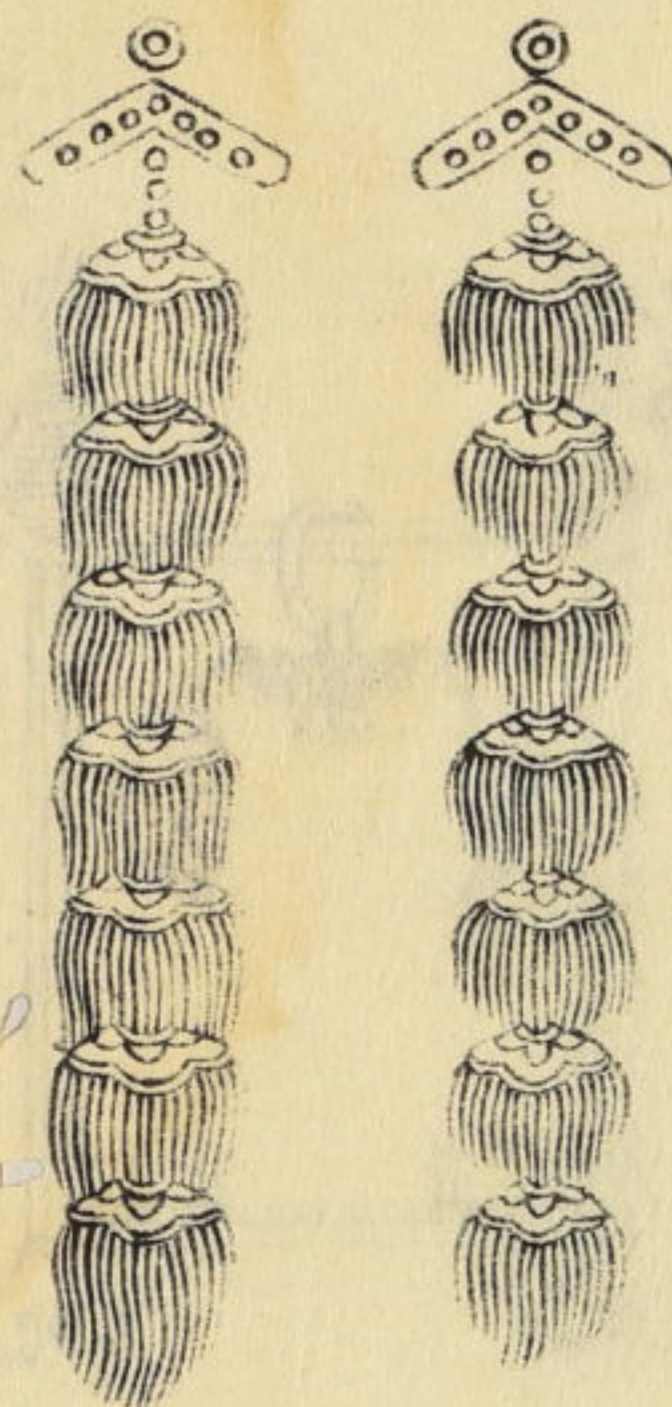


周禮考異圖卷廿

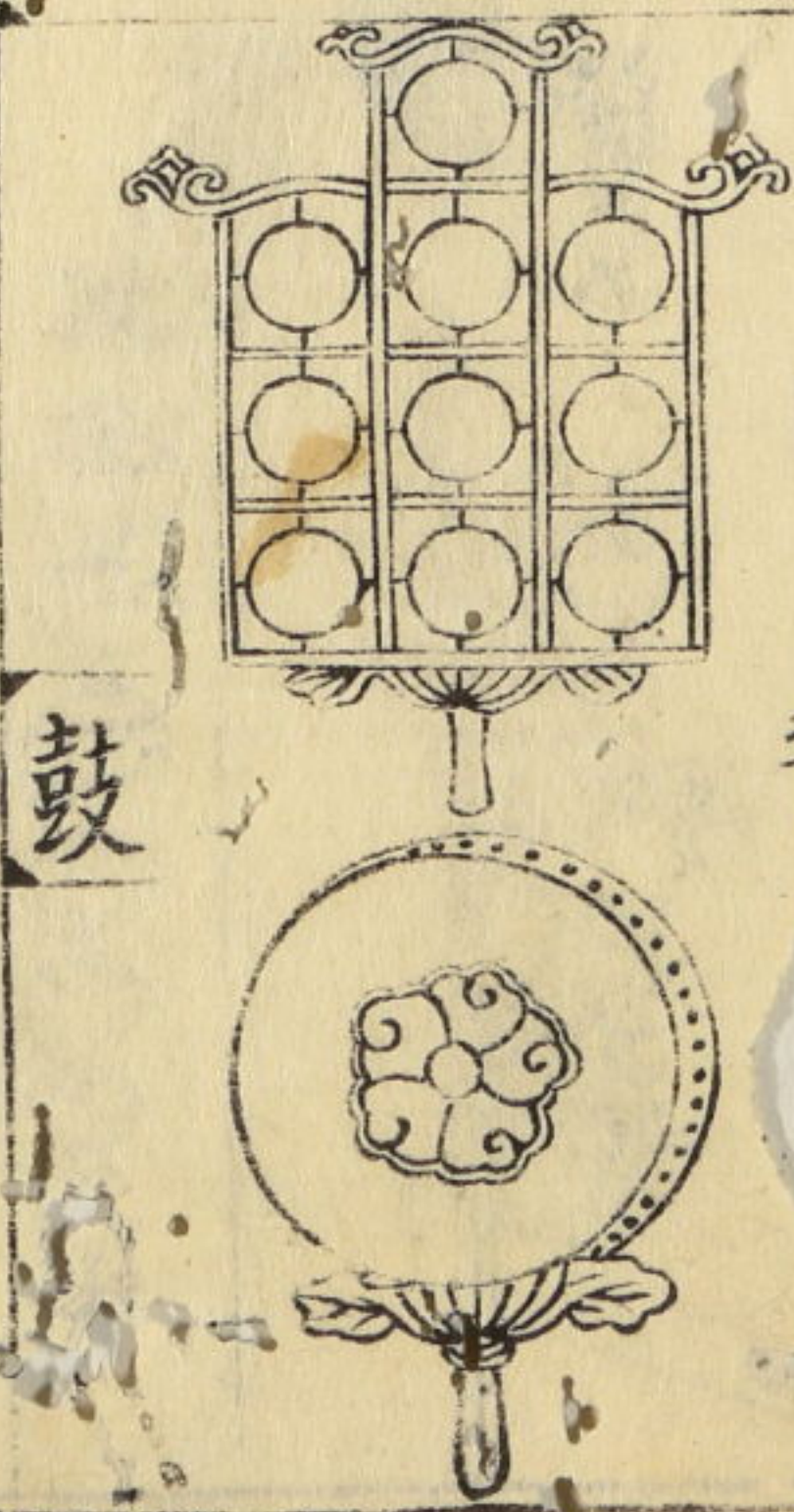
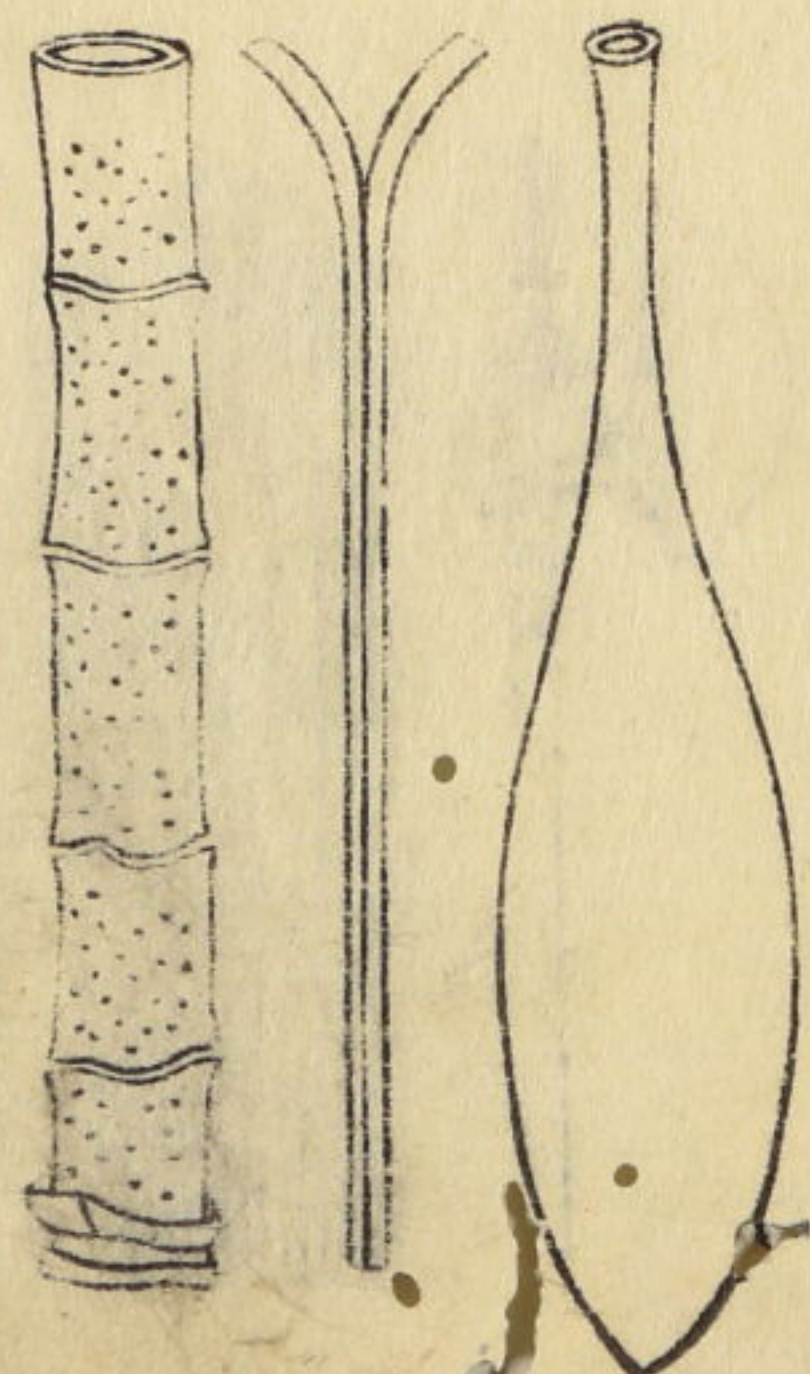
銅 子點 尾焦 筑



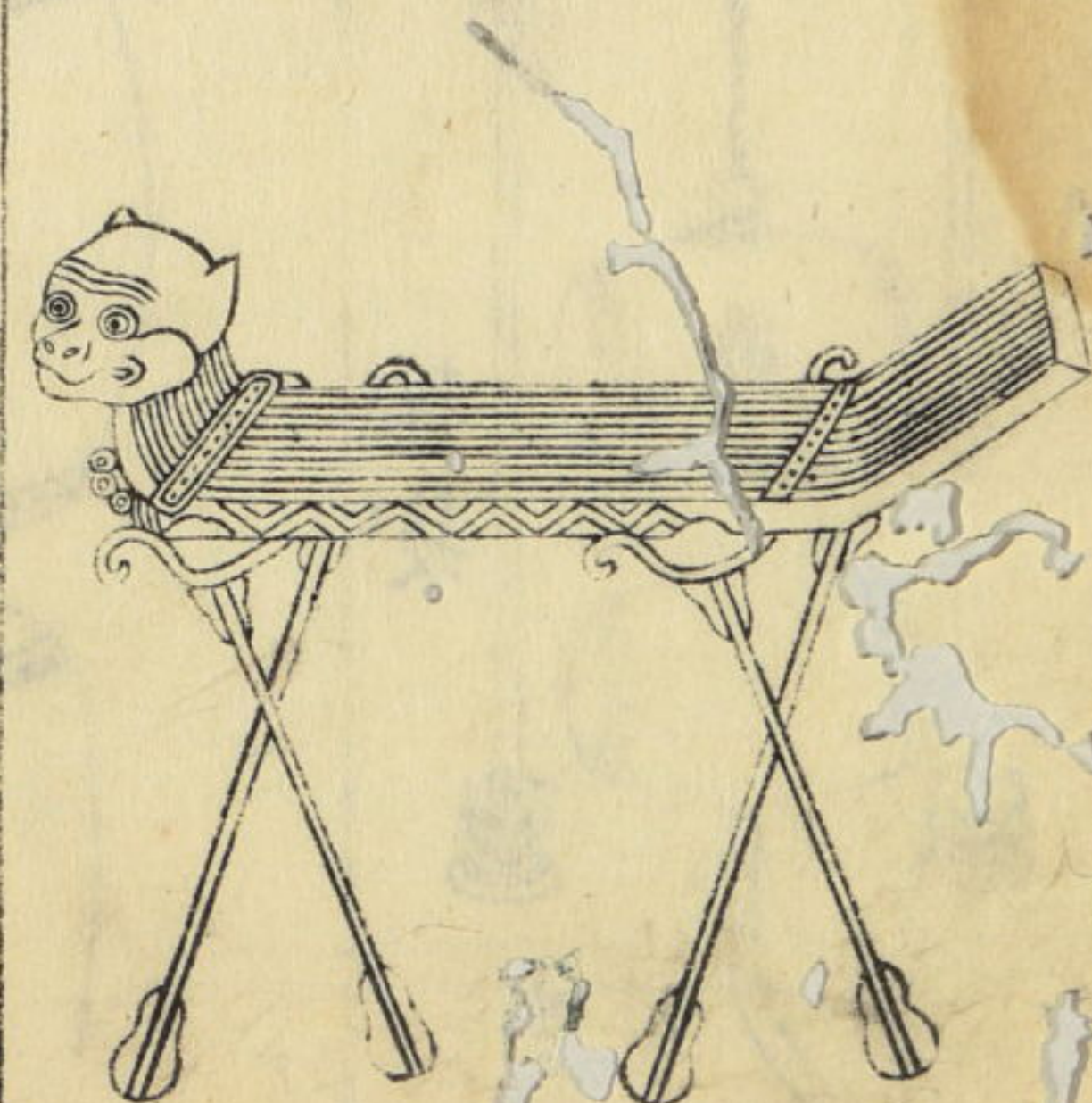
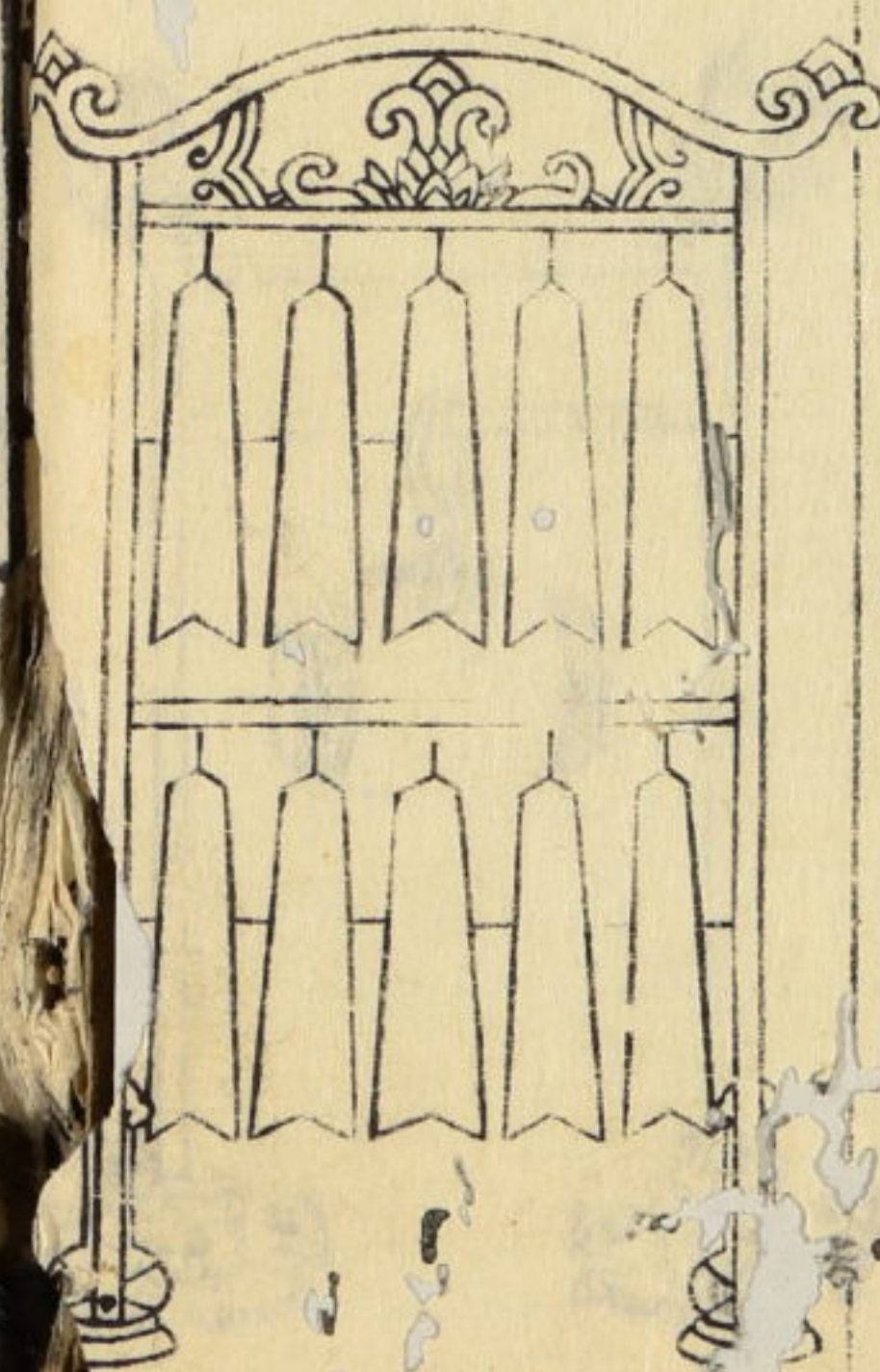
翠壁 業 羽植牙崇



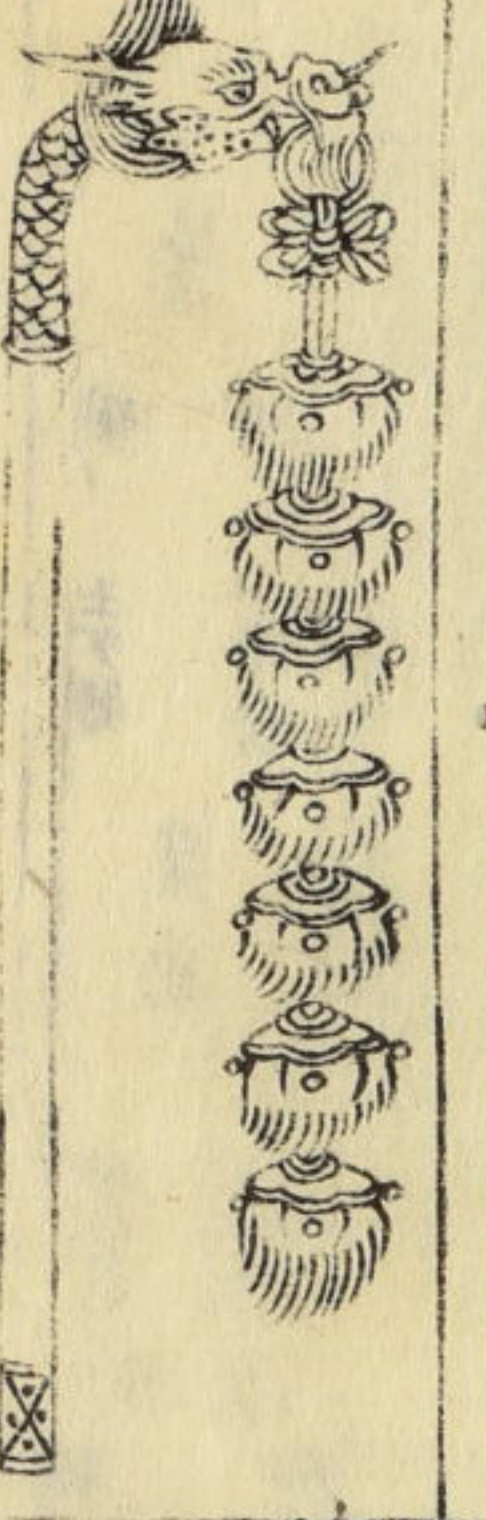
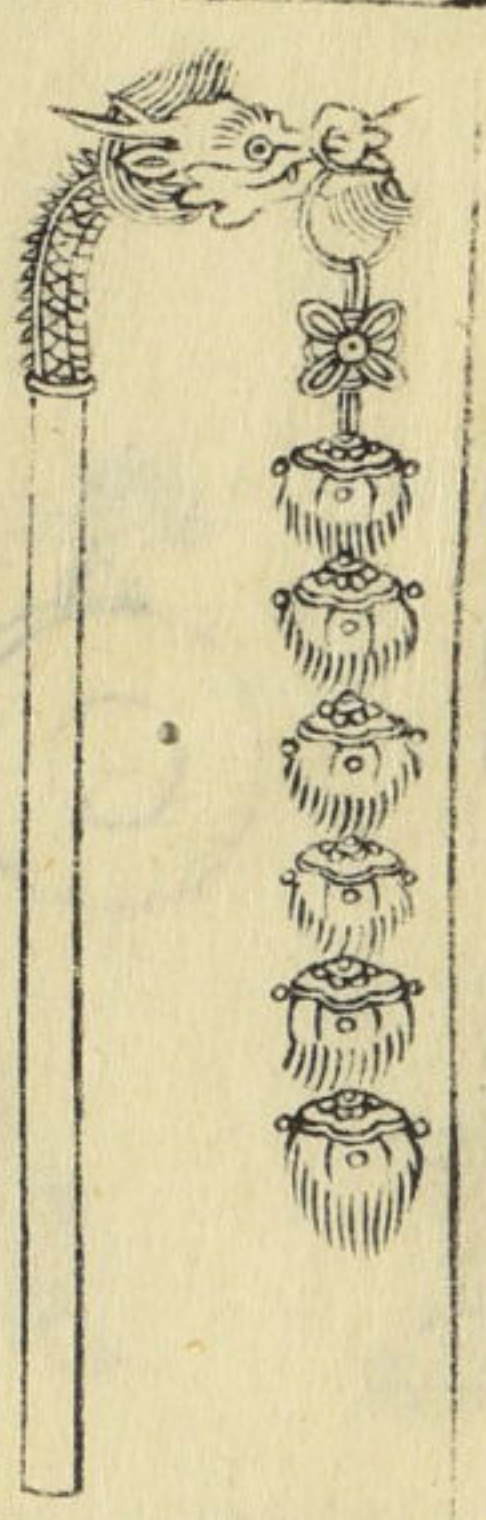
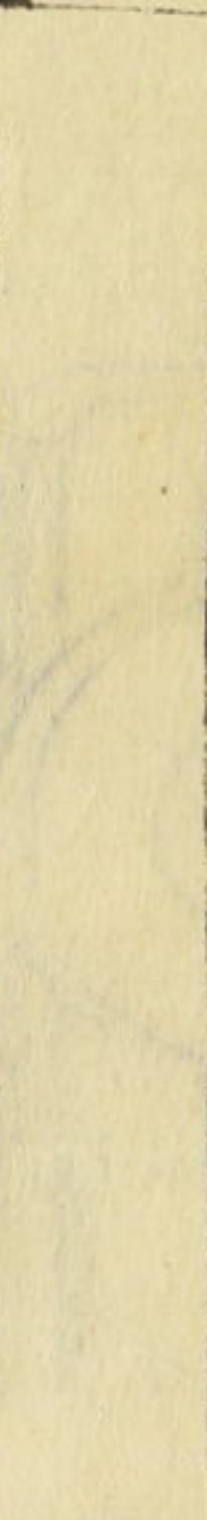
角桐梧鼓土 子簡鼓魚 角畫 鑼雲



響方 板之柏 篋 篋



舞皇舞羽 鼓銅竹 舞後 舞壁 舞翠

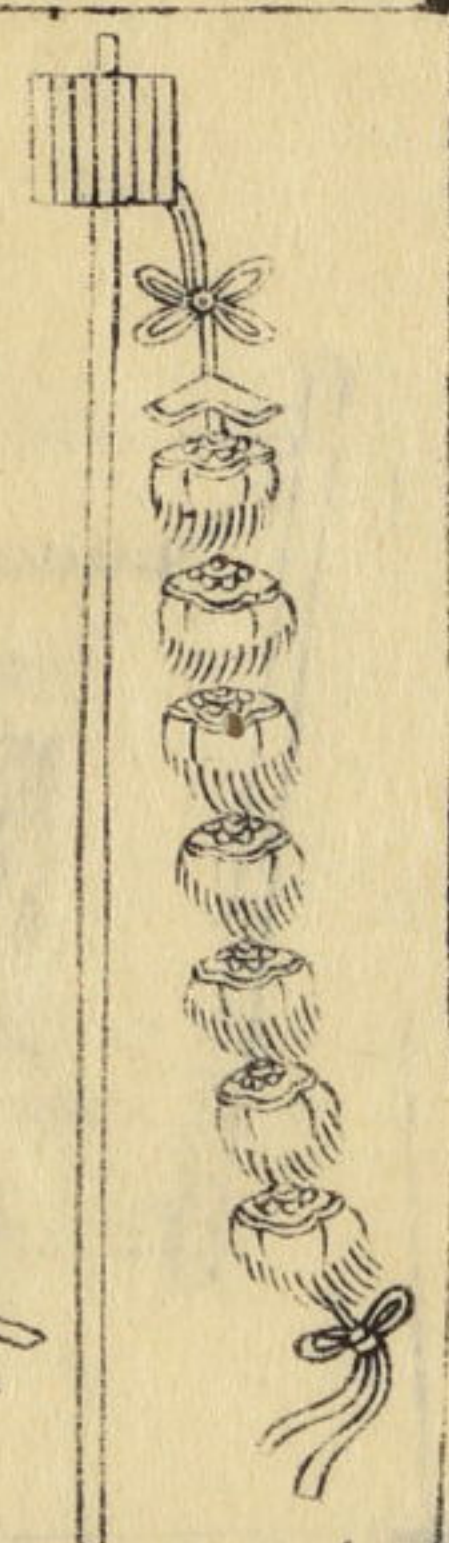


翟



雉の毛毳羽につく
舞に兼つゆり

毒縣



相



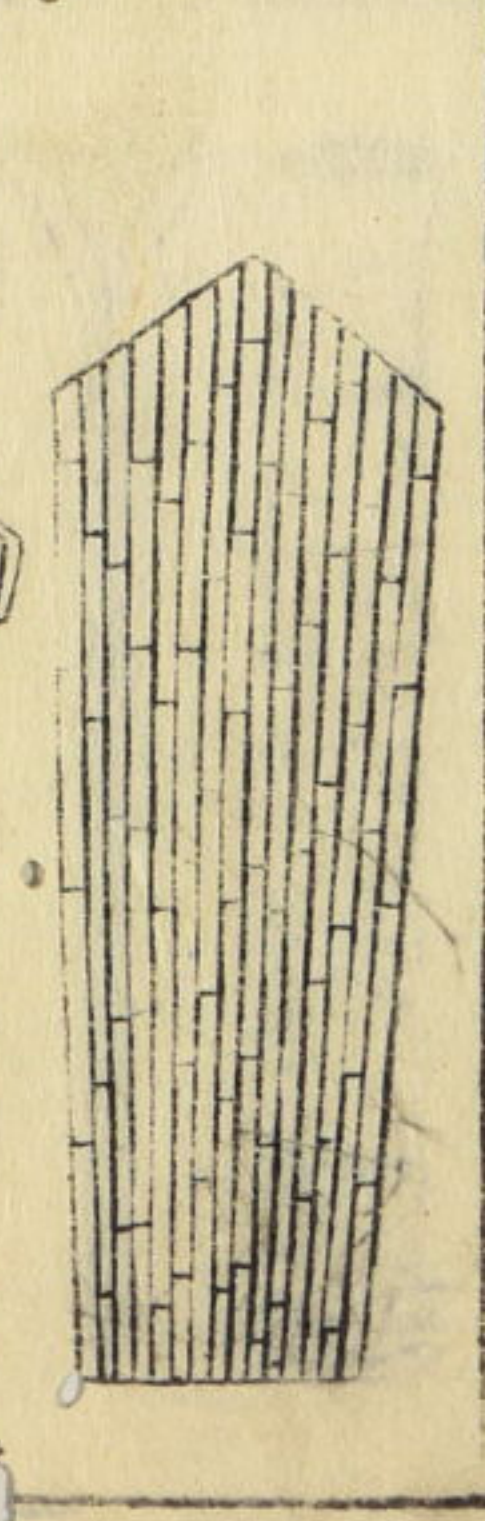
應



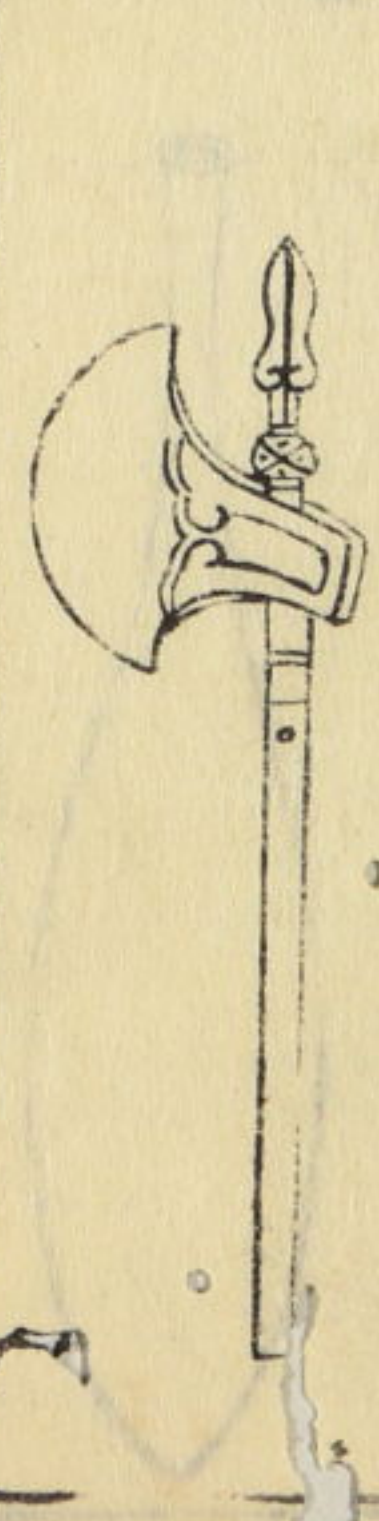
舞旄



戚



舞汗



舞



節 麾



牘



雅



金鉦



射 鏡



射侯



侯

ま

侯正五

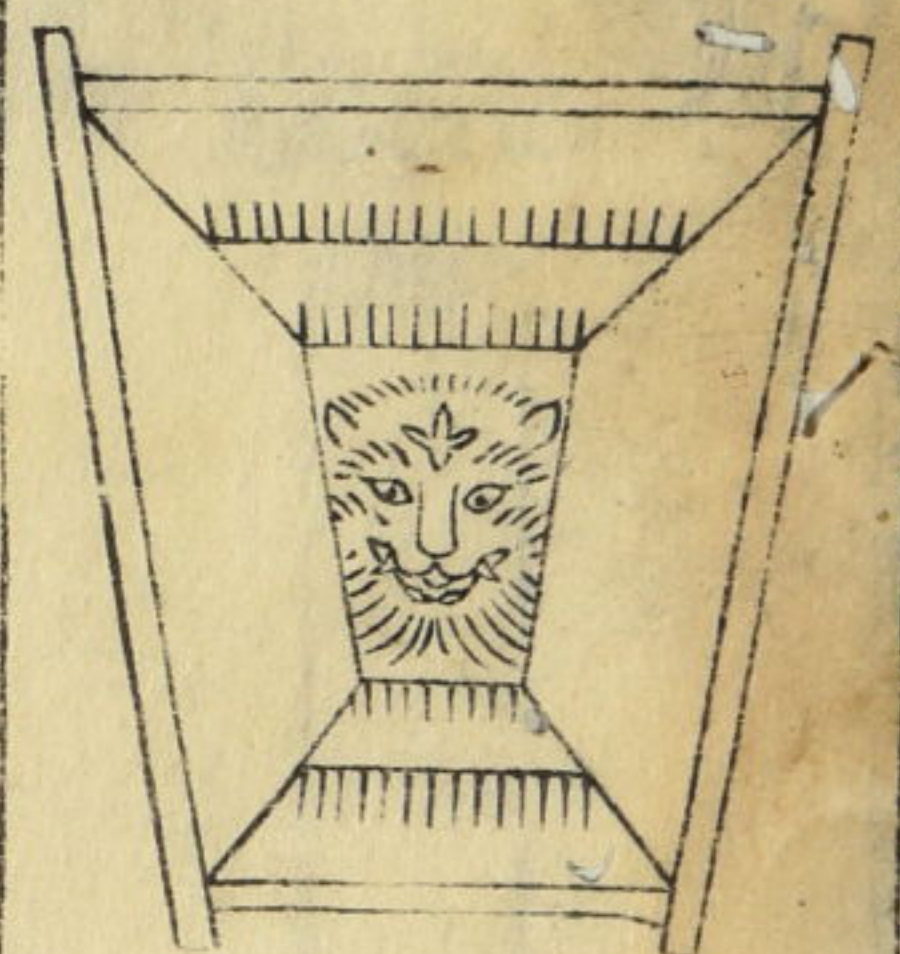
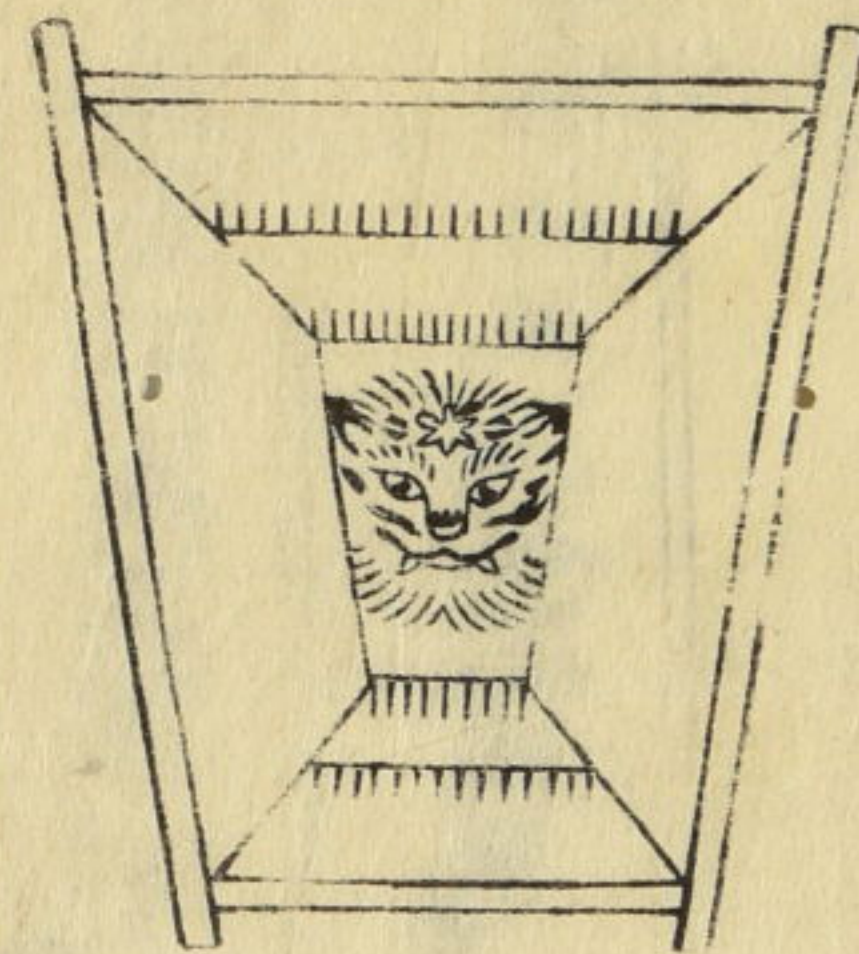
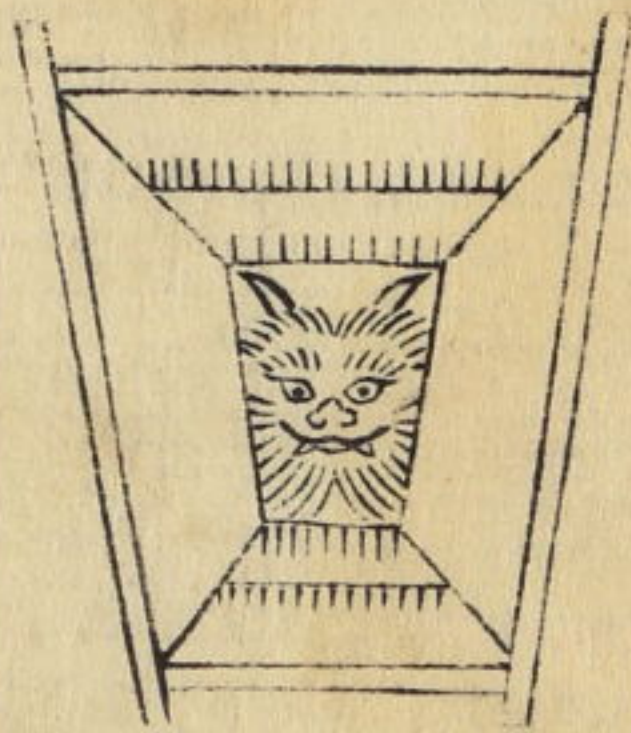
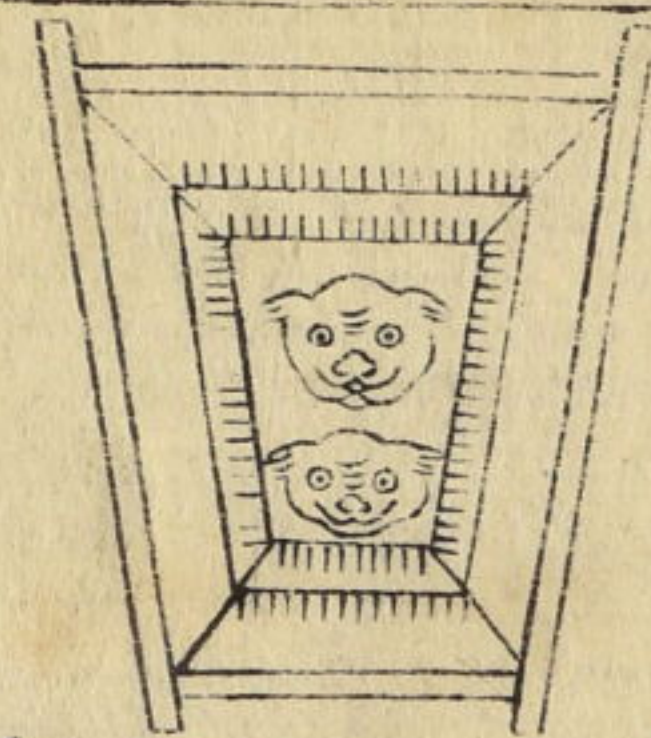
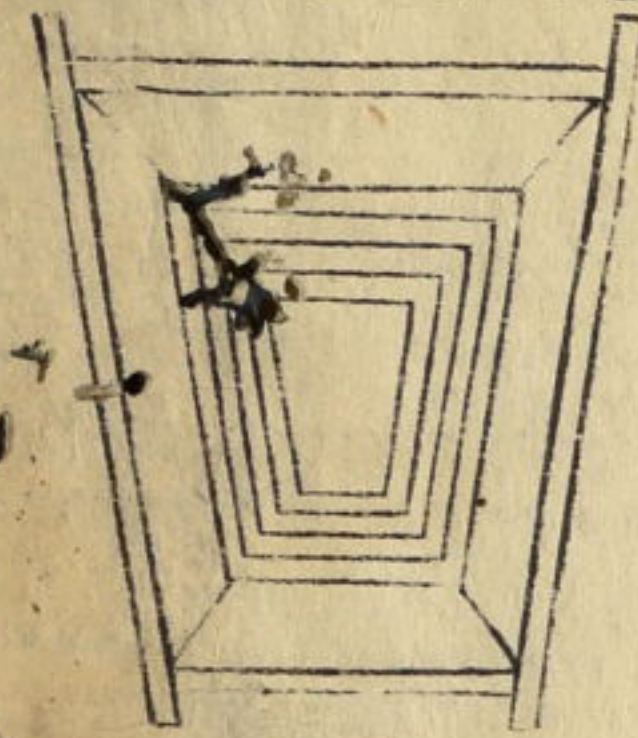
獸侯鹿豕

豕侯

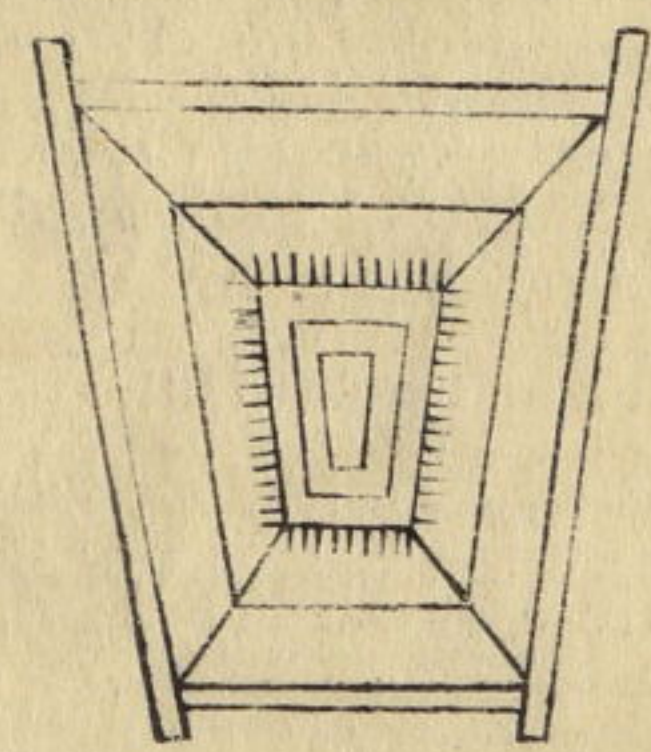
侯麋

侯大

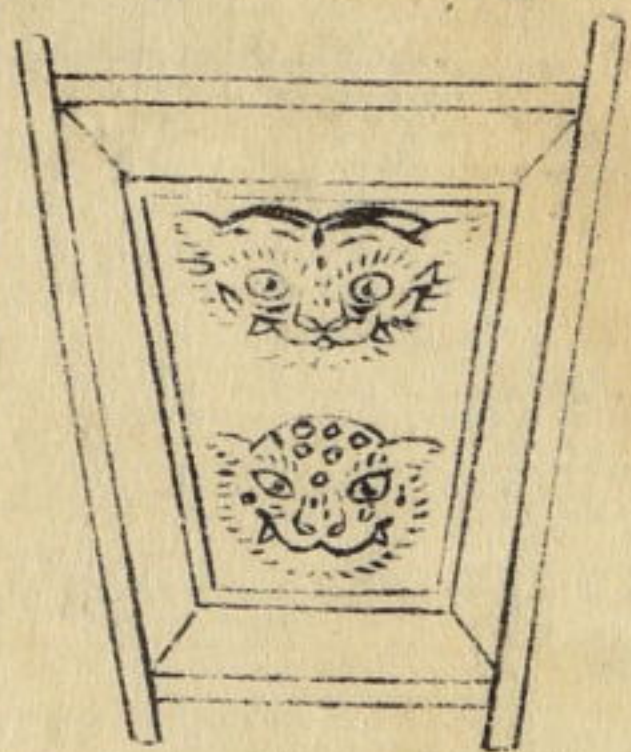
侯熊



之



三正侯



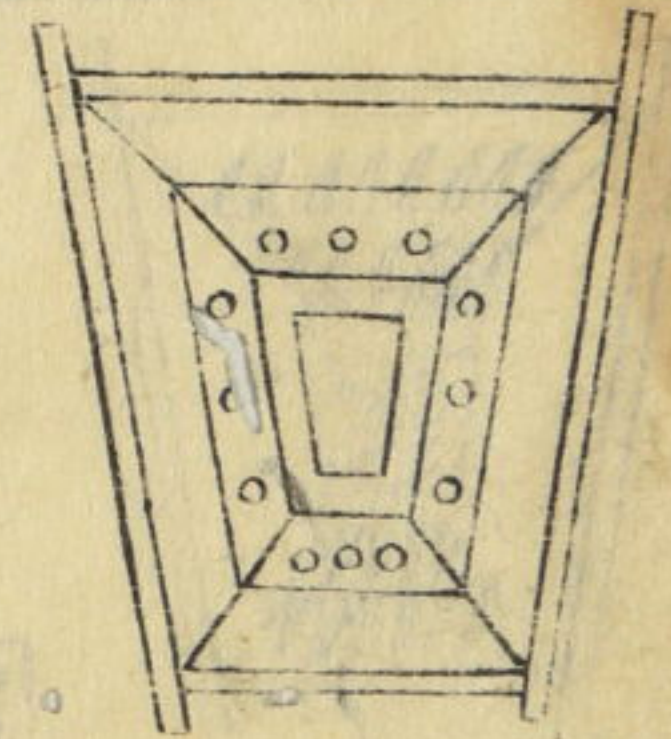
獸侯虎豹首

中虎

中鹿

中兕

首熊侯獸侯



閣中



皮堅中



